内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ。ロセス	プ°ロク*ラム		フ゜ロシ゛ェクト	作成 更新	2000/08/04	IBM 石村 IBM	連番 1
					I			12001			
内部設計書		担当課				依頼課					
	プロミ	ブェクト名			インターネッ	ハト・プロミ	ジェクト				
	シスラ	システム名				ram					
	サブミ	システム									
	依頼る					作成者					

内部設計書	システム	サブ゛システム	コンホ。ーネント	フ [°] ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	2

目次		
1	アプリケーション機能概要	3
2	クラス一覧	4
3	クラス図	5
(1)) 凡例	5
(2)		
(3)) アプレットクラス図	7
4	クラス定義	8
(1)) 凡例	8
(2)) Соммон	10
(3)) Menu	48
(4)) Policy	50
(5)) Claim	52
(6)	OTHERS	55
(7)) ダウンロード	57
(8)) アプレット	61
(9)) LDAP	65
5	シーケンス図	68
(1)) MainMenu	68
(2)) POLICY INFORMAITION	69

(3)	CLAIM	70
(4)	Others	72
6 <u>ī</u>	画面遷移図	73
(1)	MAINMENU	73
(2)	POLICY INFORMAITION	74
(3)	CLAIM	75
(4)	Others	76
7 <u>I</u>	画面定義書	77
(1)	凡例	77
(2)	Menu	80
(3)	POLICY INFORMATION	86
(4)	CLAIM	95
(5)	OTHERS	111
(6)	DOWNLOAD	118
(7)	Error	120
(8)	LogOn	126
(9)	INDEX	128
8 J	JAVASCRIPT 関数一覧	130
9	データローディング・プログラム	133

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	3

1 アプリケーション機能概要

- ・ Global Programアプリケーションは、RMIS(リスクマネージメントインフォメーションシステム)として、企業毎の契約データを、インターネットを使用して各海外拠 点から閲覧できるシステムである。
- ・ 認証サーバーのログオンによって、ログオンしたユーザーから企業を導出します。または、社内ユーザーでのログオンであれば Global Program のメインメニューへの遷移前に企業を選択する。
- Global Program の各画面は、ログオンした企業のロゴマーク等でカスタマイズされた画面を表示します。

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゚ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	4

2 クラス一覧

クラス名	日本語名	パッケージ名	説明
GlpAplLog		Glp. GlpCommon	
GlpBaseDbBean		Glp. GlpCommon	
GlpBaseProxy		Glp. GlpCommon	
GlpBaseServlet		Glp. GlpCommon	
GlpCsvFile		Glp. GlpCommon	
GlpErrLog		Glp. GlpCommon	
GlpError		Glp. GlpCommon	
GlpException		Glp. GlpCommon	
GlpKaigaiBean		Glp. GlpCommon	
GlpKaigaiData		Glp. GlpCommon	
GlpMenuBean		Glp. GlpCommon	
GlpMenuData		Glp. GlpCommon	
GlpSessionData		Glp. GlpCommon	
GlpUserBean		Glp. GlpCommon	
GlpUserData		Glp. GlpCommon	
GlpMenuProxy		Glp. GlpMenu	
GlpMenuServlet		Glp. GlpMenu	
GlpPolicyProxy		Glp. GlpPolicy	
GlpPolicyServlet		Glp. GlpPolicy	
GlpClaimProxy		Glp.GlpClaim	
GlpClaimServlet		Glp.GlpClaim	
GlpOthersProxy		Glp. GlpOthers	
GlpOthersServlet		Glp. GlpOthers	
GlpDownloadProxy		Glp. GlpDownload	
GlpDownloadServlet		Glp. GlpDownload	
MsgDialog		Glp. GlpDownload	
PostExcel. java		Glp. GlpDownload	
MsiePostExcel		Glp. GlpDownload	
NsnPostExcel.java		Glp. GlpDownload	
AuthLDAPAccess		Glp. GlpLdap	
AuthLDAPAccessImpl		Glp. GlpLdap	
GlpLdapSearch		Glp. GlpLdap	

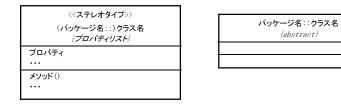
内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ゜ーネント	プ゚ロセス	プログラム	プ゚ロジェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	5

3 クラス図

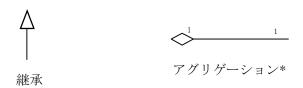
(1)凡例

- ・クラス図はUMLの仕様に従い作成する。
- ・クラス図のクラスは以下に示すクラスアイコンで表現する。

ステレオタイプは UML で定義したクラスの種別を示す。 本ドキュメントではインターフェース(<<interface>>) を使用する。 プロパティリストには UML で定義されていないクラスの種別を示す。本ドキュメントではアブストラクトクラス({abstract})を使用する。

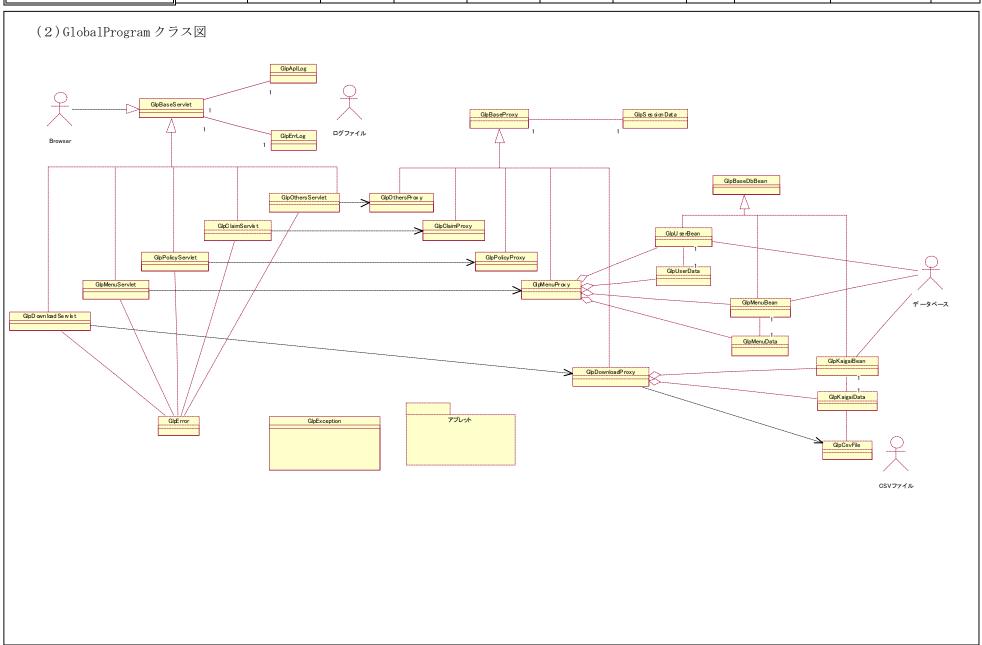


・クラス間は以下の2種類の関連を示す記号を使用する。

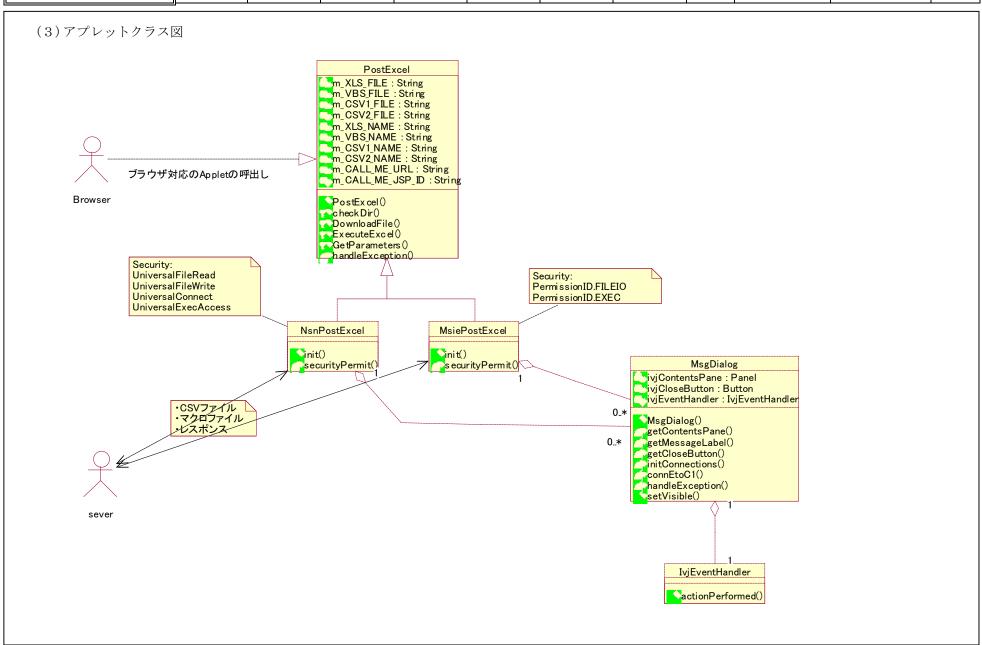


* アグリゲーションはひし形のクラスが対応するクラスを生成する関係を示すものとする。また両端の数字は対応する個数を示す。

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゚ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	6



内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゚ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	7



内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	8

4 クラス定義

(1)凡例

■成果物名:クラス定義書

■作成単位:クラス

■表記方法

- 1. クラス名、パッケージ名、説明、可視性、スーパークラスを記述する。
 - ・格納場所を「パッケージ名」に記入する。
 - ・クラスの機能説明を「説明」の項目に記入する。
 - ・「可視性」項目は以下に記述する略称で記入する。

可視性	略称
public	+
private	
protected	#

- ・「スーパークラス」項目には該当クラスのスーパークラスを記入する。
- 2. プロパティ、メソッド、関連クラスに分けて記述する。
 - (1) プロパティ(変数)

項目名	意味	記述方法
項番	項目番号	1から連番で割振
プロパティ名	プロパティの名前	ネーミングルールに従った名前を記入する。
可視性	プロパティの可視性	(参照:クラスの可視性)
型	プロパティの型	int, Stringと記入する。
static	static 変数か否か	NO, YES と記入する。
初期値	プロパティの初期値	プロパティの持つ初期値を記入する。
説明	プロパティの説明	プロパティの示す意味を記入する。

(2) メソッド (関数)

項目名	意味	記述方法
項番	項目番号	1から連番で割振。
メソッド名	メソッドの名前	ネーミングルールに従った名前を記入する。

内部設計書	システム	サブ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	フ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	9

項目名	意味	記述方法
可視性	メソッドの可視性	(参照:クラスの可視性)
引数リスト	メソッドの引数	メソッドの引数を記入する。型も記入する。
		無い場合は「 」を記入。
		例: int XXX, String XXX (XXX は引数名)
戻り値	メソッドの戻り値	メソッドの返す戻り値を記入する。型も記入する。
		無い場合は「void」を記入。
		例:int XXX, String XXX
説明	メソッドの説明	メソッドの機能説明を記入する。

ッケージ名 (GlpAplLog Glp. GlpCor アプリロク +	mmon でを出力する。				更新		IBM		
プラス名 ツケージ名 説明 可視性 パークラス ティ プロパティ名	Glp. GlpCor									
プラス名 ツケージ名 説明 可視性 パークラス ティ プロパティ名	Glp. GlpCor									
yケージ名 (説明 可視性 - パークラス ティ プロパティ名	Glp. GlpCor									
説明 可視性 パークラス ティ プロパティ名										
可視性 パークラス ティ プロパティ名	+	<u>е</u> шлу о.								
パークラス ティ プロパティ名										
ティ プロパティ名										
プロパティ名										
, , ,	可視性	型	Static		初期値					
	#	String	YES		application"	アプリログプロ	パティーファイル。			
formatDate	#	SimpleDateFormat	YES			デートフォーマ	ッター(yyyyMMdd)	0		
formatDateTime	#	SimpleDateFormat	YES	″уууу-М	M-dd HH:mm:ss"		ッター(yyyyMMdd, H			
ERROR_FILE	#	String	YES	"f	ilename"	のアプリログファイ	イル名取得キー。			
ERROR_ROLLOVER	#	String	YES	″r	ollover"	プロパティ情報のアプリログロールオーバー取得キー。				
ERROR_BUFFER	#	String	YES	"	buffer"	プロパティ情報	のアプリログバッフ	ファ取得キー。		
LOG_ENCODE	#	String	YES	" e	ncoding"	プロパティ情報	のエンコード取得キ	F		
LOG_INTERVAL	#	String	YES	″i	nterval" プロパティ情報のログフラッ			インターバル取得キー。	0	
CRLF	#	String	YES		"crlf"	プロパティ情報の改行コード取得キー。				
s_bPropertiesRea dFlag	-	boolean	YES		false	プロパティ情報の設定済フラグ。 true: 設定済 false: 未取得。				
s_iReady	-	int	YES		0	同一サーブレッ	トに対するエラーロ	ュグクラス使用許可数。	5	
s_strEncode	-	String	YES			ファイル出力エ	ンコード。			
s_strCRLF	_	String	YES			改行コード。				
s_iInterval	_	int	YES			ファイルフラッ	シュインターバル。			
s_objuldAplLog	_	GlpAplLog.LogData	YES			アプリログデー	ター時保持オブジェ	こクト。		
s_objthrFlush	_	Thread	YES			バッファ・フラ	<u></u> ッシュ用スレッド。			
s_objuloFlush	-	GlpAplLog	YES			, , , ,	50			
s_bThreadFlag	-	boolean	YES		true	バッファ・フラ	ッシュ用スレッド状	犬態フラグ。		
ド										
メソッド名		引数リスト		戻り値			説明			
GlpAplLog										
			dData	void	アプリログファイルのクローズ処理を行う。					
closeFile	- 5									
s d s s s s s	_bPropertiesRea Flag _iReady _strEncode _strCRLF _iInterval _objuldAplLog _objthrFlush _objuloFlush _bThreadFlag ド メソッド名 lpAplLog	_bPropertiesRea	bPropertiesRea - boolean Flag _iReady - int _strEncode - String _strCRLF - String _iInterval - int _objuldAplLog - GlpAplLog. LogData _objthrFlush - Thread _objuloFlush - GlpAplLog _bThreadFlag - boolean ** メソッド名 可視性 引数リスト lpAplLog # loseFile - GlpAplLog. LogData objuto	bPropertiesRea	bPropertiesRea	bPropertiesRea	bPropertiesRea	Deproperties Rea	Deproperties Rea	

邓設計	書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ。ロセス	プ゜ロク゛ラム		フ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連	
									更新		IBM		
										•	·		
	1	1											
項番	メソッド名	可視性		引数リスト		戻り値				説明			
5	logWrite	1	HttpServletE String p_res			void	アプリログを出力する。						
6	openFile	_	GlpAplLog. Lo String enc			void	ログファイルをオープンする。						
7	run	+				void	ログのバッフ	ファを定期的にこ	フラッシュ	する。			
8	setProperties	+				boolean	ログのプロノ	パティ値を格納っ	する。				
9	startLog	+				boolean	ログ出力要素	求を開始する。					
10	writeFile					void	ログ出力処理	理を行う。					
			String enc										
内部:	クラス					•							
	クラス名	LogData											
	説明	アプリロ	グをファイル	に書き込むま	そでの間、-	・時保管する。							
	可視性	_											
	ーパークラス												
	パティ												
項番	プロパティ名	可視性		型	Statio	2	初期値			説明			
1	m_strFileName	_		String					リログファ				
2	m_1Ro110ver	_	long						レオーバー				
3	m_iBuffer	_	int					-	ファーサイ	-			
4	lastModified	_	Date				ログファイル最終更新時刻。						
5	m_objfosFile					アプリログ FileOutputStream。							
6	m_objoswFile	oswFile - OutputStreamWriter						アプ!	リログ Out	putStreamWriter。			

メ	ソ	ツ	ド

m_objbwrBuff

項番	メソッド名	可視性	引数リスト	戻り値	説明
1	setLastModifie	+	Date val	void	ログファイル最終更新時刻を格納する。
	d				
2	getLastModifie	+		Date	ログファイル最終更新時刻を戻す。
	d				
3	setFileName	+	String strFilename	void	アプリログファイル名を格納する。
4	getFileName	+		String	アプリログファイル名を戻す。

アプリログ BufferedWriter。

BufferedWriter

内部設計書	システム	サブ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゚ロジェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	12

項番	メソッド名	可視性	引数リスト	戻り値	説明
5	setRollOver	+	long lRollover	void	ロールオーバーサイズを格納する。
6	getRollOver	+		long	ロールオーバーサイズを戻す。
7	setBuffer	+	int iBuffer	void	バッファーサイズを格納する。
8	getBuffer	+		int	バッファーサイズを戻す。
9	setFileOutputS tream	+	FileOutputStream objfosFile	void	アプリログ FileOutputStream を格納する。
10	getFileOutputS tream	+		FileOutput Stream	アプリログ FileOutputStream を戻す。
11	setOutputStrea mWriter	+	OutputStreamWriter objoswFile	void	アプリログ OutputStreamWriter を格納する。
12	getOutputStrea mWriter	+		OutputStre amWriter	アプリログ OutputStreamWriterを戻す。
13	setBufferedWri ter	+	BufferedWriter objbwrBuffer	void	アプリログ BufferedWriter を格納する。
14	getBufferedWri ter	+		BufferedWr iter	アプリログ BufferedWriterを戻す。

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プログラム	プ゚ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	13

クラス名	GlpBaseDbBean				
パッケージ名 Glp. GlpCommon					
説明	データベースアクセス bean の共通機能を提供する。				
可視性	+				
スーパークラス					

プロパティ

項番	プロパティ名	可視性	型	Static	初期値	説明
1	PROPFILE	-	String	YES	"dbconn"	データベース接続情報プロパティファイル名。
2	p_poolname	#	String			コネクションプール名。
3	p_driver	#	String			JDBC Driver。
4	p_url	#	String			データベースURL。
5	p_user	#	String			ユーザー I D。
6	p_password	#	String			パスワード。

メソッド

項看	番	メソッド名	可視性	引数リスト	戻り値	説明
1		GlpBaseDbBean	+			プロパティファイルよりデータベース接続情報を取得する。
2		initialize	+		void	コネクションマネージャーよりコネクションを取得する。

内部設計書	システム	サブ゛システム	コンホ゜ーネント	プ。ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゚ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	14

	クラス名	GlpBaseS	Servlet								
パ	パッケージ名	Glp. Glp(Common								
	説明	画面コン	トロールサーブレットの共通	幾能を提信	洪する。						
	可視性	+									
ス・	ーパークラス	HttpServ	vlet								
プロ	プロパティ										
項番	プロパティ名	可視性	生 型	Static		初期値	説明				
メソ	ッド										
項番	メソッド名	可視性	引数リスト		戻り値		説明				
1	GlpBaseServlet	+				エラーログとアプリログのログ出力開始要求する。					
2	doGet	+	HttpServletRequest request	-	void	クライアントからの REQUEST (GET) を処理する。					
			HttpServletResponse respon	ise							
3	doPost	+	HttpServletRequest request	-	void	クライアントからの REQUEST (POST) を処理する。					
			HttpServletResponse respon	ise							
4	performTask	+	HttpServletRequest req		void	クライアントからの REQUEST (GET, POST) を処理する。					
			HttpServletResponse res								

内部設計書	システム	サブ゛システム	コンホ゜ーネント	プ。ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゚ロジェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	15

	クラス名	GlpBasePro	lpBaseProxy											
/ ١	ペッケージ名	Glp. GlpCom	lp. GlpCommon											
	説明	ProxyBean	roxyBean の共通機能を提供する。											
	可視性 +													
スー	ーパークラス													
プロパティ														
項番	プロパティ名	可視性	型	Static	初期値	説明								
1	CTL_PROPFILE	_	String	YES	"jsp_ctl"	画面遷移コントロールプロパティファイル名。								
0	LIDIT DRODELLE		C. ·	VEC	<i>"</i> · · <i>"</i>	TOD VIDE AND SECURE AND A LANGE								

	坦番	プロバティ名	可倪性	型	Stat1c	初 期 値	説 明
	1	CTL_PROPFILE	-	String	YES	"jsp_ctl"	画面遷移コントロールプロパティファイル名。
	2	URI_PROPFILE	ı	String	YES	"jsp_uri"	JSP URL プロパティファイル名。
	3	reqJspID	#	String			REQUEST 要求のあった JSP(ID)。
	4	resJspID	#	String			RESPONSE 出力する JSP (URI) 。
	5	resJspURI	#	String			RESPONSE 出力する JSP (URI) 。
	6	inputList	#	Hashtable			画面入力項目リスト。
	7	glpSession	#	GlpSessionData			セッションデータ。
Ī		10					

メソッド

項番	メソッド名	可視性	引数リスト	戻り値	説明
1	GlpBaseProxy	+	HttpServletRequest req		プロパティファイルをバンドルする。
			HttpServletResponse res		
2	getGlpSession	+		GlpSession	グローバルプログラム・セッションデータを戻す。
				Data	
3	getInputList	+		Hashtable	画面入力項目リストを戻す。
4	getReqJspID	+		String	REQUEST 要求のあった JSP(ID)を戻す。
5	getResJspID	+		String	RESPONSE 出力する JSP(ID)を戻す。
6	getResJspURI	+		String	RESPONSE 出力する JSP (URI) を戻す。
7	parseRefer	+	HttpServletRequest req	String	リファラーからファイル名のみ取り出す。
			GlpSessionData glpSession		
8	setInputList	+	HttpServletRequest req	void	画面入力項目リストのIDと値を格納する。
9	setReqJspID	+	setReqJspID	void	REQUEST 要求のあった JSP(ID)を格納する。
10	setResJspID	+	String value	void	RESPONSE 出力する JSP(ID)を格納する。
11	setResJspURI	+	String value	void	RESPONSE 出力する JSP(URI)を格納する。

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゜ロセス	プログラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	16
	·'									

	クラス名	GlpCsvFi	le le					
パ	ペッケージ名	Glp. GlpC	Common					
	説明	検索デー	·タ保持クラスの値を CSV ファ	アイルに出	力する。			
	可視性	+						
	ーパークラス	java.lan	ng. Object					
プロル	パティ							
項番	プロパティ名	可視性	性 型	Static		初期値	説明	
1	kaigaiData	#	GlpKaigaiData				海外 PL データ保持クラス。	
2	File_Type	#	int			1	ファイル種別。	
3	File_Type_1	+	int	YES		1	85 項目 CSV ファイルタイプ。	
4	File_Type_2	+	int	YES		2	表出力用の CSV ファイルタイプ。	
5	File_Name1	#	String				出力ファイル名 1。	
6	File_Name2	#	String				出力ファイル名 2。	
7	PATTERN	#	int			3	CSV 用のフラグ(固定)。	
8	pw	-	PrintWriter				PrintWriter クラス。	
9	pw_c	_	PrintWriter				PrintWriter クラス。	
10	i	-	int			0	件数カウント。	
11	CloseKahiName	#	String				クローズ可否区分名称。	
12	ZenChosaDlr	#	int				全社分-調査費用-0Sドル。	
13	syokenban	#	String				証券番号。	
14	syoken_edaban	#	String				証券番号-枝番。	
メソ	ッド							
項番	メソッド名	可視性	引数リスト		戻り値		説明	
1	GlpCsvFile	+				コンストラクタース	<u></u>	
2	execute	+			void	検索データ保持クラ	ラスに格納された値を CSV フォーマットで出力する。	
3	File_Format1	+	int i		void	File_Format1の処理	里内容を格納する。	
4	File_Format2	+	int i		void	File_Format2の処理内容を格納する。		
5	File_FormatCom	+			void	File_FormatCommon の処理内容を格納する。		
	mon							
6	setFile_Name1	+	String value		void	出力ファイル名1の値を格納する。		
7	setFile_Name2	+ String value			void	出力ファイル名2の値を格納する。		
8	setFile_Type	+	int value		void	ファイル種別の値を格納する。		
9	setKaigaiData	+	GlpKaigaiData KaigaiData		void	検索データ保持クラ	ラスを格納する。	

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プログラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	17

	クラス名	GlpErrLo	g						
パ	ペッケージ名	Glp. GlpC	ommon						
	説明	GlpExcep	tion を元にエラーログを編集	集して出力	ける。				
	可視性	+							
ス・	ーパークラス								
プロノ	パティ								
項番	プロパティ名	可視性	並 型	Static		初期値	説明		
1	PROPERTY_FILE	#	String	YES		og_error"	エラーログ・プロパティーファイル。		
2	formatDate	#	SimpleDateFormat	YES	″у	yyyMMdd"	デートフォーマッター(yyyyMMdd)。		
3	formatDateTime	#	SimpleDateFormat	YES	″уууу-М	M-dd HH:mm:ss"	デートフォーマッター(yyyyMMdd, HH:mm:ss)。		
4	ERROR_FILE	#	String	YES		ilename"	プロパティ情報のエラーログファイル名取得キー。		
5	ERROR_ROLLOVER	#	String	YES	″r	ollover"	プロパティ情報のエラーログロールオーバー取得キー。		
6	ERROR_BUFFER	#	String	YES	"	buffer"	プロパティ情報のエラーログバッファ取得キー。		
7	LOG_ENCODE	#	String	YES	"e	ncoding"	プロパティ情報のエンコード取得キー。		
8	LOG_INTERVAL	#	String	YES		nterval"	プロパティ情報のログフラッシュインターバル取得キー。		
9	CRLF	#	String	YES		"crlf"	プロパティ情報の改行コード取得キー。		
10	s_bPropertiesRe	а –	boolean	YES		false	プロパティ情報の設定済フラグ。		
	dFlag						true: 設定済 false: 未取得。		
11	s_iReady	_	int	YES		0	同一サーブレットに対するエラーログクラス使用許可数。		
12	s_strEncode	_	String	YES			ファイル出力エンコード。		
13	s_strCRLF	_	String	YES			改行コード。		
14	s_iInterval	_	int	YES			ファイルフラッシュインターバル。		
15	s_objuldError	_	GlpErrLog. LogData	YES			エラーログデーター時保持オブジェクト。		
16	s_objthrFlush	-	Thread	YES			バッファ・フラッシュ用スレッド。		
17	s_objuloFlush	_	GlpErrLog	YES			バッファ・フラッシュ用 GlpErrLog。		
18	s_bThreadFlag	_	boolean	YES		true	バッファ・フラッシュ用スレッド状態フラグ。		
メソ	ッド								
項番	メソッド名	可視性	引数リスト		戻り値	説明			
1	GlpErrLog	#				コンストラクターメソッド。			
2	closeFile	_	GlpErrLog. LogData objutd	Data	void	エラーログファイルのクローズ処理を行う。			
3	editMessage	_	String msg		String	ing ログに出力するメッセージの編集処理を行う。			
4	endLog	+			boolean	an ログ出力要求を終了する。			

『設計	書	システム	サブ゛システム	コンホ゜ーネント	プ。ロセス	プ゜ロク゛ラム		プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連
									更新		IBM	
		<u></u>			•	<u>.</u>			•	•	•	•
否 亚	104	- 구선 kuk		コード・コート		三点法				⇒⊼ ⊔口		
項番	メソッド名	可視性		引数リスト		戻り値				説明		
5	logWrite	+	GlpException HttpServleth	=		void	グローバルプローバルプロー	ログラム Excer	otion の内	容をログファイルに	こ出力する。	
6	openFile	-	GlpErrLog. Lo String enc	ErrLog.LogData ld ing enc			ログファイルをオープンする。					
7	run	+				void	ログのバッフ	アを定期的にこ	フラッシュ	する。		
8	setProperties	+				boolean	ログのプロパラ	ティ値を設定す	トる。			
9	startLog	+				boolean	ログ出力要求	を開始する。				
10	writeFile	-	GlpErrLog. Lo String msg String enc	ogData 1d		void	ログ出力処理	を行う。				
内部:	クラス											
	クラス名	LogData										
	説明	エラーロ	グをファイル	に書き込むま	そでの間、-	一時保管する。						
	可視性	_										
ス・	ーパークラス											
プロ	パティ											
項番	プロパティ名	可視性	Ė	型	Stati	С	初期値			説明		
1	m_strFileName	_	String					エラー	-ログファ	イル名。		
2	m_1Ro110ver	_	long					ローバ	レオーバー	サイズ。		
3	m_iBuffer	_	int					バッフ	ファーサイ	ズ。		
4	lastModified	_	Date					ログラ	ファイル最	終更新時刻。		
5	m_objfosFile	_	FileOutpu							eOutputStream。		
6	m_objoswFile	_	OutputStr	eamWriter				エラー	-ログ Out	putStreamWriter。		
			BufferedW									

	項番	メソッド名	可視性	引数リスト	戻り値	説明
	1	setLastModifie	+	Date val	void	ログファイル最終更新時刻を格納する。
		d				
	2	getLastModifie	+		Date	ログファイル最終更新時刻を戻す。
		d				
1	3	setFileName	+	String strFilename	void	エラーログファイル名を格納する。

String

エラーログファイル名を戻す。

getFileName

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	19

項番	メソッド名	可視性	引数リスト	戻り値	説明
5	setRollOver	+	long lRollover	void	ロールオーバーサイズを格納する。
6	getRollOver	+		long	ロールオーバーサイズを戻す。
7	setBuffer	+	int iBuffer	void	バッファーサイズを格納する。
8	getBuffer	+		int	バッファーサイズを戻す。
9	setFileOutputS tream	+	FileOutputStream objfosFile	void	アプリログ FileOutputStream を格納する。
10	getFileOutputS tream	+		FileOutput Stream	アプリログ FileOutputStream を戻す。
11	setOutputStrea mWriter	+	OutputStreamWriter objoswFile	void	アプリログ OutputStreamWriterを格納する。
12	getOutputStrea mWriter	+		OutputStre amWriter	アプリログ OutputStreamWriterを戻す。
13	setBufferedWri ter	+	BufferedWriter objbwrBuffer	void	アプリログ BufferedWriterを格納する。
14	getBufferedWri ter	+		BufferedWr iter	アプリログ BufferedWriterを戻す。

内部設計書	システム	サブ゛システム	コンホ。ーネント	プロセス	プログラム	プ゚ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	20

クラス名	GlpError
パッケージ名	Glp. GlpCommon
説明	エラー画面の表示内容を保持する。
可視性	+
スーパークラス	

プロパティ

項番	プロパティ名	可視性	型	Static	初期値	説明
1	CD_PROPFILE	#	String	YES	"error_code"	エラーコードプロパティファイル名。
2	JSP_PROPFILE	#	String	YES	"error_jsp"	エラー画面 JSP プロパティファイル名。
3	URI_PROPFILE	#	String	YES	"jsp_uri"	JSP_URI プロパティファイル名。
4	ex	#	GlpException			グローバルプログラム Exception クラス。
5	jspID	#	String			エラー画面フレーム制御 JSP(ID)。
6	jspURI	#	String			エラー画面フレーム制御 JSP(URI)。
7	htmlUrl	#	String			エラー画面 HTML(URL) 。

メソッド

項番	メソッド名	可視性	引数リスト	戻り値	説明
1	GlpError	+	GlpException ex		GlpErrorを生成する。
2	getHtmlURL	+		String	エラー画面 HTML(URL)を戻す。
3	getJspID	+		String	エラー画面フレーム制御 JSP(ID)を戻す。
4	getJspURI	+		String	エラー画面フレーム制御 JSP(URI)を戻す。

システム	サブ゛システム	コンホ。ーネント	プ。ロセス	プ゜ロク゛ラム	プ゚ロジェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
						更新		IBM	21

		GlpExcep	otion				
パ	ッケージ名	Glp. Glp(Common				
	説明	グローバ	バルプログラムで発生した Exce	eption OF	内容を保持す	る。	
	可視性	+					
スー	ーパークラス	Exception	on				
プロノ	ペティ						
項番	プロパティ名	可視性	生 型	Static		初期値	説明
1	PROPFILE	#	String	YES	"er	ror_code"	エラーコードプロパティファイル名。
2	errorDate	_	Date				エラー日時。
3	errorLevel	_	String				エラーレベル。
4	errorCode	_	String				エラーコード。
5	errorMessage	_	String				エラーメッセージ。
6	errorClass	_	String				エラー発生クラス。
7	exceptionMessag	ge –	String				発生時 Exception メッセージ。
メソ	ッド						
項番	メソッド名	可視性	引数リスト		戻り値		説明
1	GlpException	+	String errorCode String errorClass String exceptionMessage			コンストラクターメ	ソッド。
2	getErrorClass	+			String	エラー発生クラスを	戻す。
3	getErrorCode	+		_	String	エラーコードを戻す	
4	getErrorDate	+			String	エラー日時を戻す。	
5	getErrorLevel	+			String	エラーレベルを戻す	•
6	getErrorMessag	+			String	エラーメッセージを	定戻す。

String

発生時 Exception メッセージを戻す。

getExceptionMe

ssage

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ。ロセス	プ゜ロク゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	22
										

	クラス名 (GlpKaiga	iData					
バ	ッケージ名	Glp. GlpC	ommon					
	説明	view_glp	_kaigai 表を検索し、検索結	果をデータ	タ保持クラスに	こ格納する。		
		+						
スー	ーパークラス	GlpBaseD	bBean					
プロノ	ペティ							
頁番	プロパティ名	可視性	型型	Static	;	初期値	説明	
1	kaigaiData	#	GlpKaigaiData				view_glp_kaigai 表検索データ保持クラス。	
2	ptn_KEY	+	int	YES		1	データ取得パターン(連番)。	
3	ptn_PAGE	+	int	YES		2	データ取得パターン(一覧表に表示する1ページ分の項目)。	
4	ptn_CSV	+	int	YES		3	データ取得パターン(CSVファイルに出力する項目)。	
5	ptn_CUST	+	int	YES		4	データ取得パターン(契約者コード)。	
6	cond_PATTERN	#	int			0	検索条件(PATTERN_HDN)。	
7	cond_JIKO_BI_FRO	#	String				検索条件(JIKO_BI_FROM)。	
8	cond_JIKO_BI_TO	#	String				検索条件 (JIKO_BI_TO)。	
9	cond_BAISYO_BI_F ROM	7 #	String				検索条件(BAISYO_BI_FROM)。	
10	cond_BAISYO_BI_T	#	String				検索条件 (BAISYO_BI_TO)。	
11	cond_SYOKEN_BAN	#	String				検索条件 (SYOKEN_BAN)。	
メソ	ッド							
香	メソッド名	可視性	引数リスト		戻り値			
1	GlpKaigaiBean	+				検索データ保持クラ	スをインスタンス化する。	
2	clearCustCd	+			void	検索データ保持クラ	スを初期化する。	
3	execute	+			void	SQL文を実行し、	結果を検索データ保持クラスに格納する。	
4	getKaigaiData	+			GlpKaigaiD ata	検索データ保持クラ	スを戻す。	
5	getSQL	+			String	検索パターンに合っ	たSQL文を生成する。	
6	setCondBaisyoB iFrom	+	String value		void	検索条件(BAISYO_BI_FROM)の値を格納する。		
7	setCondBaisyoB iTo	+	String value		void	検索条件(BAISYO_BI	_T0)の値を格納する。	

内部設計書	システム	サブ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゚ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	23

項番	メソッド名	可視性	引数リスト	戻り値	説明
8	setCondCustCd	+	String value	void	検索条件(CUST_CD)の値を格納する。
9	setCondJikoBiF rom	+	String value	void	検索条件(JIKO_BI_FROM)の値を格納する。
10	setCondJikoBiT o	+	String value	void	検索条件(JIKO_BI_TO)の値を格納する。
11	setCondPattern	+	int value	void	検索パターンの値を格納する。
12	setCondSeqNo	+	String value	void	検索条件(SEQ_NO)の値を格納する。
13	setCondSyokenB an	+	String value	void	検索条件(SYOKEN_BAN)の値を格納する。

内部設計書	システム	サブ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	24

クラス名	GlpKaigaiBean
パッケージ名	Glp. GlpCommon
説明	view_glp_kaigai 表より取得したデータを保持する。
可視性	+
スーパークラス	

プロパティ

項番	プロパティ名	可視性	型	Static	初期値	説明
1	cond_PATTERN	#	int		0	検索パターン。
2	cond_JIKO_BI_FRO	#	String			検索条件(JIKO_BI_FROM)。
	M					
3	cond_JIKO_BI_TO	#	String			検索条件 (JIKO_BI_TO)。
4	cond_BAISYO_BI_F	#	String			検索条件 (BAISYO_BI_FROM)。
	ROM					
5	cond_BAISYO_BI_T	#	String			検索条件 (BAISYO_BI_TO)。
	0					
6	cond_SYOKEN_BAN	#	String			検索条件(SYOKEN_BAN)。
7	cond_CUST_CD	#	Vector			検索条件 (CUST_CD) の値を格納するための動的配列。
8	SEQ_NO	#	Vector			SEQ_NO(連番)の値を格納するための動的配列。
9	LAST_SYORI_YYYYM	#	Vector			LAST_SYORI_YYYYMM(最終処理年月)の値を格納するための動的
	M					配列。
10	SEIRI_YYYYMM	#	Vector			SEIRI_YYYYMM(整理年月)の値を格納するための動的配列。
11	SYOKEN_BAN	#	Vector			SYOKEN_BAN (証券番号) の値を格納するための動的配列。
12	SYOKEN_EDABAN	#	Vector			SYOKEN_EDABAN (証券番号枝番) の値を格納するための動的配列。
13	HOKEN_SIKI	#	Vector			HOKEN_SIKI (保険始期) の値を格納するための動的配列。
14	HOKEN_KIKAN	#	Vector			HOKEN_KIKAN (保険期間) の値を格納するための動的配列。
15	HOKEN	#	Vector			HOKEN (保険区分) の値を格納するための動的配列。
16	KYOHO_SHR	#	Vector			KYOHO_SHR (当社分シェア) の値を格納するための動的配列。
17	NAIGAI	#	Vector			NAIGAI(内外区分)の値を格納するための動的配列。
18	CUST_CD	#	Vector			CUST_CD (契約者コード) の値を格納するための動的配列。
19	HYOKA_BI	#	Vector			HYOKA_BI (評価-年月日) の値を格納するための動的配列。
20	GETUMATU_KANSANR	#	Vector			GETUMATU_KANSANRITU (当月末-換算率) の値を格納するための
	ITU					動的配列。

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	25

項番	プロパティ名	可視性	型	Static	初期値	説明
21	ZEN_OS_DLR	#	Vector			ZEN_OS_DLR (全社分-合計 OS-ドル) の値を格納するための動的 配列。
22	ZEN_OS_YEN	#	Vector			ZEN_OS_YEN (全社分-合計 OS-円) の値を格納するための動的配列。
23	ZEN_BAISYO_DLR	#	Vector			ZEN_BAISYO_DLR (全社分-賠償金-OS-ドル) の値を格納するための動的配列。
24	ZEN_BAISYO_YEN	#	Vector			ZEN_BAISYO_YEN(全社分-賠償金-OS-円)の値を格納するための動的配列。
25	ZEN_CHOSA_DLR	#	Vector			ZEN_CHOSA_DLR (全社分ー調査費用-OSドル) の値を格納するための動的配列。
26	ZEN_CHOSA_YEN	#	Vector			ZEN_CHOSA_YEN (全社分ー調査費用-OS円) の値を格納するための動的配列。
27	TOU_OS_DLR	#	Vector			TOU_OS_DLR (当社分-合計-OS-ドル) の値を格納するための動 的配列。
28	TOU_OS_YEN	#	Vector			TOU_OS_YEN (当社分-合計-OS-円) の値を格納するための動 的配列。
29	TOU_BAISYO_DLR	#	Vector			TOU_BAISYO_DLR (当社分-賠償金-OS-ドル) の値を格納するための動的配列。
30	TOU_BAISYO_YEN	#	Vector			TOU_BAISYO_YEN (当社分一賠償金-OS-円) の値を格納するための動的配列。
31	TOU_CHOSA_DLR	#	Vector			TOU_CHOSA_DLR (当社分ー調査費用-OS ドル) の値を格納するための動的配列。
32	TOU_CHOSA_YEN	#	Vector			TOU_CHOSA_YEN (当社分ー調査費用-OS円) の値を格納するための動的配列。
33	HARAI_BI	#	Vector			HARAI_BI (支払-年月日) の値を格納するための動的配列。
34	ZEN_BAISYO_HARAI _DLR	#	Vector			ZEN_BAISYO_HARAI_DLR (全社分 - 賠償金 - 支払ードル) の値を格納するための動的配列。
35	ZEN_BAISYO_HARAI _YEN	#	Vector			ZEN_BAISYO_HARAI_YEN (全社分一賠償金一支払一円) の値を格納するための動的配列。
36	ZEN_BENGO_HARAI_ DLR	#	Vector			ZEN_BENGO_HARAI_DLR (全社分一弁護士-支払ードル) の値を格納するための動的配列。
37	ZEN_BENGO_HARAI_ YEN	#	Vector			ZEN_BENGO_HARAI_YEN (全社分一弁護士一支払一円) の値を格納するための動的配列。

内部設計書	システム	サブ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	26

項番	プロパティ名	可視性	型	Static	初期値	説明
38	ZEN_EXPERT_HARAI _DLR	#	Vector			ZEN_EXPERT_HARAI_DLR (全社分ーエキスパートー支払ート゚ル) の値を 格納するための動的配列。
39	ZEN_EXPERT_HARAI _YEN	#	Vector			ZEN_EXPERT_HARAI_YEN (全社分ーエキスパートー支払一円) の値を格納するための動的配列。
40	ZEN_CLM_HARAI_DL R	#	Vector			ZEN_CLM_HARAI_DLR (全社分ークレーム代理店-支払ードル) の値を 格納するための動的配列。
41	ZEN_CLM_HARAI_YE N	#	Vector			ZEN_CLM_HARAI_YEN (全社分ールーム代理店-支払-円)の値を格納するための動的配列。
42	ZEN_HOKA_HARAI_D LR	#	Vector			ZEN_HOKA_HARAI_DLR (全社分ーその他一支払ードル) の値を格納するための動的配列。
43	ZEN_HOKA_HARAI_Y EN	#	Vector			ZEN_HOKA_HARAI_YEN (全社分ーその他-支払-円) の値を格納するための動的配列。
44	ZEN_TMM_HARAI_DL R	#	Vector			ZEN_TMM_HARAI_DLR (全社分-TMM-支払ードル) の値を格納するための動的配列。
45	ZEN_TMM_HARAI_YE N	#	Vector			ZEN_TMM_HARAI_YEN (全社分-TMM-支払-円)の値を格納するための動的配列。
46	ZEN_TAC_HARAI_DL R	#	Vector			ZEN_TAC_HARAI_DLR (全社分-TAC-支払ードル) の値を格納するための動的配列。
47	ZEN_TAC_HARAI_YE N	#	Vector			ZEN_TAC_HARAI_YEN (全社分-TAC-支払-円)の値を格納するための動的配列。
48	ZEN_TOU_CHOSA_DL R	#	Vector			ZEN_TOU_CHOSA_DLR (全社分-当社分-調査費用支払ードル) の 値を格納するための動的配列。
49	ZEN_TOU_CHOSA_YE N	#	Vector			ZEN_TOU_CHOSA_YEN (全社分-当社分-調査費用支払-円)の値を格納するための動的配列。
50	ZEN_HOKEN_HARAI_ DLR	#	Vector			ZEN_HOKEN_HARAI_DLR (全社分-保険金合計-支払ードル) の値を格納するための動的配列。
51	ZEN_HOKEN_HARAI_ YEN	#	Vector			ZEN_HOKEN_HARAI_YEN (全社分ー保険金合計一支払一円) の値を 格納するための動的配列。
52	TOU_BAISYO_HARAI _DLR	#	Vector			TOU_BAISYO_HARAI_DLR (当社分-賠償金-支払ードル) の値を格納するための動的配列。
53	TOU_BAISYO_HARAI _YEN	#	Vector			TOU_BAISYO_HARAI_YEN (当社分一賠償金一支払一円) の値を格納するための動的配列。

内部設計書	システム	サブ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	27

項番	プロパティ名	可視性	型	Static	初期値	説明
54	TOU_BENGO_HARAI_ DLR	#	Vector			TOU_BENGO_HARAI_DLR (当社分一弁護士-支払ードル) の値を格納するための動的配列。
55	TOU_BENGO_HARAI_ YEN	#	Vector			TOU_BENGO_HARAI_YEN (当社分一弁護士一支払一円) の値を格納するための動的配列。
56	TOU_EXPERT_HARAI _DLR	#	Vector			TOU_EXPERT_HARAI_DLR (当社分-エキスパート-支払ート゚ル) の値を格納するための動的配列。
57	TOU_EXPERT_HARAI _YEN	#	Vector			TOU_EXPERT_HARAI_YEN (当社分ーエキスパートー支払一円) の値を格納するための動的配列。
58	TOU_CLM_HARAI_DL R	#	Vector			TOU_CLM_HARAI_DLR (当社分ークレーム代理店-支払ート゚ル) の値を格納するための動的配列。
59	TOU_CLM_HARAI_YE N	#	Vector			TOU_CLM_HARAI_YEN (当社分ークレーム代理店-支払-円)の値を格納するための動的配列。
60	TOU_HOKA_HARAI_D LR	#	Vector			TOU_HOKA_HARAI_DLR (当社分ーその他一支払ードル) の値を格納するための動的配列。
61	TOU_HOKA_HARAI_Y EN	#	Vector			TOU_HOKA_HARAI_YEN (当社分ーその他一支払一円) の値を格納するための動的配列。
62	TOU_TMM_HARAI_DL R	#	Vector			TOU_TMM_HARAI_DLR (当社分-TMM-支払ードル) の値を格納 するための動的配列。
63	TOU_TMM_HARAI_YE N	#	Vector			TOU_TMM_HARAI_YEN (当社分ーTMM-支払-円) の値を格納するための動的配列。
64	TOU_TAC_HARAI_DL R	#	Vector			TOU_TAC_HARAI_DLR (当社分-TAC-支払ードル) の値を格納 するための動的配列。
65	TOU_TAC_HARAI_YE N	#	Vector			TOU_TAC_HARAI_YEN (当社分一TAC-支払-円) の値を格納するための動的配列。
66	TOU_TOU_CHOSA_DL R	#	Vector			TOU_TOU_CHOSA_DLR (当社分-当社分-調査費用支払ードル) の 値を格納するための動的配列。
67	TOU_TOU_CHOSA_YE	#	Vector			TOU_TOU_CHOSA_YEN (当社分一当社分一調査費用支払一円)の値を格納するための動的配列。
68	TOU_HOKEN_HARAI_ DLR	#	Vector			TOU_HOKEN_HARAI_DLR (当社分-保険金合計-支払ードル) の値を格納するための動的配列。
69	TOU_HOKEN_HARAI_ YEN	#	Vector			TOU_HOKEN_HARAI_YEN (当社分-保険金合計-支払-円) の値を 格納するための動的配列。

内部設計書	システム	サブ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	28

項番	プロパティ名	可視性	型	Static	初期値	説明
70	INPUT_JIKEN	#	Vector		W 1 W	INPUT_JIKEN (インプットー事件番号) の値を格納するための動 的配列。
71	INPUT_JIKEN_EDAB AN	#	Vector			INPUT_JIKEN_EDABAN (インプットー事件番号-枝番) の値を格納するための動的配列。
72	KEIJYO_BI	#	Vector			KEIJYO_BI (計上-年月日) の値を格納するための動的配列。
73	UKETUKE_BI	#	Vector			UKETUKE_BI (受付-年月日) の値を格納するための動的配列。
74	KANRYO_BI	#	Vector			KANRYO_BI (完了一年月日) の値を格納するための動的配列。
75	CLMT_1	#	Vector			CLMT_1 (クレマント-1) の値を格納するための動的配列。
76	CLMT_2	#	Vector			CLMT_2 (クレマント-2) の値を格納するための動的配列。
77	CLMT_NINZU	#	Vector			CLMT_NINZU(クレマント人数)の値を格納するための動的配列。
78	CLASS_ACTION	#	Vector			CLASS_ACTION (クラスーアクション) の値を格納するための動 的配列。
79	JIKO_BI	#	Vector			JIKO_BI (事故発生-年月日) の値を格納するための動的配列。
80	BAISYO_BI	#	Vector			BAISYO_BI (賠償請求-年月日) の値を格納するための動的配列。
81	CLM	#	Vector			CLM(クレームー代理店)の値を格納するための動的配列。
82	BENGO	#	Vector			BENGO (弁護士) の値を格納するための動的配列。
83	JIKO_CHI	#	Vector			JIKO_CHI (事故地) の値を格納するための動的配列。
84	JIKO_CHI_NAME	#	Vector			JIKO_CHI_NAME (事故地名称) の値を格納するための動的配列。
85	SOSYO_CHI	#	Vector			SOSYO_CHI (訴訟地) の値を格納するための動的配列。
86	SOSYO_CHI_NAME	#	Vector			SOSYO_CHI_NAME (訴訟地名称) の値を格納するための動的配列。
87	JIKO_TAIYO	#	Vector			JIKO_TAIYO (事故態様) の値を格納するための動的配列。
88	JIKO_TAIYO_NAME	#	Vector			JIKO_TAIYO_NAME (事故態様名称) の値を格納するための動的配列。
89	FUSY0	#	Vector			FUSYO (負傷) の値を格納するための動的配列。
90	FUSYO_NAME	#	Vector			FUSYO_NAME (負傷名称) の値を格納するための動的配列。
91	NENSIKI	#	Vector			NENSIKI (年式) の値を格納するための動的配列。
92	MODEL	#	Vector			MODEL (モデル) の値を格納するための動的配列。
93	KEKKAN_1	#	Vector			KEKKAN_1 (欠陥主張-1) の値を格納するための動的配列。
94	KEKKAN_1_NAME	#	Vector			KEKKAN_1_NAME (欠陥主張-1名称) の値を格納するための動的配列。
95	KEKKAN_2	#	Vector			KEKKAN_2 (欠陥主張-2) の値を格納するための動的配列。

内部設計書	システム	サブ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	29

項番	プロパティ名	可視性	型型	Static		初期値	説明			
96	KEKKAN_2_NAME	#	Vector				KEKKAN_2_NAME (欠陥主張-2名称) の値を格納するための動的 配列。			
97	KEKKAN_3	#	Vector				KEKKAN_3 (欠陥主張-3) の値を格納するための動的配列。			
98	KEKKAN_3_NAME	#	Vector				KEKKAN_3_NAME (欠陥主張 - 3名称) の値を格納するための動的配列。			
99	CLM_TAIYO	#	Vector				CLM_TAIYO (クレーム態様) の値を格納するための動的配列。			
100	CLM_TAIYO_NAME	#	Vector				CLM_TAIYO_NAME (クレーム態様名称) の値を格納するための動 的配列。			
101	KAIKETU_TAIYO	#	Vector				KAIKETU_TAIYO (解決態様) の値を格納するための動的配列。			
102	KAIKETU_TAIYO_NA ME	#	Vector				KAIKETU_TAIYO_NAME (解決態様名称) の値を格納するための動 的配列。			
103	STATUS	#	Vector				STATUS (クローズー可否-区分) の値を格納するための動的配列。			
104	CLOSE_KAHI	#	Vector				CLOSE_KAHI (クローズー可否-区分(名称)) の値を格納するための動的配列。			
105	SELF_JIKO_KOMOKU	#	Vector				SELF_JIKO_KOMOKU (セルフー事故項目) の値を格納するための動的配列。			
106	SELF_CUST_REF_NO	#	Vector				SELF_CUST_REF_NO (セルフー契約者-REF番号) の値を格納 するための動的配列。			
107	KOSIN_BI	#	Vector				KOSIN_BI (データ更新日) の値を格納するための動的配列。			
メソッ	ッド									
項番	メソッド名	可視性	引数リスト		戻り値		説明			
1	GlpKaigaiData	+				コンストラクターメ	ソッド。			
2	clear	+	int pattern		void	Vector の値を初期化	とする。			
3	formatCurrency	_	String value		String	通貨の値をカンマ区	切りで整形して値を戻す。			
4	getBaisyoBi	+	int index		String	BAISYO_BI の値を戻っ	<u>-</u>			
5	getBengo	+	int index		String	BENGO の値を戻す。				
6	getClassAction	+	int index		String	CLASS_ACTION の値を戻す。				
7	getC1m	+	int index		String	CLMの値を戻す。				
8	getClmt1	+	int index		String	CLMT_1 の値を戻す。				
9	getClmt2	+	int index		String	CLMT_2 の値を戻す。				
10	getClmTaiyo	+	int index		String	CLM_TAIYOの値を戻っ	す。 			

内部設計書	システム	サブ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	30

項番	メソッド名	可視性	引数リスト	戻り値	説明
11	getClmTaiyoNam e	+	int index	String	CLM_TAIYO_NAME の値を戻す。
12	getClmtNinzu	+	int index	String	CLMT_NINZU の値を戻す。
13	getCloseKahi	+	int index	String	CLOSE_KAHI の値を戻す。
14	getCondBaisyoB iFrom	+		String	検索条件 (BAISYO_BI_FROM) の値を戻す。
15	getCondBaisyoB iTo	+		String	検索条件 (BAISYO_BI_TO) の値を戻す。
16	getCondCustCd	+	int index	String	検索条件(CUST_CD)の値を戻す。
17	getCondJikoBiF rom	+		String	検索条件(JIKO_BI_FROM)の値を戻す。
18	getCondJikoBiT o	+		String	検索条件 (JIKO_BI_TO) の値を戻す。
19	getCondPattern	+		int	検索パターンの値を戻す。
20	getCondSyokenB an	+		String	検索条件 (SYOKEN_BAN) の値を戻す。
21	getCustCd	+	int index	String	CUST_CD の値を戻す。
22	getFusyo	+	int index	String	FUSYO の値を戻す。
23	getFusyoName	+	int index	String	FUSYO_NAME の値を戻す。
24	getGetumatuKan sanritu	+	int index	String	GETUMATU_KANSANRITU の値を戻す。
25	getHaraiBi	+	int index	String	HARAI_BI の値を戻す。
26	getHoken	+	int index	String	HOKEN の値を戻す。
27	getHokenKikan	+	int index	String	HOKEN_KIKAN の値を戻す。
28	getHokenSiki	+	int index	String	HOKEN_SIKI の値を戻す。
29	getHyokaBi	+	int index	String	HYOKA_BI の値を戻す。
30	getInputJiken	+	int index	String	INPUT_JIKEN の値を戻す。
31	getInputJikenE daban	+	int index	String	INPUT_JIKEN_EDABAN の値を戻す。
32	getJikoBi	+	int index	String	JIKO_BI の値を戻す。
33	getJikoChi	+	int index	String	JIKO_CHI の値を戻す。
34	getJikoChiName	+	int index	String	JIKO_CHI_NAME の値を戻す。

内部設計書	システム	サブ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	31

頁番	メソッド名	可視性	引数リスト	戻り値	説明
35	getJikoTaiyo	+	int index	String	JIKO_TAIYOの値を戻す。
36	getJikoTaiyoNa me	+	int index	String	JIKO_TAIYO_NAME の値を戻す。
37	getKaiketuTaiy o	+	int index	String	KAIKETU_TAIYOの値を戻す。
38	getKaiketuTaiy oName	+	int index	String	KAIKETU_TAIYO_NAME の値を戻す。
39	getKanryoBi	+	int index	String	KANRYO_BI の値を戻す。
40	getKeijyoBi	+	int index	String	KEIJYO_BI の値を戻す。
41	getKekkan1	+	int index	String	KEKKAN_1 の値を戻す。
42	getKekkan1Name	+	int index	String	KEKKAN_1_NAME の値を戻す。
43	getKekkan2	+	int index	String	KEKKAN_2 の値を戻す。
44	getKekkan2Name	+	int index	String	KEKKAN_2_NAME の値を戻す。
45	getKekkan3	+	int index	String	KEKKAN_3 の値を戻す。
46	getKekkan3Name	+	int index	String	KEKKAN_3_NAME の値を戻す。
47	getKosinBi	+	int index	String	KOSIN_BI の値を戻す。
48	getKyohoShr	+	int index	String	KYOHO_SHR の値を戻す。
49	getLastSyoriYy yymm	+	int index	String	LAST_SYORI_YYYYMM の値を戻す。
50	getModel	+	int index	String	MODEL の値を戻す。
51	getNaigai	+	int index	String	NAIGAI の値を戻す。
52	getNensiki	+	int index	String	NENSIKI の値を戻す。
53	getRowCount	+	int pattern	int	格納されているデータ件数を戻す。
54	getSeiriYyyymm	+	int index	String	SEIRI_YYYYMMの値を戻す。
55	getSelfCustRef No	+	int index	String	SELF_CUST_REF_NO の値を戻す。
56	getSelfJikoKom oku	+	int index	String	SELF_JIKO_KOMOKU の値を戻す。
57	getSeqNo	+	int index	String	SEQ_NO の値を戻す。
58	getSosyoChi	+	int index	String	SOSYO_CHI の値を戻す。
59	getSosyoChiNam e	+	int index	String	SOSYO_CHI_NAME の値を戻す。

内部設計書	システム	サブ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	32

項番	メソッド名	可視性	引数リスト	戻り値	説明
60	getStatus	+	int index	String	STATUS の値を戻す。
61	getSyokenBan	+	int index	String	SYOKEN_BAN の値を戻す。
62	getSyokenEdaba n	+	int index	String	SYOKEN_EDABAN の値を戻す。
63	getTouBaisyoDl r	+	int index	String	TOU_BAISYO_DLR の値を戻す。
64	getTouBaisyoHa raiDlr	+	int index	String	TOU_BAISYO_HARAI_DLR の値を戻す。
65	getTouBaisyoHa raiYen	+	int index	String	TOU_BAISYO_HARAI_YEN の値を戻す。
66	getTouBaisyoYe n	+	int index	String	TOU_BAISYO_YEN の値を戻す。
67	getTouBengoHar aiDlr	+	int index	String	TOU_BENGO_HARAI_DLR の値を戻す。
68	getTouBengoHar aiYen	+	int index	String	TOU_BENGO_HARAI_YEN の値を戻す。
69	getTouChosaDlr	+	int index	String	TOU_CHOSA_DLR の値を戻す。
70	getTouChosaYen	+	int index	String	TOU_CHOSA_YEN の値を戻す。
71	getTouClmHarai Dlr	+	int index	String	TOU_CLM_HARAI_DLR の値を戻す。
72	getTouClmHarai Yen	+	int index	String	TOU_CLM_HARAI_YEN の値を戻す。
73	getTouExpertHa raiDlr	+	int index	String	TOU_EXPERT_HARAI_DLR の値を戻す。
74	getTouExpertHa raiYen	+	int index	String	TOU_EXPERT_HARAI_YEN の値を戻す。
75	getTouHokaHara iDlr	+	int index	String	TOU_HOKA_HARAI_DLR の値を戻す。
76	getTouHokaHara iYen	+	int index	String	TOU_HOKA_HARAI_YEN の値を戻す。
77	getTouHokenHar aiDlr	+	int index	String	TOU_HOKEN_HARAI_DLR の値を戻す。

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	33

頁番	メソッド名	可視性	引数リスト	戻り値	説明
78	getTouHokenHar aiYen	+	int index	String	TOU_HOKEN_HARAI_YENの値を戻す。
79	getTouOsDlr	+	int index	String	TOU_OS_DLR の値を戻す。
80	getTouOsYen	+	int index	String	TOU_OS_YEN の値を戻す。
81	getTouTacHarai Dlr	+	int index	String	TOU_TAC_HARAI_DLR の値を戻す。
82	getTouTacHarai Yen	+	int index	String	TOU_TAC_HARAI_YEN の値を戻す。
83	getTouTmmHarai Dlr	+	int index	String	TOU_TMM_HARAI_DLR の値を戻す。
84	getTouTmmHarai Yen	+	int index	String	TOU_TMM_HARAI_YEN の値を戻す。
85	getTouTouChosa Dlr	+	int index	String	TOU_TOU_CHOSA_DLR の値を戻す。
86	getTouTouChosa Yen	+	int index	String	TOU_TOU_CHOSA_YEN の値を戻す。
87	getUketukeBi	+	int index	String	UKETUKE_BI の値を戻す。
88	getZenBaisyoDl r	+	int index	String	ZEN_BAISYO_DLR の値を戻す。
89	getZenBaisyoHa raiDlr	+	int index	String	ZEN_BAISYO_HARAI_DLR の値を戻す。
90	getZenBaisyoHa raiYen	+	int index	String	ZEN_BAISYO_HARAI_YEN の値を戻す。
91	getZenBaisyoYe n	+	int index	String	ZEN_BAISYO_YEN の値を戻す。
92	getZenBengoHar aiDlr	+	int index	String	ZEN_BENGO_HARAI_DLR の値を戻す。
93	getZenBengoHar aiYen	+	int index	String	ZEN_BENGO_HARAI_YEN の値を戻す。
94	getZenChosaDlr	+	int index	String	ZEN_CHOSA_DLR の値を戻す。
95	getZenChosaYen	+	int index	String	ZEN_CHOSA_YEN の値を戻す。

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	34

頁番	メソッド名	可視性	引数リスト	戻り値	説明
96	getZenClmHarai Dlr	+	int index	String	ZEN_CLM_HARAI_DLR の値を戻す。
97	getZenClmHarai Yen	+	int index	String	ZEN_CLM_HARAI_YEN の値を戻す。
98	getZenExpertHa raiDlr	+	int index	String	ZEN_EXPERT_HARAI_DLR の値を戻す。
99	getZenExpertHa raiYen	+	int index	String	ZEN_EXPERT_HARAI_YEN の値を戻す。
100	getZenHokaHara iDlr	+	int index	String	ZEN_HOKA_HARAI_DLR の値を戻す。
101	getZenHokaHara iYen	+	int index	String	ZEN_HOKA_HARAI_YEN の値を戻す。
102	getZenHokenHar aiDlr	+	int index	String	ZEN_HOKEN_HARAI_DLR の値を戻す。
103	getZenHokenHar aiDlr_Format	+	int index	String	ZEN_HOKEN_HARAI_DLR の整形した値を戻す。
104	getZenHokenHar aiYen	+	int index	String	ZEN_HOKEN_HARAI_YEN の値を戻す。
105	getZenOsD1r	+	int index	String	ZEN_OS_DLR の値を戻す。
106	getZenOsDlr_Fo rmat	+	int index	String	ZEN_OS_DLR の整形した値を戻す。
107	getZenOsYen	+	int index	String	ZEN_OS_YEN の値を戻す。
108	getZenTacHarai Dlr	+	int index	String	ZEN_TAC_HARAI_DLR の値を戻す。
109	getZenTacHarai Yen	+	int index	String	ZEN_TAC_HARAI_YEN の値を戻す。
110	getZenTmmHarai Dlr	+	int index	String	ZEN_TMM_HARAI_DLR の値を戻す。
111	getZenTmmHarai Yen	+	int index	String	ZEN_TMM_HARAI_YEN の値を戻す。
112	getZenTouChosa Dlr	+	int index	String	ZEN_TOU_CHOSA_DLR の値を戻す。

内部設計書	システム	サブ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	35

頁番	メソッド名	可視性	引数リスト	戻り値	説明
113	getZenTouChosa Yen	+	int index	String	ZEN_TOU_CHOSA_YEN の値を戻す。
114	setBaisyoBi	+	String value	void	BAISYO_BI の値を格納する。
115	setBengo	+	String value	void	BENGO の値を格納する。
116	setClassAction	+	String value	void	CLASS_ACTION の値を格納する。
117	setClm	+	String value	void	CLM の値を格納する。
118	setClmt1	+	String value	void	CLMT_1 の値を格納する。
119	setClmt2	+	String value	void	CLMT_2 の値を格納する。
120	setClmTaiyo	+	String value	void	CLM_TAIYO の値を格納する。
121	setClmTaiyoNam e	+	String value	void	CLM_TAIYO_NAME の値を格納する。
122	setClmtNinzu	+	String value	void	CLMT_NINZU の値を格納する。
123	setCloseKahi	+	String value	void	CLOSE_KAHI の値を格納する。
124	setCondBaisyoB iFrom	+	String value	void	検索条件 (BAISYO_BI_FROM) の値を格納する。
125	setCondBaisyoB iTo	+	String value	void	検索条件 (BAISYO_BI_TO) の値を格納する。
126	setCondCustCd	+	String value	void	検索条件 (CUST_CD) の値を格納する。
127	setCondJikoBiF rom	+	String value	void	検索条件 (JIKO_BI_TO) の値を格納する。
128	setCondJikoBiT o	+	String value	void	検索条件 (JIKO_BI_TO) の値を格納する。
129	setCondPattern	+	int value	void	検索パターンの値を格納する。
130	setCondSyokenB an	+	String value	void	検索条件 (SYOKEN_BAN) の値を格納する。
131	setCustCd	+	String value	void	CUST_CD の値を格納する。
132	setFusyo	+	String value	void	FUSYO の値を格納する。
133	setFusyoName	+	String value	void	FUSYO_NAME の値を格納する。
134	setGetumatuKan sanritu	+	String value	void	GETUMATU_KANSANRITU の値を格納する。
135	setHaraiBi	+	String value	void	HARAI_BI の値を格納する。
136	setHoken	+	String value	void	HOKEN の値を格納する。

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	36

項番	メソッド名	可視性	引数リスト	戻り値	説明
137	setHokenKikan	+	String value	void	HOKEN_KIKAN の値を格納する。
138	setHokenSiki	+	String value	void	HOKEN_SIKI の値を格納する。
139	setHyokaBi	+	String value	void	HYOKA_BI の値を格納する。
140	setInputJiken	+	String value	void	INPUT_JIKEN の値を格納する。
141	setInputJikenE daban	+	String value	void	INPUT_JIKEN_EDABAN の値を格納する。
142	setJikoBi	+	String value	void	JIKO_BI の値を格納する。
143	setJikoChi	+	String value	void	JIKO_CHI の値を格納する。
144	setJikoChiName	+	String value	void	JIKO_CHI_NAME の値を格納する。
145	setJikoTaiyo	+	String value	void	JIKO_TAIYOの値を格納する。
146	setJikoTaiyoNa me	+	String value	void	JIKO_TAIYO_NAME の値を格納する。
147	setKaiketuTaiy o	+	String value	void	KAIKETU_TAIYOの値を格納する。
148	setKaiketuTaiy oName	+	String value	void	KAIKETU_TAIYO_NAME の値を格納する。
149	setKanryoBi	+	String value	void	KANRYO_BI の値を格納する。
150	setKeijyoBi	+	String value	void	KEIJYO_BI の値を格納する。
151	setKekkan1	+	String value	void	KEKKAN_1 の値を格納する。
152	setKekkan1Name	+	String value	void	KEKKAN_1_NAME の値を格納する。
153	setKekkan2	+	String value	void	KEKKAN_2 の値を格納する。
154	setKekkan2Name	+	String value	void	KEKKAN_2_NAME の値を格納する。
155	setKekkan3	+	String value	void	KEKKAN_3 の値を格納する。
156	setKekkan3Name	+	String value	void	KEKKAN_3_NAME の値を格納する。
157	setKosinBi	+	String value	void	KOSIN_BI の値を格納する。
158	setKyohoShr	+	String value	void	KYOHO_SHR の値を格納する。
159	setLastSyoriYy yymm	+	String value	void	LAST_SYORI_YYYYMM の値を格納する。
160	setModel	+	String value	void	MODEL の値を格納する。
161	setNaigai	+	String value	void	NAIGAI の値を格納する。
162	setNensiki	+	String value	void	NENSIKI の値を格納する。
163	setSeiriYyyymm	+	String value	void	SEIRI_YYYYMM の値を格納する。

内部設計書	システム	サブ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	37

頁番	メソッド名	可視性	引数リスト	戻り値	説明
164	setSelfCustRef No	+	String value	void	SELF_CUST_REF_NO の値を格納する。
165	setSelfJikoKom oku	+	String value	void	SELF_JIKO_KOMOKU の値を格納する。
166	setSeqNo	+	String value	void	SEQ_NO の値を格納する。
167	setSosyoChi	+	String value	void	SOSYO_CHI の値を格納する。
168	setSosyoChiNam e	+	String value	void	SOSYO_CHI_NAME の値を格納する。
169	setStatus	+	String value	void	STATUS の値を格納する。
170	setSyokenBan	+	String value	void	SYOKEN_BAN の値を格納する。
171	setSyokenEdaba n	+	String value	void	SYOKEN_EDABAN の値を格納する。
172	setTouBaisyoDl r	+	String value	void	TOU_BAISYO_DLR の値を格納する。
173	setTouBaisyoHa raiDlr	+	String value	void	TOU_BAISYO_HARAI_DLR の値を格納する。
174	setTouBaisyoHa raiYen	+	String value	void	TOU_BAISYO_HARAI_YEN の値を格納する。
175	setTouBaisyoYe n	+	String value	void	TOU_BAISYO_YEN の値を格納する。
176	setTouBengoHar aiDlr	+	String value	void	TOU_BENGO_HARAI_DLR の値を格納する。
177	setTouBengoHar aiYen	+	String value	void	TOU_BENGO_HARAI_YEN の値を格納する。
178	setTouChosaDlr	+	String value	void	TOU_CHOSA_DLR の値を格納する。
179	setTouChosaYen	+	String value	void	TOU_CHOSA_YENの値を格納する。
180	setTouClmHarai Dlr	+	String value	void	TOU_CLM_HARAI_DLR の値を格納する。
181	setTouClmHarai Yen	+	String value	void	TOU_CLM_HARAI_YEN の値を格納する。
182	setTouExpertHa raiDlr	+	String value	void	TOU_EXPERT_HARAI_DLR の値を格納する。

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ。ロセス	プ゚ログラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	38

項番	メソッド名	可視性	引数リスト	戻り値	説明
183	setTouExpertHa raiYen	+	String value	void	TOU_EXPERT_HARAI_YEN の値を格納する。
184	setTouHokaHara iDlr	+	String value	void	TOU_HOKA_HARAI_DLR の値を格納する。
185	setTouHokaHara iYen	+	String value	void	TOU_HOKA_HARAI_YEN の値を格納する。
186	setTouHokenHar aiDlr	+	String value	void	TOU_HOKEN_HARAI_DLR の値を格納する。
187	setTouHokenHar aiYen	+	String value	void	TOU_HOKEN_HARAI_YEN の値を格納する。
188	setTouOsDlr	+	String value	void	TOU_OS_DLR の値を格納する。
189	setTouOsYen	+	String value	void	TOU_OS_YEN の値を格納する。
190	setTouTacHarai Dlr	+	String value	void	TOU_TAC_HARAI_DLR の値を格納する。
191	setTouTacHarai Yen	+	String value	void	TOU_TAC_HARAI_YEN の値を格納する。
192	setTouTmmHarai Dlr	+	String value	void	TOU_TMM_HARAI_DLR の値を格納する。
193	setTouTmmHarai Yen	+	String value	void	TOU_TMM_HARAI_YEN の値を格納する。
194	setTouTouChosa Dlr	+	String value	void	TOU_TOU_CHOSA_DLR の値を格納する。
195	setTouTouChosa Yen	+	String value	void	TOU_TOU_CHOSA_YEN の値を格納する。
196	setUketukeBi	+	String value	void	UKETUKE_BI の値を格納する。
197	setZenBaisyoDl r	+	String value	void	ZEN_BAISYO_DLR の値を格納する。
198	setZenBaisyoHa raiDlr	+	String value	void	ZEN_BAISYO_HARAI_DLR の値を格納する。
199	setZenBaisyoHa raiYen	+	String value	void	ZEN_BAISYO_HARAI_YEN の値を格納する。

内部設計書	システム	サブ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	39

項番	メソッド名	可視性	引数リスト	戻り値	説明
200	setZenBaisyoYe n	+	String value	void	ZEN_BAISYO_YEN の値を格納する。
201	setZenBengoHar aiDlr	+	String value	void	ZEN_BENGO_HARAI_DLR の値を格納する。
202	setZenBengoHar aiYen	+	String value	void	ZEN_BENGO_HARAI_YEN の値を格納する。
203	setZenChosaDlr	+	String value	void	ZEN_CHOSA_DLRの値を格納する。
204	setZenChosaYen	+	String value	void	ZEN_CHOSA_YENの値を格納する。
205	setZenClmHarai Dlr	+	String value	void	ZEN_CLM_HARAI_DLR の値を格納する。
206	setZenClmHarai Yen	+	String value	void	ZEN_CLM_HARAI_YEN の値を格納する。
207	setZenExpertHa raiDlr	+	String value	void	ZEN_EXPERT_HARAI_DLR の値を格納する。
208	setZenExpertHa raiYen	+	String value	void	ZEN_EXPERT_HARAI_YEN の値を格納する。
209	setZenHokaHara iDlr	+	String value	void	ZEN_HOKA_HARAI_DLR の値を格納する。
210	setZenHokaHara iYen	+	String value	void	ZEN_HOKA_HARAI_YEN の値を格納する。
211	setZenHokenHar aiDlr	+	String value	void	ZEN_HOKEN_HARAI_DLR の値を格納する。
212	setZenHokenHar aiYen	+	String value	void	ZEN_HOKEN_HARAI_YEN の値を格納する。
213	setZenOsD1r	+	String value	void	ZEN_OS_DLR の値を格納する。
214	setZenOsYen	+	String value	void	ZEN_OS_YEN の値を格納する。
215	setZenTacHarai Dlr	+	String value	void	ZEN_TAC_HARAI_DLR の値を格納する。
216	setZenTacHarai Yen	+	String value	void	ZEN_TAC_HARAI_YEN の値を格納する。
217	setZenTmmHarai Dlr	+	String value	void	ZEN_TMM_HARAI_DLR の値を格納する。

内部設計書	システム	サブ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゚ロジェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	40

項番	メソッド名	可視性	引数リスト	戻り値	説明
218	setZenTmmHarai	+	String value	void	ZEN_TMM_HARAI_YEN の値を格納する。
	Yen				
219	setZenTouChosa	+	String value	void	ZEN_TOU_CHOSA_DLR の値を格納する。
	Dlr				
220	setZenTouChosa	+	String value	void	ZEN_TOU_CHOSA_YEN の値を格納する。
	Yen				

内部設計書	システム	サブ゛システム	コンホ。ーネント	プ。ロセス	プ゚ログラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	41

	クラス名	G1pMenuB	ean											
バ	ツケージ名	Glp. GlpC	ommon											
	説明	TB_GLP_M	ENU 表を検索し、検索結果を	データ保持	テクラスに格約	内する。								
	可視性	+												
スー	ーパークラス	GlpBaseD	pBaseDbBean											
プロノ	ペティ													
項番	プロパティ名	可視性	± 型	Static		初期値	説明							
1	MenuData	#	GlpMenuData				検索データ保持クラス。							
2	cond_Enterprise	#	String				検索条件(企業コード)。							
	CD													
メソ	ッド		·											
項番	メソッド名	可視性	引数リスト		戻り値		説明							
1	GlpMenuBean	+				検索データ保持クラ	スをインスタンス化する。							
2	execute	+			void	SQL文を実行し、	結果を検索データ保持クラスに格納する。							
3	GlpMenuData	+			GlpMenuDat	検索データ保持クラ	スを戻す。							
					a									
4	getSQL	+	たSQL文を生成する。											
5	setCondEnterpr	+	String value		void	検索条件(企業コー	ド) の値を格納する。							
	ise_CD													

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ。ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	42

		GlpMenuI						
パ	パッケージ名	Glp. Glp(
	説明	TB_GLP_N	IAIN_MENU 表より取得した?	データを保持	する。			
	可視性	+						
	ーパークラス							
	パティ			<u> </u>				
項番	プロパティ名	可視性		Static		初期値	説明	
1	Enterprise_CD	#	Vector				ENTERPRISE_CD(企業コード)の値を格納するための動的配列。	
2	Policy_Data_BTN		Vector				POLICY_DATA_BTN の値を格納するための動的配列。	
3	Claim_BTN	#	Vector				CLAIM_BTN の値を格納するための動的配列。	
4	Loss_Control_BT	`N #	Vector				LOSS_CONTOROL_BTN の値を格納するための動的配列。	
5	Others_BTN	#	Vector				OTHERS_BTN の値を格納するための動的配列。	
メソ	ッド							
項番	メソッド名	可視性	引数リスト		戻り値		説明	
1	GlpMenuData	+				コンストラクタース	メソッド	
2	getClaim_BTN	+	int index		String	Claim_BTN の値を戻	! †.	
3	getEnterprise_ CD	+	int index		String	Enterprise_CD の値	を戻す	
4	getLoss_Contro 1_BTN	+	int index		String	Loss_Control_BTN (の値を戻す。	
5	getOthers_BTN	+	int index		String	Others_BTN の値を別		
6	getPolicy_Data BTN	+	int index		String	Policy_Data_BTN 0	値を戻す。	
7	getRowCount	+			int	格納されているデー	-タ件数を戻す。	
8	setClaim_BTN	+	String value		void	Claim_BTN の値を格	納する。	
9	setEnterprise_ CD	+	String value		void	Enterprise_CD の値	Iを格納する。	
10	setLoss_Contro 1_BTN	+	String value		void	Loss_Control_BTN (の値を格納する。	
11	setOthers_BTN	+	String value		void	Others_BTN の値を格納する。		
12	setPolicy_Data _BTN	+	String value		void	Policy_Data_BTN 0	値を格納する。	

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	43

クラス名	GlpSessionData
パッケージ名	Glp. GlpCommon
説明	セッションオブジェクトを保持する。
可視性	+
スーパークラス	
プロパティ	

項番	パティ プロパティ名	可視性	型	Static	 初期値	説明
1	userID	#	String	Static	1/1/为1 匝	ログオン・ユーザー I D。
2	userAttrib	#	String			ログオン・ユーザー属性。
3	USER_TMF	+	String	YES	"tmf"	ユーザー属性 (TMF)。
4	USER_TRC	+	String	YES	"trc"	ユーザー属性 (TRC)。
5	USER_CUSTOMER	+	String	YES	"customer"	ユーザー属性(社外ユーザー)。
6	TRC_PROPFILE	-	String	YES	"trc_sect_cd"	TRC社員・課支社コードプロパティファイル名。
7	enterpriseCD	#	String			企業コード。
8	contractorCD	#	Vector			契約者コード。
9	DL_PROPFILE	-	String	YES	"pl_download_list"	ダウンロードファイル一覧・プロパティファイル名。
10	downloadLib	#	Hashtable			ダウンロードファイル一覧・書庫。
11	KEY_PROPERTY	+	String	YES	"property"	ダウンロードファイル一覧Key (Property)。
12	KEY_LIABILITY	+	String	YES	"liability"	ダウンロードファイル一覧Key (Liability)。
13	KEY_ADDTIONAL	+	String	YES	"additional"	ダウンロードファイル一覧Key (Additional)。
14	KEY_JPSUMMARY	+	String	YES	″jpsummary″	ダウンロードファイル一覧Key (Japanese Summary)。
15	downloadTmpDir	#	String			ダウンロード一時ディレクトリ。
16	seqNoPL	#	Vector			海外 PL データの SEQ_NO。
17	nowList	#	int		0	海外 PL データ表示の現在表示項目番号。
18	DateOfLossFrom	#	String			海外 PL データ表示の検索条件 Date Of Loss From。
19	DateOfLossTo	#	String			海外 PL データ表示の検索条件 Date Of Loss To。
20	ClaimMadeDateRan	#	String			海外 PL データ表示の検索条件 Claim Made Date Range From
	geFrom					
21	ClaimMadeDateRan	#	String			海外 PL データ表示の検索条件 Claim Made Date Range To。
	geTo					
22	PolicyNumber1	#	String			海外 PL データ表示の検索条件 Policy Number。
23	PolicyNumber2	#	String			海外 PL データ表示の検索条件 Policy Number。
24	SER_ALL	+	int	YES	0	検索条件のキー。

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	44

項番	プロパティ名	可視性	型	Static		初期値	説明			
25	SER_FROM	+	int	YES		1	開始条件。			
26	SER_TO	+	int	YES		2 終了条件。				
27	SER_1	+	int	YES		1	証券番号。			
28	SER_2	+	int	YES		2	証券番号-枝番。			
29	error	#	GlpError				エラー画面プロパティクラス。			
メソ	ッド									
項番	メソッド名	可視性	引数リスト		戻り値		説明			
1	GlpSessionData	+				プロパティファイル	ルをバンドルする。			
2	clearCUST	+			void	契約者コードの値を	を初期化する。			
	clearPL	+			void	海外 PL データの値を初期化する。				
3	getClaimMadeDa teRange	+	int SerKey		String	海外 PL データ検索条件の Claim Made Date Range の値を戻す。				
4	getContractorC D	+	int index		String	契約者コード(contractorCD)の値を戻す。				
5	getContractorC D	+	int index		String	契約者コード(contractorCD)の要素数を戻す。				
6	getContractorS ize	+			int	契約者コード(cont	tractorCD)の要素数を戻す。			
7	getDateOfLoss	+	int SerKey		String	海外 PL データ検索	条件のDate Of Lossの値を戻す。。			
8	getDownloadLis t_id		String key int index		String	ダウンロードファ	イル一覧(ID)より、指定された位置の値を戻す。			
9	getDownloadLis t_name		String key int index		String	ダウンロードファイ	イル一覧(ファイル名)より、指定された位置の値を戻す。			
10	getDownloadLis t_size	+	String key		int	ダウンロードファイ	イル一覧に格納されている値の数を戻す。			
11	getDownloadTmp Dir	+			String	ダウンロードの一時	時ディレクトリを戻す。			
12	getEnterpriseC D	+			String	企業コード(enterp	oriseCD)の値を戻す。			
13	getGlpError	+			GlpError	エラー画面プロパラ	ティクラス(GlpError)を戻す。			
14	getNowList	+			int	海外 PL データ表示	の現在表示項目番号を戻す。			

内部設計書	システム	サブ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゚ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	45

項番	メソッド名	可視性	引数リスト	戻り値	説明
15	getPolicyNumbe	+	int SerKey	String	海外 PL データ検索条件の Policy Number の値を戻す。
	r				
16	getSeqNoPL	+	int index	String	海外 PL データの SEQ_NO の値を戻す。
17	getSeqNoPLSize	+		int	海外 PL データの SEQ_NO の総数を戻す。
18	getUserAttrib	+		String	ユーザー属性(userAttrib)の値を戻す。
19	getUserID	+		String	ユーザー I D (userID)の値を戻す。
20	setClaimMadeDa	+	String value	void	海外 PLデータ検索条件の Claim Made Date Rangeの値を格納する。
	teRange		int SerKey		
21	setContractorC	+	String value	void	契約者コード(contractorCD)の値を格納する。
	D				
22	setDateOfLoss	+	String value	void	海外 PL データ検索条件の Date Of Loss の値を格納する。
			int SerKey		
23	setDownloadLis	+	String key	void	ダウンロードファイル一覧(Vector)を作成し、書庫(Hashtable)に格納する。
	t				
24	setDownloadTmp	+	String value	void	ダウンロードの一時ディレクトリを格納する。
	Dir				
25	setEnterpriseC	+	String value	void	企業コード(enterpriseCD)の値を格納する。
	D				
26	setGlpError	+	GlpError value	void	エラー画面プロパティクラス(GlpError)を格納する。
27	setNowList	+	int value	void	海外 PL データ表示の現在表示項目番号の値を格納する。
28	setPolicyNumbe	+	String value	void	海外 PL データ検索条件の Policy Number の値を格納する。
	r		int SerKey		
29	setSeqNoPL	+	String value	void	海外 PL データの SEQ_NO の値を格納する。
30	setUserAttrib	+	HttpServletRequest req	void	ユーザー属性(userAttrib)の値を格納する。
31	setUserID	+	HttpServletRequest req	void	ユーザー I D (userID)の値を格納する。

内部設計書	システム	サブ゛システム	コンホ゜ーネント	プ。ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゚ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	46

	クラス名	GlpUserB	ean							
	ッケージ名	Glp. GlpC								
	説明			R ENT • TB	GLP ENT CONT	『表を検索し、検	索結果をデータ保持クラスに格納する。			
	可視性	+								
スー	ーパークラス	GlpBaseD	bBean							
プロノ	ペティ	•								
頁番	プロパティ名	可視性	生 型	Static	7	初期値	説明			
1	UserData	#	GlpUserData				表検索データ保持クラス。			
2	cond_pattern	#	int			0	検索パターン。			
3	PATTERN_0	+	int	YES		0	検索パターン (企業コード全件)。			
4	PATTERN_1	+	int	YES		1	検索パターン (User_ID の合致するもの)。			
5	PATTERN_2	+	int	YES		2	検索パターン (Contractor_ID の合致するもの)。			
6	cond_User_ID	#	String				検索条件 (ユーザ ID)。			
7	cond_Enterprise	_ #	String				検索条件(企業コード)。			
	CD									
メソシ	ッド									
香	メソッド名	可視性	引数リスト		戻り値		説明			
1	GlpUserBean	+				検索データ保持クラ	ラスをインスタンス化する。			
2	execute	+			void	SQL文を実行し、	結果を検索データ保持クラスに格納する。			
3	getCondPattern	+			int	検索パターンの値を	定戻す。			
4	getSQL	+			String	検索パターンに合っ	ったSQL文を生成する。			
5	getUserData	+			GlpUserDat	検索データ保持クラスを戻す。				
					a					
6	setCondEnterpr	+	String value		void	検索条件(企業コード)の値を格納する。				
	ise_CD			l		検索パターンの値を格納する。				

void

検索条件(ユーザ ID)の値を格納する。

setCondUser_ID

String value

内部設計書	システム	サブ゛システム	コンホ゜ーネント	プ。ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゚ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	47

	クラス名	GlpUserI)ata						
パ	ペッケージ名	Glp. Glp(Common						
	説明	TB_GLP_F	ENTERPRISE_MST • TB_GLP_US	SER_ENT • TB	_GLP_ENT_CON	VT 表より取得した	データを保持する。		
	可視性	+							
ス・	ーパークラス								
プロ	パティ								
項番	プロパティ名	可視付	生型型	Static		初期値	説明		
1	Enterprise_CD	#	Vector				ENTERPRISE_CD(企業コード)の値を格納するための動的配列。		
2	Enterprise_Name	е #	Vector				NTERPRISE_NAME(企業名称)の値を格納するための動的配列。		
3	Url_STR	#	Vector				URL_STR の値を格納するための動的配列。		
4	Contractor_CD	#	Vector				CONTRACTOR_CD(契約者コード)の値を格納するための動的配列。		
5	rowCount	#	int				件数カウンター。		
メソ	ッド	•							
項番	メソッド名	可視性	引数リスト		戻り値				
1	GlpUserData	+				コンストラクターメ	ソッド。		
2	getContractor_ CD	+	int index		String	Contractor_CD の値	を戻す。		
3	getEnterprise_ CD	+	int index		String	Enterprise_CD の値を戻す。			
4	getEnterprise_ Name	+	int index		String	Enterprise_Name の	値を戻す。		
5	getRowCount	+			int	件数カウンターの値	<u> </u>		
6	getUrl_STR	+	int index		String	Url_STR の値を戻す	•		
7	setContractor_ CD	+	String value		void	Contractor_CD の値	を格納する。		
8	setEnterprise_ CD	+	String value		void	Enterprise_CD の値	を格納する。		
9	setEnterprise_ Name	+	String value		void	Enterprise_Name の	値を格納する。		
10	setRowCount	+	int value		void	d 件数カウンターの値を格納する。			
11	setUrl_STR	+	String value		void	Url_STR の値を格納	ける。		

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ゜ーネント	プ゚ロセス	プ゚ロク゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	48

(3)	Menu													
	クラス名	GlpMenuS	Servlet											
バ	ッケージ名	Glp. GlpN	lenu											
	説明	メニュー	を制御するサーブレット。											
	可視性	+												
スー	ーパークラス	GlpBaseS	oBaseServlet											
プロノ	ペティ													
項番	プロパティ名	可視性	生 型	Static		初期値	説明							
メソ	ッド													
項番	メソッド名	可視性	可視性 引数リスト 戻り値 説明											
1	GlpMenuServlet	+				ベースサーブレットのコンストラクターを実行する。								
2	performTask	+	HttpServletRequest req		void	クライアントからの1	REQUEST を処理する。							
			HttpServletResponse res											

更新 IBM 49	内部設計書	システム	サブ゛システム	コンホ゜ーネント	プ。ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
											49

	クラス名	G1pMenuF	Proxy				
/ ﴿	パッケージ名	Glp. GlpM	lenu				
	説明	メニュー	サーブレットの処理を代行す	る bean。			
	可視性	+					
ス・	ーパークラス	GlpBaseF	roxy				
プロノ	ペティ						
項番	プロパティ名	可視性	型 型	Static	;	初期値	説明
1	PROPFILE	_	String	static	"inf	Cormation"	全企業共通インフォメーションプロパティファイル名。
2	information	#	String			""	全企業共通インフォメーション。
3	tmpURL	#	String			""	TMPRESS リンク URL。
メソ	ッド						
項番	メソッド名	可視性	引数リスト		戻り値		説明
1	GlpMenuProxy	+	HttpServletRequest req			ベースクラスのコン	ストラクターを実行する。
			HttpServletResponse res				
2	execute	+	HttpServletRequest req		void	要求された出力画面	jIDにより処理の振り分けをする。
			HttpServletResponse res				
3	getInformation	+			String	全企業共通インフォ	・メーションを戻す。
4	getMenuData	+			GlpMenuDat	検索データ保持クラ	ス(MenuData)を戻す。
					а		
5	getTmpURL	+			String	TMPRESS リンク URL	を戻す。
6	getUserData	+			GlpUserDat	検索データ保持クラ	ス(UserData)を戻す。
					а		
7	menu00	+			void	企業選択画面(MENU	J00) を要求されたときの処理をする。
8	menu01	+			void	企業選択画面(MENU	J01)を要求されたときの処理をする。
9	menu02	+			void	メインメニュー画面	ī (MENUO2) を要求されたときの処理をする。
10	menu03	+			void	メインメニュー画面	j (MENUO3) を要求されたときの処理をする。
11	menu04	+			void	TMPRESS 遷移画面(MENU04) を要求されたときの処理をする。

内部設計書	システム	サブ゛システム	コンホ。ーネント	プロセス	プログラム	プ゚ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	50

(4) Policy

(4)	Policy													
	クラス名	GlpMenuS	Servlet											
パ	パッケージ名	Glp. GlpF	Policy											
	説明	Policy核	と能を制御するサーブレット。											
	可視性	+												
ス・	ーパークラス	GlpBaseS	pBaseServlet											
プロノ	パティ													
項番	プロパティ名	可視性	可視性 型 Static 初期値 説明											
メソ	ッド													
項番	メソッド名	可視性	引数リスト		戻り値		説明							
1	GlpPolicyServl	+				ベースサーブレットの	のコンストラクターを実行する。							
	et													
2	performTask	+	HttpServletRequest req		void クライアントからの REQUEST を処理する。									
			HttpServletResponse res											

内部設計書	システム	サブ゛システム	コンホ。ーネント	プロセス	プログラム	プ゚ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	51

	クラス名	GlpPolic	cyProxy								
パ	パッケージ名	Glp. GlpF	Policy								
	説明	メニュー	サーブレットの処理を代行す	つる bean。							
	可視性	+									
スー	ーパークラス	GlpBaseF	Proxy								
プロノ	パティ										
項番	プロパティ名	可視性	生 型	Static		初期値	説明				
1	ContensURL	#	String			""	表示コンテンツ HTML URL。				
メソ	ッド										
項番	メソッド名	可視性	引数リスト		戻り値		説明				
1	GlpPolicyProxy	+	HttpServletRequest req			ベースクラスのコン	ストラクターを実行する。				
			HttpServletResponse res								
2	execute	+	HttpServletRequest req		void	要求された出力画面	IDにより処理の振り分けをする。				
			HttpServletResponse res								
3	getContentsURL	+			String	表示コンテンツのU	RLを戻す。				
4	policy01	+			void	メニュー画面(POLI	CY01) を要求されたときの処理をする。				
5	policy02	+			void	Policy コンテンツ表	そ示画面(POLICYO2)を要求されたときの処理をする。				
6	policy03	+			void	d Facility Information コンテンツ表示画面 (POLICY03) を要求されたときの処理をす					
						る。					

部設計	書	システム	サブ゛システム	コンホ゜ーネント	プ゜ロセス	プ゜ロク゛ラム		フ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
									更新		IBM	52
(5))Claim											
	クラス名	GlpCla	imProxy									
,		Glp. Gl										
			•	動され、Clain	nメニュ		トの牛	:成、および画面:	悪移の制	御を行うサース	ブレット。	
	可視性	+	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	<u> </u>	/	12412	•	2,7,1, , , , , , , , , , , , , , , , , ,		311 2 14 2 7 2		
ス	ーパークラス	GlpBas	eProxv									
	パティ		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,									
項番	プロパティ名	可視性		S	tatic	初期値				説明		
1	PL_LIST_PROPFILE		String		YES	pl_list_ctl		Product Liability	検索一覧	 表示設定プロパティ	 ファイル名。	
2	URL_DIRVE_PROPFI		String		YES	claim_url_driv	re	他システムへの遷移				
3	pl_list_ctl_prop		PropertyResou		NO						ファイル・バンドル。	
4	dbBean — GlpKaigaiBean				NO			PL データ検索の Bea			, , , , , , ,	
5	KaigaiData	_	GlpKaigaiData		NO			海外 PL データ検索系				
6	maxList	#	int		NO			Product Liability		 表示の表示行数。		
7	tmcsURL	#	String		NO							
8	tmmsURL	#	String		NO			tmcs へのリンク先。 tmms へのリンク先。				
9	adjusterURL	#	String		NO			海外アジャスターシ	ステムへ	のリンク先。		
10	thereDownloadData	a #	boolean		NO			ダウンロードするデ	ータがあ	るかのフラグ。		
メソ	ッド											
項番	メソッド名		可 視 性	引数リスト		戻り値				説明		
1	GlpClaimProxy			etRequest rec etResponse re			ベー	スクラスのコンスト	ラクターを	を実行する。		
2	execute + HttpServletRequest req HttpServletResponse res			-	void	クラ	クライアントからの REQUEST を処理する。					
3	getAdjusterURL	+ String 海外アジャスターシスターシスターシスターシスターシスターシスターシスターシスターシスターシ				アジャスターシステ	ムへの URI	しを返す。				
4	getCanNextPage	etCanNextPage +			String	Prod	Product Liability検索一覧表示の次ページへの遷移が可能かを返す。					
5	getCanPrevPage +			void	Prod	Product Liability 検索一覧表示の次ページへの遷移が可能かを返す。						
6	getClaimMadeDateRange +			String	海外 PLデータ検索条件の Claim Made Date Range の値を返す。							
7	7 getDateOfLoss +				String	海外 PL データ検索条件の Date Of Loss の値を返す。						

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	53

項番	メソッド名	可視性	引数リスト	戻り値	説明
8	getKaigaiData	+		GlpKaigaiData	Product Liability 検索結果データを返す。
9	getListSize	+		int	Product Liability 検索一覧表示の総数を返す。
10	getMaxList	+		int	Product Liability 検索一覧表示の表示行数を返す。
11	getNowList	+		int	Product Liability 検索一覧表示の現在表示の先頭項目番号を返す。
12	getPolicyNumber	+		String	海外 PL データ検索条件の Policy Number の値を返す。
13	getPracticableAdjuster	+		String	海外アジャスターシステムへの遷移が可能かを返す。
14	getPracticableTMCS	+		String	TMCSへの遷移が可能かを返す。
15	getThereDownloadData	+		String	ダウンロードするデータがあるかを返す。
16	getTmcsURL	+		String	TMCS システムへの URL を返す。
17	getTmmsURL	+		String	TMMS システムへの URL を返す。
18	menuAdjuster	+		void	海外アジャスターシステム(CLAIM11)への遷移を要求されたときの処理をする。
19	menuEurope	+		void	Europe (TMMS)画面(CLAIM41)を要求されたときの処理をする。
20	menuJpSummary	+		void	Japanese Summary画面(CLAIM51)を要求されたときの処理をする。
21	menuMenu	+		void	Claim Menu画面(CLAIMO1)を要求されたときの処理をする。
22	menuPL	+		void	Product Liability 画面 (CLAIM21)を要求されたときの処理をする。
23	menuPLResult	+		void	Product Liability一覧画面(CLAIM22)を要求されたときの処理をする。
24	menuPLResultFirst	+		void	Product Liability一覧画面(CLAIM22)を要求されたときの初期化処理をする。
25	menuPLResultInitial	+		void	Product Liability一覧画面(CLAIM22)を要求されたときの初期化処理をする。
26	menuTMCS	+		void	U.S.A(TMCS)画面(CLAIM31)を要求されたときの処理をする。
27	menuTMMS	+		void	Europe (TMMS)画面(CLAIM41)を要求されたときの処理をする。
28	readUrlDriveProperty	+	String key	String	他システムへの遷移設定ファイルより値を取り出す。

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プログラム	プ゚ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	54

	クラス名	GlpClai	mSer	rvlet				
1	ペッケージ名	Glp. Glp	Clai	im				
	説明	TOP	メニュ	ューより起動され、Cla	aimメニュ	ー関連オブジェクト	への生	E成、および画面遷移の制御を行うサーブレット。
	可視性	+						
ス	ーパークラス	GlpBase	Serv	let				
プロ	パティ							
項番	プロパティ名	可 視 性		型	Static	初期値		説明
メソ	ッド							
項番	メソッド名		可視性	引数リスト		戻り値		説明
1	GlpClaimServlet		+				ベー	スクラスのコンストラクターを実行する。
2	performTask		+ HttpServletRequest req HttpServletResponse res			void	GET,	POST 両方の REQUEST を処理する。

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ロク゛ラム	プ゚ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	55

(6)0thers

(6)	Utners													
	クラス名	Glp0ther	rsServlet											
パ	パッケージ名	Glp. Glp()thers											
	説明	Others を	と制御するサーブレット。											
	可視性	+												
スー	ーパークラス	GlpBaseS	aseServlet											
プロノ	パティ													
項番	プロパティ名	可視性	生 型	Static	7	初期値	説明							
メソ	ッド	•		•										
項番	メソッド名	可視性	引数リスト		戻り値		説明							
1	GlpOthersServl	+				ベースサーブレットの	Dコンストラクターを実行する。							
	et													
2	performTask	+	HttpServletRequest req HttpServletResponse res		void	クライアントからの REQUEST を処理する。								

内部設計書	システム	サブ゛システム	コンホ゜ーネント	プ。ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゚ロジェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	56

	クラス名	Glp0ther	sProxy							
パ	パッケージ名	Glp. Glp0	thers							
	説明	Others サ	ーーブレットの処理を代行する	bean _o						
	可視性	+								
スー	ーパークラス	G1pBaseP	roxy							
プロノ	ペティ									
項番	プロパティ名	可視性	生 型	Static		初期値	説明			
1	PROPFILE	_	String	YES	"others"		表示コンテンツ管理用プロパティファイル名。			
2	contensURL	#	String			""	表示コンテンツ HTML URL。			
3	CONT_LEAGAL	+	String	YES		″1″	表示コンテンツ種別・Leagal Information。			
4	CONT_MISCELLANI	0 +	String	YES		"2"	表示コンテンツ種別・miscellanious。			
	US									
メソ	ッド									
項番	メソッド名	可視性	引数リスト		戻り値		説明			
1	GlpOthersServl	+	HttpServletRequest req			ベースクラスのコン	·ストラクターを実行する。			
	et		HttpServletResponse res							
2	execute	+	HttpServletRequest req		void	要求された出力画面	ĪIDにより処理の振り分けをする。			
			HttpServletResponse res							
3	getContentsURL	+			String	表示コンテンツ HTML URL を戻す。				
4	others01	+			void	Others メニュー画面 (OTHERSO1) を要求されたときの処理する。				
5	others02	+			void	コンテンツ表示画面	ī(OTHERSO2)を要求されたときの処理する。			

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	57

(7)ダウンロード

クラン	ス名	GlpDownloadProxy
パッケ	ージ名	Glp. GlpDownload
説明	明	Download 関連オブジェクトの生成、および画面遷移の制御を行うサーブレット。
可視	性	+
スーパー	-クラス	GlpBaseProxy

プロパティ

項番	プロパティ名	可視	型	Static	初期値	説明
		性				
1	xlsfile	_	String	NO	null	コピー元 EXCEL マクロファイル名(絶対パス名)。
2	xlsname	_	String	NO	null	コピー元 EXCEL マクロファイル名(ファイル名)。
3	csvfile1	_	String	NO	null	コピー元 CSV ファイル名(絶対パス名)。
4	csvname1	_	String	NO	null	コピー元 CSV ファイル名 (ファイル名)。
5	csvfile2	_	String	NO	null	コピー元 CSV ファイル名(絶対パス名)。
6	csvname2	_	String	NO	null	コピー元 CSV ファイル名(ファイル名)。
7	category	_	String	NO	null	ダウンロード種別。
8	DOWNLOAD_POLICY1	+	String	YES	property	Product Liability ダウンロードファイル種別。
9	DOWNLOAD_POLICY2	+	String	YES	liability	Product Liability ダウンロードファイル種別。
10	DOWNLOAD_POLICY3	+	String	YES	additional	Product Liability ダウンロードファイル種別。
11	DOWNLOAD_EXCEL	+	String	YES	excel	Product Liability ダウンロードファイル種別。
12	DOWNLOAD_GRAPH	+	String	YES	graph	Product Liability ダウンロードファイル種別。
13	DOWNLOAD_JPSUMMARY	+	String	YES	jpsummary	Product Liability ダウンロードファイル種別。
14	PL_DOWNLOAD_LIST_P		String	YES	pl_download_list	ダウンロードファイルの種別、ファイル名を設定。
	ROPFILE					
15	serverTmpFullPath	—	String	NO	null	サーバ上の一時格納領域。
16	dateFMT	_	String	NO	null	格納日時分秒。
17	S_BasePath	_	String	NO		サーバー上のコピー元ファイル格納ディレクトリ。
18	S_TmpPath	_	String	NO		サーバー上の一時格納ディレクトリ。
19	C_BaseSubPath	_	String	NO		クライアントダウンロードディレクトリ (種目毎)。
20	csv1FileName	_	String	NO		CSV1 ファイル作成ファイル名。
21	csv2FileName	_	String	NO		CSV2 ファイル作成ファイル名。
22	excelFileName	_	String	NO		Excel ファイル名。

内部設計書	システム	サブ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	58

項番	プロパティ名	可視性	型	Static	初期値	説明
23	allEntryFileName	_	String	NO		Excel ファイル名。
24	vbsFileName	_	String	NO		テンプレート VB スクリプトファイル名。
25	serverToken	_	String	NO		サーバーディレクトリトークン。
26	REPLACE_STR_VBS	_	String	YES	DOWNLOAD_FILE_NA	
27	prevServer	_	String	NO		ダウンロード後にレスポンスを返すサーバー。
28	prevServletName		String	NO		ダウンロード後に遷移するサーブレット名。
29	prevJspID	_	String	NO		ダウンロード後に遷移する JSPID。
メソ	ッド					
項番	メソッド名		可	F	戻り値	説明
1	GlpDownloadProxy		+ HttpServletRequest HttpServletRespons	_		ベースクラスのコンストラクターを実行する。
2	copyFiles		- String inFile String outFile		void	EXCEL ファイルコピー。
3	createVbsFile				void	VBS ファイル作成。
4	execute		+ HttpServletRequest HttpServletRespons	_	void	クライアントからの REQUEST を処理する。
5	funcRequest		+		void	ダウンロードを要求されたときの処理する。
6	funcResponse		+		void	ダウンロード結果を要求されたときの処理する。
7	getCsv1FileName		+		String	CSV1 ファイル名を取得する。
8	getCsv2FileName		+		String	CSV2 ファイル名を取得する。
9	getDateFmt		+		String	日付の形式を取得する。
10	getDirName		+		String	ディレクトリ名を取得する。
11	getDownloadFileName		+		String	EXCEL ファイル名を取得する。
12	getDownloadResJspID		+		String	レスポンスで表示する JSPID を戻す。
13	getDownloadResURL		+		String	レスポンスを返すべきURLを戻す。
14	getPrevJspID		+		String	ダウンロード後の次に遷移する JSPID を戻す。
15	getPrevServletName		+		String	ダウンロード後の次に遷移するサーブレット名を戻す。
16	getUserId		+		String	ユーザ名を取得する。

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゚ロジェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	59

項番	メソッド名	可視性	引数リスト	戻り値	説明
17	getVbsFileName	+		String	VBスクリプトファイル名を取得する。
18	initialize	_		String	初期処理。
19	prevDownload	_		String	Jsp ファイル作成。

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プログラム	プ゚ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	60

	クラス名	GlpDown	load	dServlet								
1	ペッケージ名	Glp. Glp	Down	ıload								
	説明	TOP	メニュ	ューより起動され、Cl	aimメニュ	ー関連オブジェクト	・の生	E成、および画面遷移の制御を行うサーブレット。				
	可視性	+										
ス	ーパークラス	GlpBase	Serv	let								
プロ	プロパティ											
項番	可 プロパティ名 視 性			型	Static	初期値		説明				
	20											
メソ	ッド						1					
項番	項番 メソッド名 視 引数リスト 性				戻り値		説明					
1	1 GlpDownloadServlet		+		•		ベースクラスのコンストラクターを実行する。					
2	2 performTask + HttpServ HttpServ					void	GET, POST 両方の REQUEST を処理する。					

					作成	2000/08/04	IBM 石村	連都
	ll .				更新		IBM	61
		 '	1	,	<u> </u>	1	· ·	
(8)アプレット								

クラス名	PostExcel
パッケージ名	Glp. GlpDownload
説明	ファイルダウンロード、ファイルの実行を提供します。
可視性	+
スーパークラス	Applet

プロパティ

項番	プロパティ名	可視性	型	Static	初期値	説明
1	m_XLS_FILE	_	String	NO		リモート XLS ファイル名。
2	m_VBS_FILE		String	NO		リモート VBS ファイル名。
3	m_CSV1_FILE		String	NO		リモート CSV1 ファイル名。
4	m_CSV2_FILE	_	String	NO		リモート CSV2 ファイル名。
5	m_XLS_NAME		String	NO		ローカル XLS ファイル名。
6	m_VBS_NAME	_	String	NO		ローカル VBS ファイル名。
7	m_CSV1_NAME		String	NO		ローカル CSV1 ファイル名。
8	m_CSV2_NAME	_	String	NO		ローカル CSV2 ファイル名。
9	m_CALL_ME_URL	—	String	NO		呼び出し元 URL。
10	m_CALL_ME_JSP_ID	_	String	NO		呼び出しもと JspID。

メソッド

項番	メソッド名	可視性	引数リスト	戻り値	説明
1	PostExcel	+			ベースクラスのコンストラクターを実行する。
2	checkDir	#		void	ローカルハードディスクにダウンロードディレクトリの作成をする。
3	DownloadFile	#	String UrlStr String FileName	void	UrlStr のファイルをダウンロードする。
4	ExecuteExcel	#		void	スクリプトを実行する。
5	GetParameters	#		void	パラメーターを取得する。
6	handleException	#	Throwable exception	void	パーツが例外を送出するたびに呼び出される。

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゚ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	62

	クラス名	NsnPos	tExce	el							
1	ペッケージ名	Glp. Gl	Dowr	nload							
	説明	Netscaj	oe 用	のファイルダウンロー	-ド、ファ	イルの実行を提供し	ます。				
	可視性	+									
ス	ーパークラス	PostExe	cel								
プロ	プロパティ										
項番	プロパティ名	可 プロパティ名 視 性		視型		初期値		説明			
メソ	ッド										
項番	 メソッド名		可視性	引数リスト		戻り値		説明			
1	NsnPostExcel		+				ベー	スクラスのコンストラクターを実行する。			
2	init		+			void	初期	化処理。			
3	securityPermit					void	セキ	ュリティーの許可を求める。			

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	63

	クラス名	MsiePos	stExc	el el							
)	ペッケージ名	Glp. Glp	Dowr	ıload							
	説明	IE用の	ファ	イルダウンロード、フ	アイルの	実行を提供します					
	可視性	+									
ス	ーパークラス	PostExc	cel								
プロ	プロパティ										
項番	プロパティ名	イ名 視 型 Static 初期値		初期値		説明					
メソ	ッド										
項番	メソッド名		可視性	引数リスト		戻り値		説明			
1	MsiePostExcel		+				ベージ	スクラスのコンストラクターを実行する。			
2	init		+			void	初期化	化処理。			
3	securityPermit		_			void	セキ:	ュリティーの許可を求める。			

内部設計書	システム	サフ゛システム	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
						更新		IBM	64

	クラス名	MsgD)ia]	log						
)	ペッケージ名	Glp.	Glp	Download						
	説明	モー	ダ	ルダイアログでメッセーシ	^ジ を表示し	ます				
	可視性	+								
ス	ーパークラス	Dial	og							
プロ	パティ									
項番	プロパティ名		可視性	型	Static		初期値		説明	
1	ivjCloseButton		_	Button	NO		nul1			
2	ivjContentsPane		_	Pane	NO		nul1			
3	ivjEventHandler		— IvjEventHandler							
4	message	- String								
5	ivjMessageLabel	Label	NO		nul1					
メソ	ッド									
項番	メソッド名			可 視 供	スト		戻り値		説明	
1	MsgDialog			+ java.awt.Frame par String message	ent			コンストラク	7ター	
2	connEtoC1			- java. awt. event. Act	ionEvent	arg1	void	connEtoC1 _o		
3	getCloseButton						Button	CloseButton	のプロパティー値を戻す。	
4	getContentsPane			_			Pane	ContentsPan	e のプロパティー値を戻す。	
5	getMessageLabel —					Label	MessageLabe	1のプロパティー値を戻す。		
6	handleException — Throwable exception			n		void	パーツが例タ	トを送出するたびに呼び出す。		
7	initConnections -					void	接続の初期化	L.		
8	setVisible			+			void	ダイアログの	D表示。	

内部設計書	システム	サブ゛システム	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
						更新		IBM	65

(9)) LDAP												
	クラス名	AuthLDA	PAc	cess									
,	パッケージ名	Glp. Glp	Ldaj	p									
	説明 LDAP をアクセスクラスのインターフェース												
	可視性 + +												
	ーパークラス												
プロ	パティ												
項番	プロパティ名	可 視 性		型	Static	初期値	説明						
メソ	ッド												
項番	メソッド名		可視性	 引数リス 	٢	戻り値	説明						
1	authCheck		+	String userid String password		String							
2	close		+			void							
3	getValue					String							
		String attribute											
4	setAttrValue		+	String userid		void							

Properties pro

システム	サブ゛システム	7.77 - 2.77	プ。ロセス	プ゚ログ゛ラム	プロジェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
						更新		IBM	66

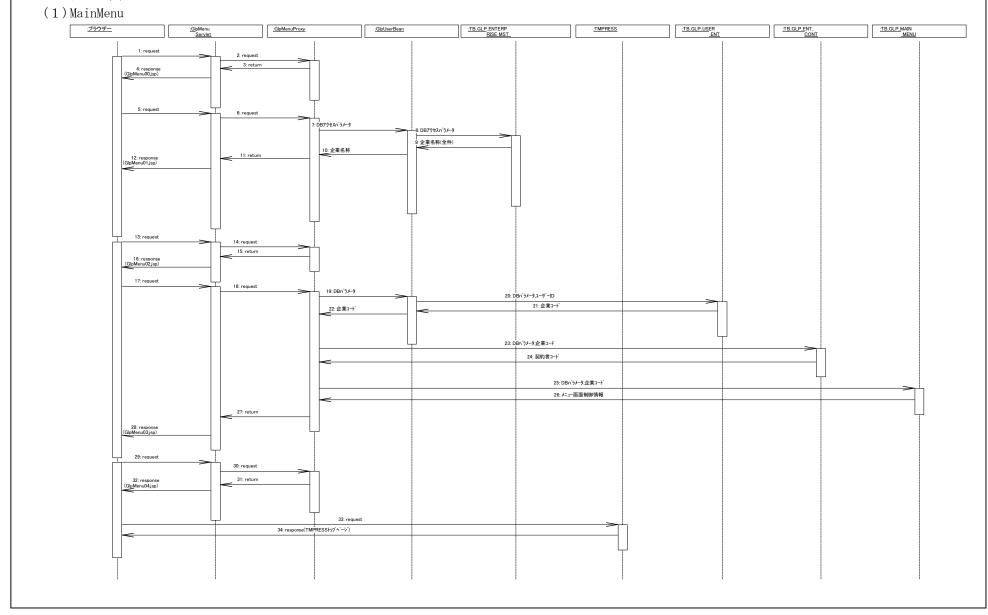
	クラス名	AuthLl)APAccessImpl					
)	パッケージ名	Glp. G	.pLdap					
	説明	LDAP さ	アクセスし、結り	果を返す(LDAPAccess イ	ンターフェース	を実装)		
	可視性	+						
ス	ーパークラス	imple	nents AuthLDAPAc	cess				
プロ	パティ		_					
項番	プロパティ名	視性	型	Static	初期値		説明	
1	ldapDir	#	String	NO				
2	hostName	#		NO				
3	envSuper	#		NO				
4	envAuth	#		NO				
5	ctxSuper	#		NO				
6	ctxAuth	#	DirContext	NO				
メソ	ツド							
項番	メソッド名		可 視 性	引数リスト	戻り値		説明	
1	AuthLDAPAccessIm	ıp1	+ String 1da String hos String aut String aut	tname hdn		Constructor。		
2	authCheck		+ String use String pas		String			
3	close		+		void			
4	getValue	+ String userId String attribute			String			
5	listDirectory		+ String dir		String			
6	setAttrValue	+ String userid Properties pro			void			

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	67
	<u> </u>									

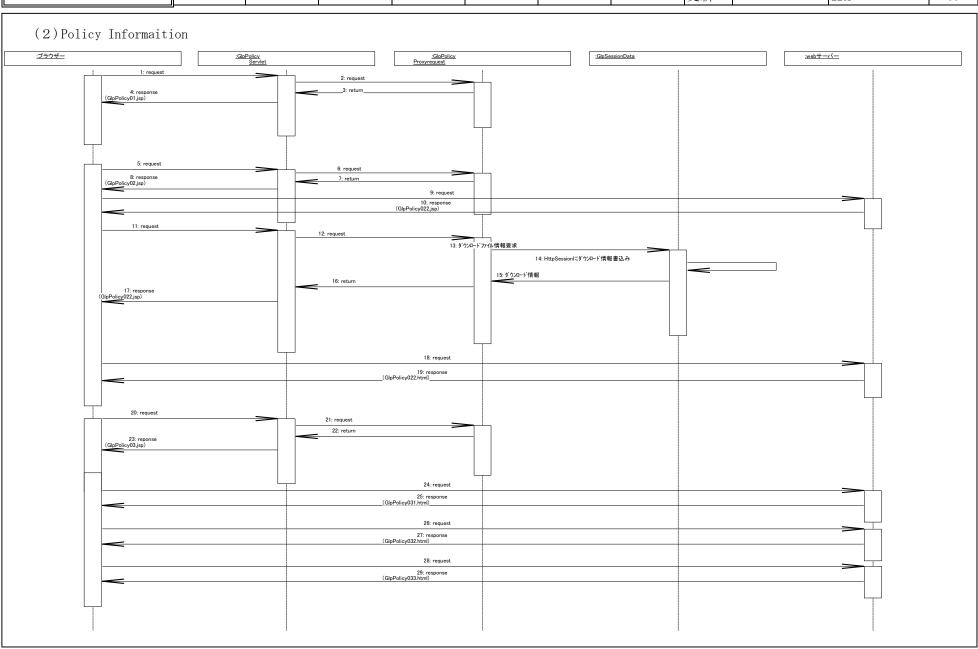
	クラス名	GlpLd	apSea	rch										
7	ペッケージ名	Glp.G	1pLda	p										
	説明	LDA	A Pに	アクセスし、値を取得	します									
	可視性	+												
ス	ーパークラス													
プロ	パティ													
項番	プロパティ名	初	可 視 型 性		Static		初期値		説明					
1	1dap	#	Aut	hLDAPAccessImpl	NO			I	LDAP サーチクラス。					
2	PROPFILE		- Str	ing	YES		1dap	I	LDAP サーチプロパティファイル名。					
3	prop	#	Pro	pertyResourceBundle	NO			I	LDAP サーチプロパティファイル・バンドル。					
メソ	ッド													
項番	メソッド名	可 ド名 視 引数リ 性		引数リス	\ \		戻り値		説明					
1	GlpLdapSearch	+						コンフ	ストラクターメソッド。					
2	getSectCode	ectCode + String userid				String			課支社コードの値を戻す。					
3	main		+	String[] args		•	void							

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	68

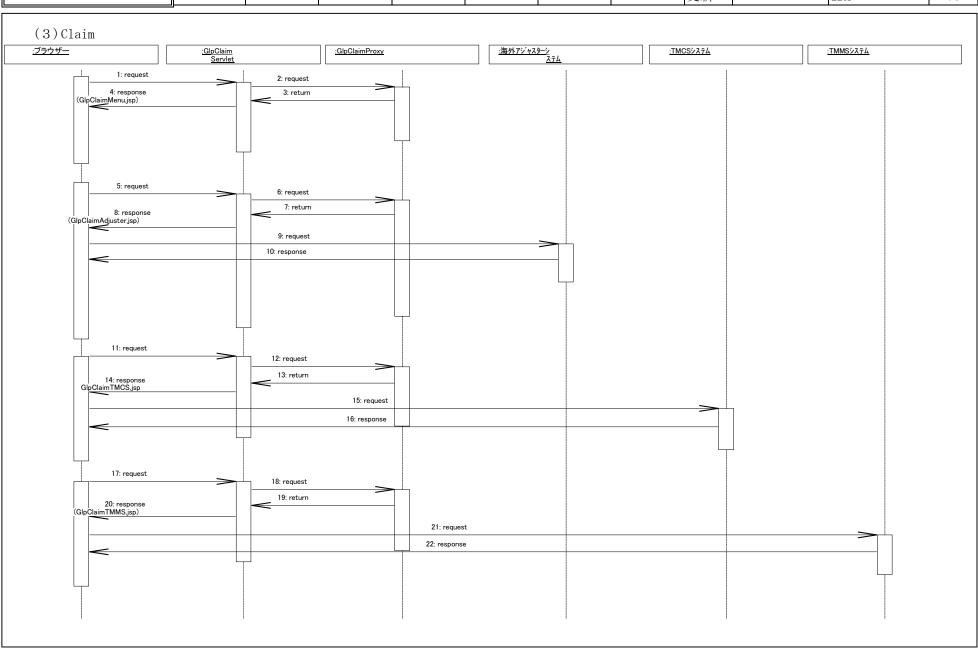
5 シーケンス図



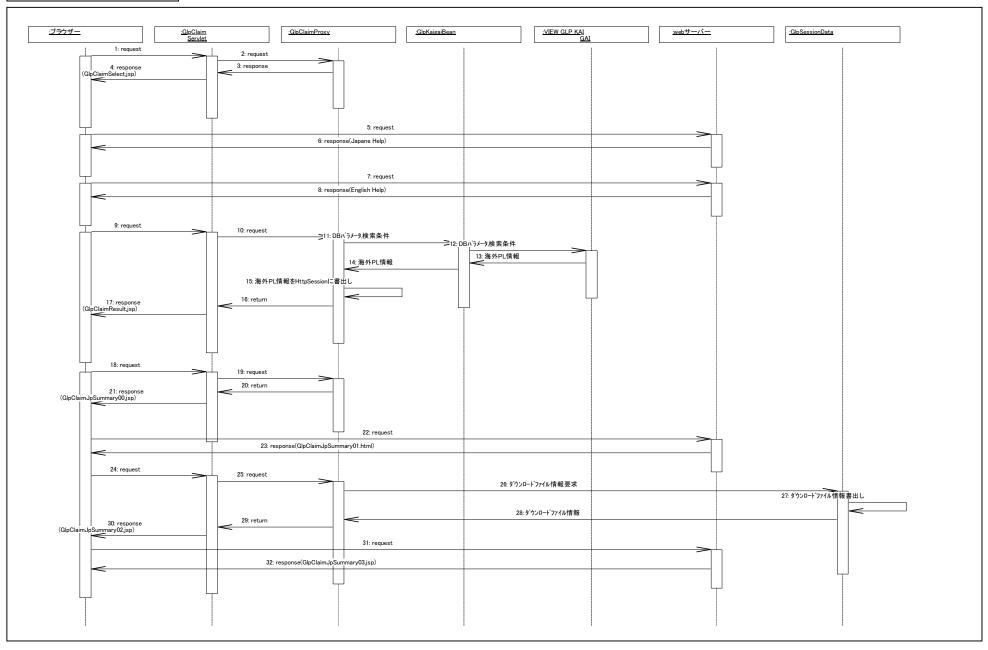
内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	69



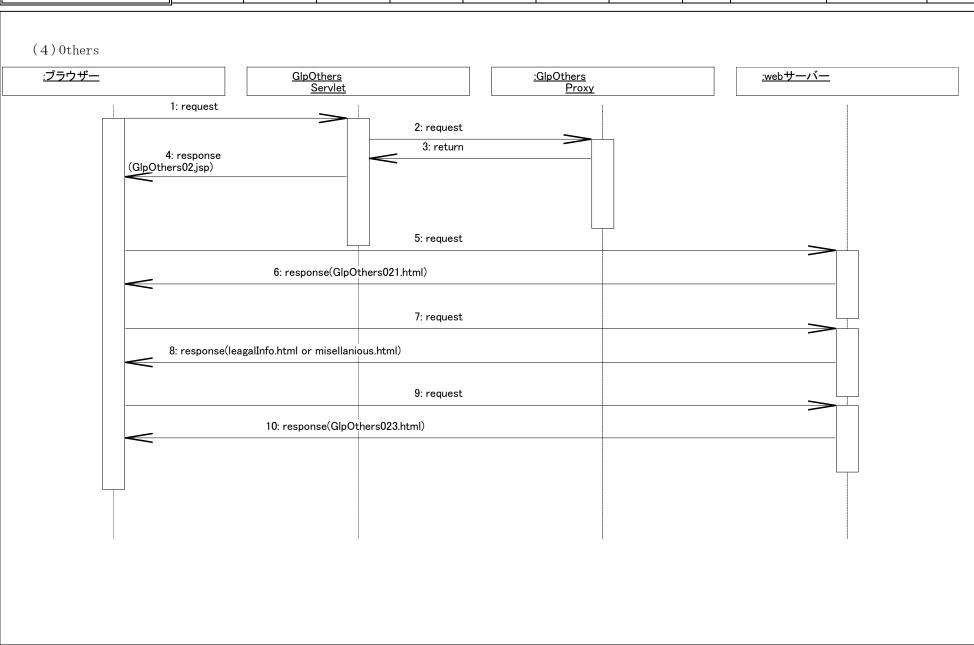
内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	70



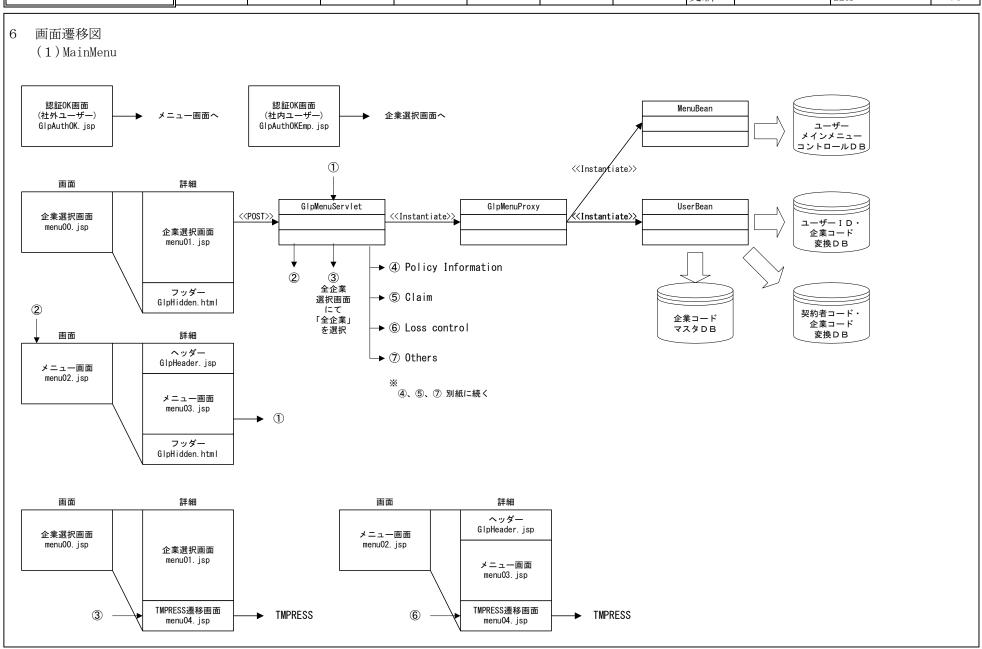
内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ロク゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	71



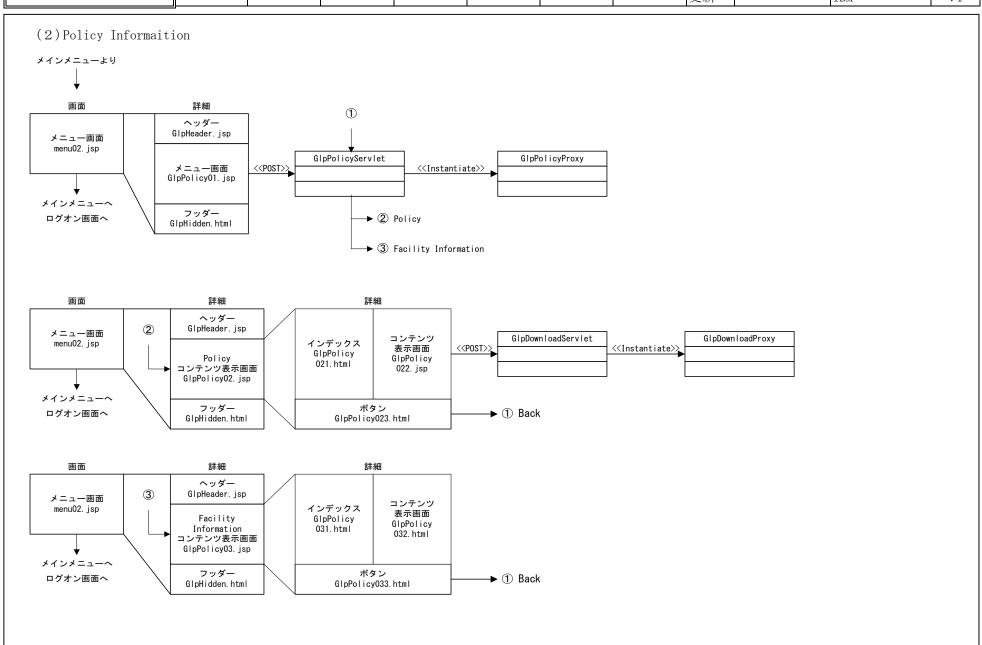
内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	72



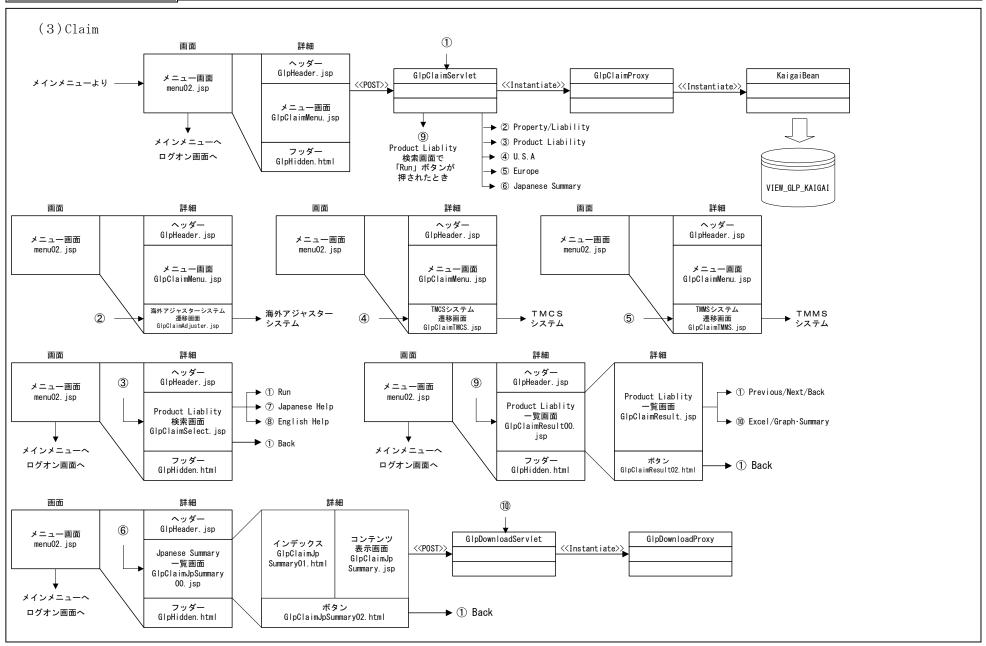
内部設計書	システム	サブ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	73



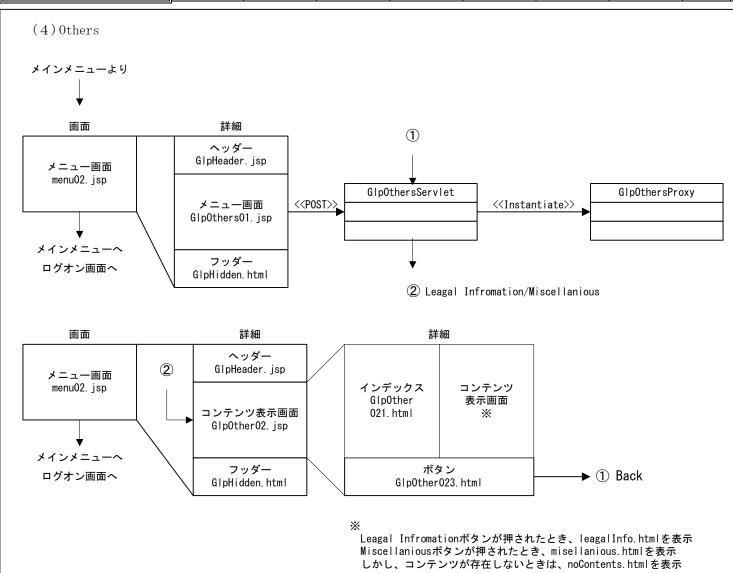
内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プログラム	プ゚ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	74



内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プログラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	75



内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	76



内部設計書	システム	サブ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゚ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	77

7 画面定義書

(1)凡例

■成果物名:画面定義書

■作成単位:画面

■表記方法

1. 業務名(サブシステム名)、画面 ID、画面タイトルを記述する。

2. 該当画面の機能概要を「画面概要」として記述する。

3. 入力項目、出力項目、リンクに分けて記述する。

(1) 入力項目

- ・FORM 単位に記述する。
- ・FORM 名 (Default: FORMO1)、METHOD 名 (Default: POST)、ACTION を記述する。
- ・FORM内の入力項目に関し、以下の項目を記述方法に従って記述する。

項目名	意味	記述方法
カテゴリー	項目のカテゴリー名	「見出し」をカテゴリー毎に固めて記述し、その固まりの最上段のカテゴリーに「カ
		テゴリー名」を記述する。
見出し	項目の意味を表す見出し	見出しを文字で記述する。
TYPE	項目タイプ	TYPE 略式記号にて記述する。(参照: TYPE 略式記号表)
NAME	項目名	名前を記述する。
VALUE	項目値	値を記述する。値指定のない項目は、N/Aと記述する。
		ListBox の場合は、(項目 1=値 1、項目 2=値 2 ···)と記述する。
DEFAULT	デフォルト値	・RaidoButton, CheckBox の場合は、以下のいずれかを記述する。
		NO-CHECKED (チェック無)、CHECKED (チェック有)
		・ListBox の場合は、「項目名=値」を記述する。
		・その他の場合は、値そのものを記述する。ブランクの場合は、BLANK と記述する。
SIZE/MAX	項目の画面サイズと最大サイズ	サイズを数字で記述する。例:10/20
備考	備考欄	

内部設計書	システム	サブ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ ロジェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	78

(2) 出力項目

・出力項目に関し、以下の項目を記述方法に従って記述する。なお、動的リンクも出力項目として記述する。

項目名	意味	記述方法
カテゴリー	項目のカテゴリー名	「見出し」をカテゴリー毎に固めて記述し、その固まりの最上段のカテゴリーに「カ
		テゴリー名」を記述する。
見出し	項目の意味を表わす見出し	見出しを文字で記述する。
TYPE	項目のタイプ	TYPE 略式記号にて記述する。(参照: TYPE 略式記号表)
最大領域	最大領域サイズ	最大文字数、領域、行列数を単位付きで記述する
		例 「20文字」、「W300Pix, H100Pix」、「10行5例」
備考	備考欄	

(3) リンク

・静的リンクのリンク先(画面ID、実際のURL等)を記述する。

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	79

TYPE 略式記号

(1) 入力項目 TYPE

・TYPE を 3 文字の略式記号で表現する。

略式記号	項目タイプ
TXT	TEXT
TXA	TEXT AREA
CHK	CheckBox
RDO	RadioButton
LST	ListBox
SBT	Submit Button
RST	Reset Button
BTN	Button

- ・HIDDEN の場合は、「-HDN」を付加する。
- ・TEXT , TEXT AREA の場合のみ文字タイプを付加する。

略式記号	文字タイプ
(N)	半角数字
(C)	半角英数
(G)	全角
(K)	全角カナ

(2) 出力項目 TYPE

・TYPE を3文字の略式記号で表現する。

略式記号	文字タイプ
LBL	LABEL (直接表示)
IMG	イメージ
TBL	表
LNK	リンク

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	80

(2)Menu

業務名:	
画面 ID:	MENU00
画面タイトル:	企業選択画面(フレーム分割)

画面概要	認証 OK 画面(社内ユーザー)から遷移し、 企業選択画面(コンテンツ)、フッダーをフレーム内に呼び出す。

入力項目							
FORM 名:	METHOD 名:	ACTION:					
カテゴリー	見出し	TYPE	NAME	VALUE	DEFAULT	SIZE/MAX	備考

出力項目				
カテゴリー	見出し	TYPE	最大領域	備考

内部設計書	システム	サブ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プログラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	81

業務名:	
画面 ID:	MENU01
画面タイトル:	企業選択画面 (コンテンツ)

	社内ユーザーの場合、企業選択を入力する。
画面概要	「Run」ボタンで情報が送信され、メインメニュー画面(フレーム分割)に遷移する。

入力項目										
FORM 名:	ENTERPISE_FORM	METHOD 名:	POST	ACTION:	ACTION:/servlet/Glp.GlpMenu.GlpMenuServlet					
FORM名:	ENTERPISE_FORM	METHOD 名:	POST	ACTION:	/se	ervlet/AuthLog	offServlet			
カテ	ゴリー	見出し		TYPE		NAME	VALUE	DEFAULT	SIZE/MAX	備考
企業選択		企業選択		LST		ENTERPISE_ LST	getEnterpris e_CD()	BLANK	1/A	DB よりデータを抽出し、 リスト作成 企業コード:企業名 all:その他
イメージ(終了ス	ボタン)	Run		IMG						MenuServlet ∼ POST
		Log off		IMG						LogoffServlet ∼ POST

出力項目				
カテゴリー	見出し	TYPE	最大領域	備考

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゚ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	82

業務名:	
画面 ID:	MENU02
画面タイトル:	メインメニュー画面(フレーム分割)

	認証 OK 画面(社外ユーザー)または、企業選択画面(コンテンツ)から遷移し、
画面概要	ヘッダー、メインメニュー画面(コンテンツ)、フッダーをフレーム内に呼び出す。

入力項目							
FORM 名:	METHOD 名:	ACTION:					
カテゴリー	見出し	TYPE	NAME	VALUE	DEFAULT	SIZE/MAX	備考

出力項目				
カテゴリー	見出し	TYPE	最大領域	備考

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	83

業務名:	
画面 ID:	MENU03
画面タイトル:	メインメニュー画面(コンテンツ)

企業ごとに個別のメニューを作成。

画面概要 各ボタンから、「Policy Information」、「Claims」、「Loss control」、「Others」の各機能に遷移する。

入力項目										
FORM名:	MENU_FORM	METHOD 名:	POST	ACTION:	ACTION:/servlet/Glp.GlpPolicy.GlpPolicyServlet					
FORM名:	MENU_FORM	METHOD 名:	POST	ACTION:	CTION:/servlet/Glp.GlpMenu.GlpMenuServlet					
FORM名:	MENU_FORM	METHOD 名:	POST	ACTION:	ACTION:/servlet/Glp.GlpClaim.GlpClaimServlet					
FORM 名:	MENU_FORM	METHOD 名:	POST	ACTION:	ACTION:/servlet/Glp.GlpOthers.GlpOthersServlet					
FORM名:	MENU_FORM	METHOD 名:	POST	ACTION:	CTION:/servlet/AuthLogoffServlet					
カ	テゴリー	見出し	,	TYPE		NAME	VALUE	DEFAULT	SIZE/MAX	備考
イメージ (ボ	マン)	Policy Informat	ion	IMG						PolicyServlet ~ POST
		Claims		IMG						ClaimServlet ~ POST
	Loss control		IMG						MenuServlet ∼ POST	
	Others		IMG						GlpOthers ∼ POST	
イメージ (終	了ボタン)	Log off		IMG						LogoffServlet ~ POST

出力項目				
カテゴリー	見出し	TYPE	最大領域	備考
イメージ (ボタン)	Policy Information	IMG		getPolicy_Data_BTN(0) = "1" のとき、 表示する
	Claims	IMG		getClaim_BTN(0) = "1" のとき、 表示する
	Loss control	IMG		getLoss_Control_BTN(0) = "1" の とき、表示する
	Others	IMG		getOthers_BTN(0) = "1" のとき、 表示する

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	84

カテゴリー	見出し	TYPE	最大領域	備考
背景		IMG		企業背景
				(企業ごと個別のイメージを用いる)
インフォメーションテキスト	getInformation()			全社共通インフォメーション

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プログラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	85

業務名:	
画面 ID:	MENU04
画面タイトル:	TMPRESS 遷移画面

画面概要	メインメニュー画面 (コンテンツ) から遷移し、 "//www17/tmpress/" + proxy.getTmpURL() に遷移する。

入力項目							
FORM 名:	METHOD 名:	ACTION:					
カテゴリー	見出し	TYPE	NAME	VALUE	DEFAULT	SIZE/MAX	備考

出力項目				
カテゴリー	見出し	TYPE	最大領域	備考

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	86

(3) Policy Information

業務名:	
画面 ID:	POLICY01
画面タイトル:	Policy メニュー画面

画面概要	メインメニュー画面(コンテンツ)から遷移し、Policy、Facility Information に遷移する。

入力項目										
FORM名:	POLICY_FORM	METHOD 名:	POST	ACTION:	/servlet/Glp.GlpPolicy.GlpPolicyServlet					
FORM名:	POLICY_FORM	METHOD 名:	POST	ACTION:	/se	ervlet/Glp.Glp	Menu. GlpMenuSei	rvlet		
FORM名:	POLICY_FORM	METHOD 名:	POST	ACTION:	/servlet/AuthLogoffServlet					
カテゴリー		見出し		TYPE		NAME	VALUE	DEFAULT	SIZE/MAX	備考
イメージ (オ	ドタン)	Policy	licy							PolicyServlet ~ POST
		Facility Informa	tion	IMG	IMG PolicyServlet ~ P					PolicyServlet ~ POST
イメージ (糸	イメージ (終了ボタン)		IMG							MenuServlet ∼ POST
			IMG							MenuServlet ∼ POST
		Log off		IMG						LogoffServlet ∼ POST

出力項目				
カテゴリー	見出し	TYPE	最大領域	備考

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゚ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	87

業務名:	
画面 ID:	POLICY02
画面タイトル:	Policy コンテンツ表示画面(フレーム分割)

	Policy メニュー画面 から遷移し、
画面概要	Policy コンテンツ表示画面(インデックス)、(コンテンツ)、(終了ボタン)をフレーム内に呼び出す。

入力項目							
FORM 名:	METHOD 名:	ACTION:					
カテゴリー	見出し	TYPE	NAME	VALUE	DEFAULT	SIZE/MAX	備考

出力項目				
カテゴリー	見出し	TYPE	最大領域	備考

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	88

業務名:	
画面 ID:	POLICY021
画面タイトル:	Policy コンテンツ表示画面(インデックス)

	Policy コンテンツ表示画面のインデックス部分を表示。
画面概要	

入力項目							
FORM 名:	METHOD 名:	ACTION:					
カテゴリー	見出し	TYPE	NAME	VALUE	DEFAULT	SIZE/MAX	備考

出力項目				
カテゴリー	見出し	TYPE	最大領域	備考

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	89

業務名:	
画面 ID:	POLICY022
画面タイトル:	Policy コンテンツ表示画面(コンテンツ)

ダウンロードリストを作成、表示。 ダウンロードリストより、ダウンロード画面に遷移する。

入力項目										
FORM名:	DOWNLOAD_FORM	METHOD名:	POST	ACTION:	/se	ervlet/Glp.Glp	Download. GlpDov	vnloadServle	t	
力	テゴリー	見出し		TYPE		NAME	VALUE	DEFAULT	SIZE/MAX	備考
ダウンロード										DownloadServlet ~ POST

出力項目				
カテゴリー	見出し	TYPE	最大領域	備考
ダウンロード				Servle より動的に作成

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゚ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	90

業務名:	
画面 ID:	POLICY023
画面タイトル:	Policy コンテンツ表示画面(終了ボタン)

	Policy コンテンツ表示画面の終了ボタン部分を表示。
画面概要	

入力項目										
FORM名:	POLICY_FORM	METHOD 名:	POST	ACTION:	:/servlet/Glp.GlpPolicy.GlpPolicyServlet					
FORM名:	POLICY_FORM	METHOD 名:	POST	ACTION:	CTION:/servlet/Glp.GlpMenu.GlpMenuServlet					
FORM名:	POLICY_FORM	METHOD 名:	POST	ACTION:	N:/servlet/AuthLogoffServlet					
カ	テゴリー	見出し		TYPE		NAME	VALUE	DEFAULT	SIZE/MAX	備考
イメージ (終	了ボタン)	Back		IMG						PolicyServlet ∼ POST
		MainManu		IMG						MainServlet ∼ POST
		Log off		IMG	IMG					LogoffServlet ∼ POST

出力項目				
カテゴリー	見出し	TYPE	最大領域	備考

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	91

業務名:	
画面 ID:	POLICY03
画面タイトル:	Facility Information コンテンツ表示画面
	(フレーム分割)

Policy メニュー画面 から遷移し、 画面概要 Facility Information コンテンツ表示画面(インデックス)、(コンテンツ)、(終了ボタン)を フレーム内に呼び出す。

入力項目							
FORM 名:	METHOD名:	ACTION:					
カテゴリー	見出し	TYPE	NAME	VALUE	DEFAULT	SIZE/MAX	備考

出力項目				
カテゴリー	見出し	TYPE	最大領域	備考

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	92

業務名:	
画面 ID:	POLICY031
画面タイトル:	Facility Information コンテンツ表示画面
	(インデックス)

	Facility Information コンテンツ表示画面のインデックス部分を表示。
画面概要	

入力項目							
FORM 名:	METHOD 名:	ACTION:					
カテゴリー	見出し	TYPE	NAME	VALUE	DEFAULT	SIZE/MAX	備考

出力項目				
カテゴリー	見出し	TYPE	最大領域	備考

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プログラム	プ゚ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	93

業務名:	
画面 ID:	POLICY032
画面タイトル:	Facility Information コンテンツ表示画面
	(コンテンツ)

画面概要	各企業向け Facility Information コンテンツを表示。

入力項目							
FORM 名:	METHOD 名:	ACTION:					
カテゴリー	見出し	TYPE	NAME	VALUE	DEFAULT	SIZE/MAX	備考

出力項目				
カテゴリー	見出し	TYPE	最大領域	備考

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プログラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	94

業務名:	
画面 ID:	POLICY033
画面タイトル:	Facility Information コンテンツ表示画面
	(終了ボタン)

	Facility Information コンテンツ表示画面の終了ボタン部分を表示。
画面概要	

入力項目]								
FORM名:	POLICY_FORM	METHOD 名:	POST	ACTION:	TION:/servlet/Glp.GlpPolicy.GlpPolicyServlet					
FORM名:	POLICY_FORM	METHOD 名:	POST	ACTION:	TION:/servlet/Glp.GlpMenu.GlpMenuServlet					
FORM名:	POLICY_FORM	METHOD 名:	POST	ACTION:	:/servlet/AuthLogoffServlet					
カラ	ーゴリー	見出し		TYPE		NAME	VALUE	DEFAULT	SIZE/MAX	備考
イメージ(終了	ボタン)	Back		IMG						PolicyServlet ∼ POST
		MainManu		IMG						MainServlet ~ POST
Log off		IMG						LogoffServlet ∼ POST		

出力項目				
カテゴリー	見出し	TYPE	最大領域	備考

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	95

(4)Claim

業務名:	
画面 ID:	CLAIM01
画面タイトル:	Claimメニュー画面

	Claimのメニュー画面。
画面概要	海外アジャスターシステム、TMCS システム、TMMS システム、Jpanese Summary 一覧画面(フレーム分)
	割)に遷移する。

入力項目											
FORM名:	MENU_FORM	METHOD 名:	POST	ACTION:	/servlet/Glp.GlpClaim.GlpClaimServlet						
FORM名:	MENU_FORM	METHOD 名:	POST	ACTION:	/servlet/Glp.GlpMenu.GlpMenuServlet						
FORM名:	LOGOFF_FORM	METHOD 名:	POST	ACTION:	/servlet/AuthLogoffServlet						
カ	テゴリー	見出	l	TYPE	E NAME	VALUE	DEFAULT	SIZE/MAX	備考		
イメージ(ボ	タン)	Property (Overseas Loca	l Policy)	IMG					ClaimServlet ~ POST		
		Property (Japa	Property (Japan Policy)						ClaimServlet ∼ POST		
			Liability (Overseas Local Policy)						ClaimServlet ~ POST		
		Liability (Jap	an Policy)	IMG					ClaimServlet ~ POST		
		Product Liabil (Japan Policy)	-	IMG					ClaimServlet ∼ POST		
		U. S. A.		IMG					ClaimServlet ~ POST		
		Europe		IMG					ClaimServlet ~ POST		
		Japanese Summa	ry	IMG					ClaimServlet ~ POST		
イメージ(終	了ボタン)	Back		IMG					MenuServlet ∼ POST		
		MainMenu		IMG					MenuServlet ∼ POST		
		Log off		IMG					LogoffServlet ~ POST		

出力項目				
カテゴリー	見出し	TYPE	最大領域	備考

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゚ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	96

業務名:	
画面 ID:	CLAIM11
画面タイトル:	海外アジャスターシステム

	Claimメニュー画面 から遷移し、海外アジャスターシステムに遷移する。
画面概要	

入力項目							
FORM 名:	METHOD名:	ACTION:					
カテゴリー	見出し	TYPE	NAME	VALUE	DEFAULT	SIZE/MAX	備考

出力項目				
カテゴリー	見出し	TYPE	最大領域	備考

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	97

業務名:	
画面 ID:	CLAIM21
画面タイトル:	Product Liablity 検索画面

Product Liablity の検索条件を入力する。画面概要「Run」ボタンで情報が送信され、Product Liablity 一覧画面(フレーム分割)に遷移する。

入力項目												
FORM名:	FORM_SELECT	METHOD 名:	POST	ACTION:	/servlet/Glp.Glp	Claim.GlpClair	nServlet					
FORM名:	FORM_SELECT	METHOD 名:	POST	ACTION:	/servlet/Glp.GlpMenu.GlpMenuServlet							
FORM名:	FORM_SELECT	METHOD 名:	POST	ACTION:	/servlet/AuthLogoffServlet							
力	テゴリー	見出し		TYPE	NAME	VALUE	DEFAULT	SIZE/MAX	備考			
Date Of Loss		Date Of Loss From	m	TXT (N)	DATE_OF_LO SS_FROM		BLANK	12/8				
		Date Of Loss To		TXT (N)	DATE_OF_LO SS_TO		BLANK	12/8				
Claim Mode Date Range		Claim Mode Date Range From		TXT (N)	CLAIM_MODE _DATE_RANG E_FROM		BLANK	12/8				
		Claim Mode Date	Range To	TXT (N)	CLAIM_MODE _DATE_RANG E_TO		BLANK	12/8				
Policy Number		Policy Number		TXT (C)	POLICY_NUM BER		BLANK	16/10				
		Policy Number Sul	b	TXT (C)	POLICY_NUM BER_SUB		BLANK	4/2				
イメージ (終了	デボタン)	Back		IMG					ClaimServlet ∼ POST			
		Run		IMG					ClaimServlet ~ POST			
		MainMenu	<u> </u>	IMG					MenuServlet ~ POST			
	_	Log off	•	IMG					LogoffServlet ~ POST			

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	98

出力項目				
カテゴリー	見出し	TYPE	最大領域	備考

リンク	
リンク先	備考
Japanese Help (/Glp/j-help.html)	Japanese Help画面に遷移
English Help (/Glp/e-help.html)	English Help 画面に遷移

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゚ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	99

業務名:	
画面 ID:	CLAIM220
画面タイトル:	Product Liablity 一覧画面(フレーム分割)

画面概要 Product Liablity 一覧画面(コンテンツ)、(終了ボタン)をフレーム内に呼び出す。	画面概要	Product Liablity 検索画面 から遷移し、 Product Liablity 一覧画面(コンテンツ)、(終了ボタン)をフレーム内に呼び出す。
---	------	--

入力項目							
FORM 名:	METHOD 名:	ACTION:					
カテゴリー	見出し	TYPE	NAME	VALUE	DEFAULT	SIZE/MAX	備考

出力項目				
カテゴリー	見出し	TYPE	最大領域	備考

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	100

業務名:	
画面 ID:	CLAIM22
画面タイトル:	Product Liablity一覧画面
	(コンテンツ)

	Product Liablity 検索画面で入力された値より、データベースの値を抽出し、一覧表示。
画面概要	ダウンロード画面に遷移する。

入力項目										
	FORM		PUT		/se	ervlet/Glp.Glp	Claim.GlpClaim	Servlet		
FORM名:	FORM	METHOD名:	PUT	ACTION:/servlet/Glp.GlpDownload.GlpDownloadServlet						
カテ	ゴリー	見出し	見出し TYPE		NAME	VALUE	DEFAULT	SIZE/MAX	備考	
イメージ (ボタ:	ン)	Excel		IMG						DownloadServlet ~ POST
	Graph / Summary			IMG						DownloadServlet ~ POST
		Previous		IMG						ClaimServlet ~ POST
		Next	•	IMG	•					ClaimServlet ~ POST

出力項目				
カテゴリー	見出し	TYPE	最大領域	備考
Policy Number	証券番号			
Clamant	クレーマント			
Date of Loss	事故日			
Date of Claims made	賠償請求日			
Total Reserves (Dollar)	슴計 0S			
Total Paid (Dollar)	支払額			
Status	ステータス			
Accident	事故態様			
Location	事故地			
Court	訴訟地			
Injury	負傷			
Defects1	欠陥主張1			
Defects2	欠陥主張2			

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	101

カテゴリー	見出し	TYPE	最大領域	備考
Defects3	欠陥主張3			
Modes	製品モデル			

内部設計書	システム	サブ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	102

業務名:	
画面 ID:	CLAIM222
画面タイトル:	Product Liablity 一覧画面
	(終了ボタン)

	Product Liablity 一覧画面の終了ボタン部分を表示。
画面概要	

入力項目]								
FORM名:	CLAIM_FORM	METHOD 名:	POST	ACTION:	/servlet/Glp.GlpClaim.GlpClaimServlet					
FORM名:	CLAIM_FORM	METHOD 名:	POST	ACTION:	N:/servlet/Glp.GlpMenu.GlpMenuServlet					
FORM名:	CLAIM_FORM	METHOD 名:	POST	ACTION:	/servlet/AuthLogoffServlet					
カラ	ーゴリー	見出し		TYPE		NAME	VALUE	DEFAULT	SIZE/MAX	備考
イメージ (終了	ボタン)	Back		IMG						ClaimServlet ~ POST
		MainMenu		IMG						MenuServlet ∼ POST
		Log off I		IMG						LogoffServlet ∼ POST

出力項目				
カテゴリー	見出し	TYPE	最大領域	備考

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゚ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	103

業務名:	
画面 ID:	CLAIM31
画面タイトル:	TMCS システム

	-
	Claimメニュー画面 から遷移し、TMCSシステムに遷移する。
画面概要	

入力項目							
FORM 名:	METHOD名:	ACTION:					
カテゴリー	見出し	TYPE	NAME	VALUE	DEFAULT	SIZE/MAX	備考

出力項目				
カテゴリー	見出し	TYPE	最大領域	備考

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゚ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	104

業務名:	
画面 ID:	CLAIM41
画面タイトル:	TMMS システム

	Claimメニュー画面 から遷移し、TMMSシステムに遷移する。
画面概要	

入力項目							
FORM 名:	METHOD 名:	ACTION:					
カテゴリー	見出し	TYPE	NAME	VALUE	DEFAULT	SIZE/MAX	備考

出力項目				
カテゴリー	見出し	TYPE	最大領域	備考

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゚ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	105

業務名:	
画面 ID:	CLAIM510
画面タイトル:	Jpanese Summary 一覧画面(フレーム分割)

Claim メニュー画面 から遷移し、 Jpanese Summary 一覧画面(インデックス)、(コンテンツ)、(終了ボタン)をフレーム内に呼び出す。

入力項目							
FORM 名:	METHOD 名:	ACTION:					
カテゴリー	見出し	TYPE	NAME	VALUE	DEFAULT	SIZE/MAX	備考

出力項目				
カテゴリー	見出し	TYPE	最大領域	備考

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	106

業務名:
画面 ID: なし (GlpClaimJpSummary01.html)
画面タイトル: Jpanese Summary 一覧画面 (インデックス)

	Jpanese Summary 一覧画面 のインデックス部分を表示。
画面概要	of manage of manage of the control o

入力項目							
FORM 名:	METHOD 名:	ACTION:					
カテゴリー	見出し	TYPE	NAME	VALUE	DEFAULT	SIZE/MAX	備考

出力項目				
カテゴリー	見出し	TYPE	最大領域	備考

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プログラム	プ゚ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	107

業務名:	
画面 ID:	CLAIM51
画面タイトル:	Jpanese Summary 一覧画面(コンテンツ)

ダウンロードリストを作成、表示。	
画面概要	ダウンロードリストを作成、表示。 ダウンロードリストより、ダウンロード画面に遷移する。

入力項目										
FORM名:	DOWNLOAD_FORM	METHOD名:	POST	ACTION:	/se	ervlet/Glp.Glp	Download. GlpDov	mloadServle	t	
;	カテゴリー	見出し		TYPE	TYPE NAME VALUE DEFAULT SIZE/MAX 備考					備考
ダウンロート	×.									DownloadServlet ~ POST

出力項目				
カテゴリー	見出し	TYPE	最大領域	備考
ダウンロード				Servle より動的に作成

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プログラム	プ゚ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	108

業務名:	
画面 ID:	CLAIM512
画面タイトル:	Jpanese Summary 一覧画面(終了ボタン)

	Jpanese Summary 一覧画面 の終了ボタン部分を表示。
画面概要	

入力項目										
FORM 名:	CLAIM_FORM	METHOD名:	POST	ACTION:	/servlet/Glp.GlpClaim.GlpClaimServlet					
FORM名:	CLAIM_FORM	METHOD 名:	POST	ACTION:	N:/servlet/Glp.GlpMenu.GlpMenuServlet					
FORM 名:	CLAIM_FORM	METHOD 名:	POST	ACTION:	/servlet/AuthLogoffServlet					
カ	カテゴリー 見出し TYPE		NAME	VALUE	DEFAULT	SIZE/MAX	備考			
イメージ (終	 アボタン)	Back	IMG							ClaimServlet ∼ POST
MainMenu I		IMG						MenuServlet ∼ POST		
Log off IMG		IMG						LogoffServlet ∼ POST		

出力項目				
カテゴリー	見出し	TYPE	最大領域	備考

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プログラム	プ゚ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	109

業務名:	
画面 ID:	なし (j-help.html)
画面タイトル:	Japanese Help画面

	Product Liablity 検索画面から呼び出される、日本語ヘルプ。
画面概要	

入力項目							
FORM 名:	METHOD 名:	ACTION:					
カテゴリー	見出し	TYPE	NAME	VALUE	DEFAULT	SIZE/MAX	備考

出力項目				
カテゴリー	見出し	TYPE	最大領域	備考

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゚ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	110

業務名:	
画面 ID:	なし (e-help.html)
画面タイトル:	English Help 画面

	Product Liablity 検索画面から呼び出される、英語ヘルプ。
画面概要	

入力項目							
FORM 名:	METHOD名:	ACTION:					
カテゴリー	見出し	TYPE	NAME	VALUE	DEFAULT	SIZE/MAX	備考

出力項目				
カテゴリー	見出し	TYPE	最大領域	備考

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	111

(5) Others

業務名:	
画面 ID:	OTHERS01
画面タイトル:	Others メニュー画面

画面概要	メインメニューから遷移し、 コンテンツ表示画面(Leagal Information または miscellanious)に遷移する。

入力項目										
FORM名:	OTHERS_FORM	METHOD 名:	POST	ACTION:	/se	ervlet/Glp.Glp	Others.GlpOther	rsServlet		
FORM名:	OTHERS_FORM	METHOD 名:	POST	ACTION:	/se	ervlet/Glp.Glp	Menu. GlpMenuSei	rvlet		
FORM名:	OTHERS_FORM	METHOD 名:	POST	ACTION:	/se	ervlet/AuthLog	offServlet			
	カテゴリー	見出し		TYPE		NAME	VALUE	DEFAULT	SIZE/MAX	備考
イメージ (オ	ドタン)	Leagal Information		IMG						OthersServlet ~ POST
		miscellanious	miscellanious		IMG					OthersServlet ~ POST
					IMG					MainServlet ∼ POST
イメージ (終了ボタン)		Main Manu	Main Manu		IMG					MainServlet ~ POST
		Log off	•	IMG						LogoffServlet ~ POST

出力項目				
カテゴリー	見出し	TYPE	最大領域	備考

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゚ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	112

業務名:	
画面 ID:	OTHERS02
画面タイトル:	コンテンツ表示画面(フレーム分割)

	Others メニュー画面 から遷移し、
画面概要	コンテンツ表示画面(インデックス)、コンテンツ、(終了ボタン)をフレーム内に呼び出す。
	呼び出されたボタンによって Leagal Information または miscellanious のコンテンツを表示。

入力項目							
FORM 名:	METHOD 名:	ACTION:					
カテゴリー	見出し	TYPE	NAME	VALUE	DEFAULT	SIZE/MAX	備考

出力項目				
カテゴリー	見出し	TYPE	最大領域	備考

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	113

業務名:	
画面 ID:	OTHERS021
画面タイトル:	コンテンツ表示画面
	(インデックス)

	コンテンツ表示画面のインデックス部分を表示。
画面概要	

入力項目							
FORM 名:	METHOD 名:	ACTION:					
カテゴリー	見出し	TYPE	NAME	VALUE	DEFAULT	SIZE/MAX	備考

出力項目				
カテゴリー	見出し	TYPE	最大領域	備考

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	114

業務名:	
画面 ID:	OTHERS023
画面タイトル:	コンテンツ表示画面 (終了ボタン)

	コンテンツ表示画面の終了ボタン部分を表示。
画面概要	

入力項目]									
FORM名:	OTHERS_FORM	METHOD 名:	POST	ACTION:	/se	/servlet/Glp.GlpOthers.GlpOthersServlet					
FORM名:	OTHERS_FORM	METHOD 名:	POST	ACTION:	/se	/servlet/Glp.GlpMenu.GlpMenuServlet					
FORM名:	OTHERS_FORM	METHOD 名:	POST	ACTION:	/se	/servlet/AuthLogoffServlet					
;	カテゴリー		見出し			NAME	VALUE	DEFAULT	SIZE/MAX	備考	
ボタン		Back		IMG						OthersServlet ~ POST	
		Main Manu		IMG						MainServlet ∼ POST	
		Log off		IMG						LogoffServlet ∼ POST	

出力項目				
カテゴリー	見出し	TYPE	最大領域	備考

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	115

業務名:	
画面 ID:	なし (leagalInfo.html)
画面タイトル:	Leagal Infromation コンテンツ表示画面
画面ダイトル:	Leagal Infromation コンテンツ表示画面 (コンテンツ)

	Others メニュー画面 で、Leagal Infromation ボタンが押されたとき、 コンテンツ表示画面(フレーム分割)のフレーム内に呼び出される。
--	---

入力項目							
FORM 名:	METHOD 名:	ACTION:					
カテゴリー	見出し	TYPE	NAME	VALUE	DEFAULT	SIZE/MAX	備考

出力項目				
カテゴリー	見出し	TYPE	最大領域	備考

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ。ロセス	プ゜ロク゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	116

業務名:	
画面 ID:	なし (misellanious.html)
画面タイトル:	Miscellanious コンテンツ表示画面
	(コンテンツ)

Others メニュー画面 で、Leagal Infromation またはMiscellanious ボタンが押されたとき、 コンテンツがない場合、コンテンツ表示画面(フレーム分割)のフレーム内に呼び出される。

入力項目							
FORM 名:	METHOD 名:	ACTION:					
カテゴリー	見出し	TYPE	NAME	VALUE	DEFAULT	SIZE/MAX	備考

出力項目				
カテゴリー	見出し	TYPE	最大領域	備考

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゚ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	117

業務名:	
画面 ID:	なし (noContents.html)
画面タイトル:	「該当なし」表示画面

	コンテンツが無かったとき、コンテンツ表示画面(フレーム分割)のフレーム内に呼び出される。
画面概要	

入力項目							
FORM 名:	METHOD 名:	ACTION:					
カテゴリー	見出し	TYPE	NAME	VALUE	DEFAULT	SIZE/MAX	備考

出力項目				
カテゴリー	見出し	TYPE	最大領域	備考

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゚ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	118

(6) Download

業務名:	
画面 ID:	DOWNLOAD01
画面タイトル:	ダウンロード画面

画面概要	「しばらくお待ちください」の表示。 アプレットの実行。

入力項目							
FORM 名:	METHOD 名:	ACTION:					
カテゴリー	見出し	TYPE	NAME	VALUE	DEFAULT	SIZE/MAX	備考
アプレット		APPLET					
アプレットのパラメータ		PARAM	XLS_NAME				
アプレットのパラメータ		PARAM	VBS_NAME				
アプレットのパラメータ		PARAM	XLS_FILE				
アプレットのパラメータ		PARAM	VBS_FILE				
アプレットのパラメータ		PARAM	CALL_ME_URL				
アプレットのパラメータ		PARAM	CALL_ME_JSP_ID				
アプレットのパラメータ		PARAM	CSV1_NAME				
アプレットのパラメータ		PARAM	CSV2_NAME				
アプレットのパラメータ		PARAM	CSV1_FILE				
アプレットのパラメータ		PARAM	CSV2_FILE				

出力項目				
カテゴリー	見出し	TYPE	最大領域	備考

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゚ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	119

業務名:	
画面 ID:	DOWNLOAD02
画面タイトル:	ダウンロード OK 画面

	ダウンロード画面(コンテンツ)から遷移し、
画面概要	proxy.getPrevServletName () に遷移する (ダウンロード呼び出しもとのサーブレット)。

入力項目							
FORM 名:	METHOD 名:	ACTION:					
カテゴリー	見出し	TYPE	NAME	VALUE	DEFAULT	SIZE/MAX	備考

出力項目				
カテゴリー	見出し	TYPE	最大領域	備考

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	120

(7) Error

業務名:	
画面 ID:	ERR01
画面タイトル:	セッションエラー遷移画面

	エラーが発生したとき、セッションエラー画面に遷移する。
画面概要	

入力項目							
FORM 名:	METHOD 名:	ACTION:					
カテゴリー	見出し	TYPE	NAME	VALUE	DEFAULT	SIZE/MAX	備考

出力項目				
カテゴリー	見出し	TYPE	最大領域	備考

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ。ロセス	プ゚ログラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	121

業務名:	
画面 ID:	ERR02
画面タイトル:	リファラーエラー遷移画面

·	
	エラーが発生したとき、リファラーエラー画面に遷移する。
画面概要	

入力項目							
FORM 名:	METHOD 名:	ACTION:					
カテゴリー	見出し	TYPE	NAME	VALUE	DEFAULT	SIZE/MAX	備考

出力項目				
カテゴリー	見出し	TYPE	最大領域	備考

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	122

業務名:	
画面 ID:	ERRO3
画面タイトル:	システムエラー遷移画面

	エラーが発生したとき、システムエラー画面に遷移する。
画面概要	

入力項目							
FORM 名:	METHOD名:	ACTION:					
カテゴリー	見出し	TYPE	NAME	VALUE	DEFAULT	SIZE/MAX	備考

出力項目				
カテゴリー	見出し	TYPE	最大領域	備考

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	123

業務名:	
画面 ID:	なし (GlpError01.html)
画面タイトル:	セッションエラー画面

	セッションエラーを表示。
画面概要	

入力項目										
FORM名:	LOGOFF_FORM	METHOD名:	POST	ACTION:	/servlet/Au	hLog	goffServlet			
	カテゴリー			TYPE	NAME		VALUE	DEFAULT	SIZE/MAX	備考
イメージ (終了ボタン)		to Log On		IMG						LogoffServlet ~ POST

出力項目				
カテゴリー	見出し	TYPE	最大領域	備考

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゚ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	124

業務名:	
画面 ID:	なし (GlpError02.html)
画面タイトル:	リファラーエラー画面

	リファラーエラーを表示。
画面概要	

入力項目										
FORM 名:	LOGOFF_FORM	METHOD名:	POST	ACTION:	/se	ervlet/AuthLog	offServlet			
カテゴリー		見出し		TYPE		NAME	VALUE	DEFAULT	SIZE/MAX	備考
イメージ (終了ボタン)		to Log On		IMG						LogoffServlet ~ POST

出力項目				
カテゴリー	見出し	TYPE	最大領域	備考

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	125

業務名:	
画面 ID:	なし (GlpError03.html)
画面タイトル:	システムエラー遷移画面

	システムエラーを表示。
画面概要	

入力項目										
FORM名:	LOGOFF_FORM	METHOD名:	POST	ACTION:	/se	ervlet/AuthLog	offServlet			
カテゴリー		見出し	-	TYPE		NAME	VALUE	DEFAULT	SIZE/MAX	備考
イメージ (終了ボタン)		to Log On		IMG						LogoffServlet ∼ POST

出力項目				
カテゴリー	見出し	TYPE	最大領域	備考

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゚ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	126

(8)Log0n

業務名:	
画面 ID:	AUTH01
画面タイトル:	認証 OK 画面 (社外ユーザー)

画面概要	認証から遷移し、メインメニュー画面(フレーム分割)に遷移する。

入力項目							
FORM 名:	METHOD 名:	ACTION:					
カテゴリー	見出し	TYPE	NAME	VALUE	DEFAULT	SIZE/MAX	備考

出力項目				
カテゴリー	見出し	TYPE	最大領域	備考

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	127

業務名:	
画面 ID:	AUTH02
画面タイトル:	認証 OK 画面 (社内ユーザー)

	認証から遷移し、企業選択画面(フレーム分割)に遷移する。
画面概要	

入力項目							
FORM 名:	METHOD 名:	ACTION:					
カテゴリー	見出し	TYPE	NAME	VALUE	DEFAULT	SIZE/MAX	備考

出力項目				
カテゴリー	見出し	TYPE	最大領域	備考

内部設計書	システム	サブ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	128

(9) Index

業務名:	
画面 ID:	なし (GlpHeader.jsp)
画面タイトル:	ヘッダー

	企業ごとに個別のヘッダーを作成。
画面概要	

入力項目							
FORM 名:	METHOD名:	ACTION:					
カテゴリー	見出し	TYPE	NAME	VALUE	DEFAULT	SIZE/MAX	備考

出力項目				
カテゴリー	見出し	TYPE	最大領域	備考
イメージ	<pre>GlpSessionData.getEnterpr iseCD()</pre>	IMG		企業ロゴ (企業ごと個別のイメージを用いる)
	Risk Strategist	IMG		東京海上システム名称
	GlpSessionData.getEnterpr iseCD() + "Global Program"	IMG		企業システム名称 (企業ごと個別のイメージを用いる)
	tokyo-marine	IMG		東京海上ロゴ

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	129

業務名:	
画面 ID:	なし (GlpHidden.html)
画面タイトル:	フッダー

画面概要	フッダー。特に表示する内容はない。

入力項目							
FORM 名:	METHOD名:	ACTION:					
カテゴリー	見出し	TYPE	NAME	VALUE	DEFAULT	SIZE/MAX	備考

出力項目				
カテゴリー	見出し	TYPE	最大領域	備考

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	130

8 Javascript 関数一覧

ファイル (JSP) 名	関数名	説明
GlpAuthOK.jsp	goRUN	メニュー画面への遷移
GlpAuthOKEmp.jsp	goRUN	メニュー画面への遷移
GlpMenu01.jsp	goRUN	企業選択でAll を選択した場合、TMPRESS への遷移
		以外はメインメニューへの遷移
	goL0G0FF	ログオフ
GlpMenu03.jsp	goPOLICY	Polcy メニューへの遷移
	goL0S	LosControl メニューへの遷移
	goCLAIM	Claimメニューへの遷移
	goOTHERS	Others メニューへの遷移
	goL0G0FF	ログオフ
GlpMenuO4.jsp	goRUN	TMPRESSへの遷移
GlpPolicyO1.jsp	goP0LICY	Polcy への遷移
	goFACILITY	Facilityへの遷移
	goMENU	メインメニューへの遷移
	goL0G0FF	ログオフ
GlpPolicy022.jsp	goDOWNLOAD	ダウンロードへの遷移
GlpPolicy023.html	goBACK	全画面への遷移
	goMENU	メインメニューへの遷移
	goL0G0FF	ログオフ
GlpPolicy033.html	goBACK	全画面への遷移
	goMENU	メインメニューへの遷移
	goL0G0FF	ログオフ
GlpClaimMenu.jsp	goADJUSTER	アジャスターシステムへの遷移
	goPL	ProductLiability への遷移
	goTMCS	TMCSへの遷移
	goTMMS	TMMSへの遷移
	goJpSummary	JapaneseSummary への遷移
	goMENU	メインメニューへの遷移
	goL0G0FF	ログオフ
GlpClaimAdjuster.jsp	goRUN	アジャスターシステムへの遷移
GlpClaimTMCS.jsp	goRUN	TMCS への遷移

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	131

GlpClaimTMMS.jsp	goRUN	TMMS への遷移
GlpClaimJpSummary.jsp	goDOWNLOAD	ダウンロードへの遷移
	goBACK	全画面への遷移
	goMENU	メインメニューへの遷移
	goL0G0FF	ログオフ
GlpClaimJpSummaryO2.html	goBACK	全画面への遷移
	goMENU	メインメニューへの遷移
	goL0G0FF	ログオフ
GlpClaimSelect.jsp	verify	検索条件の入力をチェックする
	InputLengthCheck	Policy Number の入力桁数チェック
	InputCheck	Policy Number の入力チェック
	DateStringCheck	日付の妥当性をチェック
	NumberStringCheck	半角数字の入力チェック
	CheckDate	正当な日付かをチェックする
	IsNumberString	値が半角数字で設定されているかを返す
	MM_openBrWindow	ヘルプのウィンドウを開く
	goBACK	全画面への遷移
	goMENU	メインメニューへの遷移
	goL0G0FF	ログオフ
GlpClaimResult.jsp	DownloadExcel	Excel ファイルダウンロード
	DownloadGraph	GraphSummary ファイルダウンロード
	NextPage	次ページ
	PreviousPage	前ページ
GlpClaimResult02.html	goBACK	全画面への遷移
	goMENU	メインメニューへの遷移
	goL0G0FF	ログオフ
GlpOthersO1.jsp	goLEAGAL	Leagal への遷移
	goMISCELLANIOUS	Miscellanious への遷移
	goMENU	メインメニューへの遷移
	goL0G0FF	ログオフ
GlpOthersO23.html	goBACK	全画面への遷移
	goMENU	メインメニューへの遷移
	goL0G0FF	ログオフ
GlpOthersO3. jsp	goBACK	全画面への遷移

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	132

	goMENU	メインメニューへの遷移
GlpDownload.jsp		
GlpDownloadAuthOK.jsp		
GlpError.jsp	goRUN	ウィンドウオープン
GlpError01.html	goL0G0FF	ログオフ
GlpError02.html	goL0G0FF	ログオフ
GlpError03.html	goL0G0FF	ログオフ

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゚ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	133

9 データローディング・プログラム

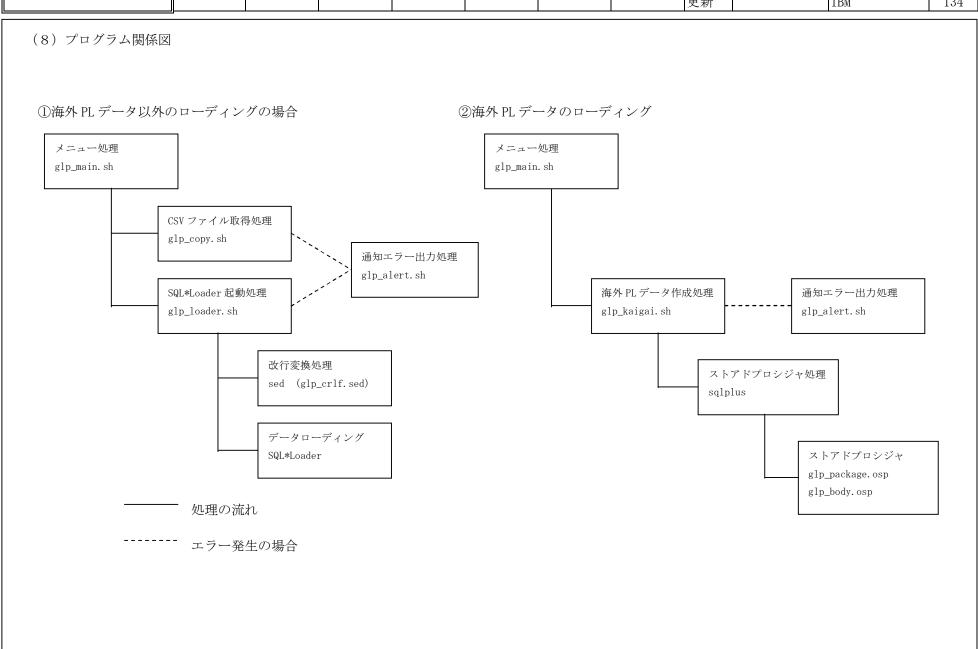
(1) モジュール一覧

No	モジュール名	機能及び処理名	プログラム種別	備考
1	glp_main.sh	メニュー処理	/bin/sh	
2	glp_loader.sh	SQL*Loader 起動処理	/bin/sh	海外 PL は除く。
3	glp_copy.sh	CSV ファイル取得処理	/bin/sh	FTP された CSV を作業エリアへ転記。
4	glp_kaigai.sh	海外 PL データ作成処理	/bin/sh	海外ワークより作成する。
5	glp_alert.sh	通知エラー出力処理	/bin/sh	管理者通知用エラーを出力する。
6	glp_cron.sh	海外 PL データ作成・自動実行メイン処理	/bin/sh	自動実行により海外 PL を作成する。
7	glp_package.osp	海外 PL データ作成・ストアドプロシジャ(パッケージ定義)	ストアト゛フ゜ロシシ゛ャ	パッケージ定義ファイル
8	glp_body.osp	海外 PL データ作成・ストアドプロシジャ(メイン)	ストアト゛フ゜ロシシ゛ャ	プロシジャ・ファイル
9	glp_oracle.sh	オラクル環境変数定義	/bin/sh	オラクルが使用する環境変数の定義。
1 0	glp_errmsg.txt	通知エラーメッセージ格納ファイル	テキストファイル	

(2) SQL*Loader で使用する定義ファイル。

No	定義ファイル名	対応するテーブル
1	glp_work.ctl	海外ワーク
2	glp_claim.ctl	クレームマスタ
3	glp_fusyo.ctl	負傷マスタ
4	glp_jikochi.ctl	事故地・訴訟地マスタ
5	glp_jikotaiyo.ctl	事故態様マスタ
6	glp_kaiketu.ctl	解決態様マスタ
7	glp_kekkan.ctl	欠陥主張マスタ
8	glp_cont_item.ctl	契約者コード・種目コード変換
9	glp_ent_cont.ctl	契約者コード・企業コード変換
1 0	glp_enterprise_mst.ctl	企業コードマスター
1 1	glp_main_menu.ctl	ユーザーメインメニューコントロールテーブル
1 2	glp_status.ctl	クローズ可否区分マスタ
1 3	glp_user_ent.ctl	ユーザーID・企業コード変換
1 4	glp_claim_menu	Claimメニュー定義

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	134



内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	135

(2) プログラム仕様

<メニュー処理>

プログラム名称	g lp_main.sh
プログラム種別	シェルプログラム (/bin/sh)
処理概要	メニュー画面表示、入力インターフェイスの制御、及び CSV ロードプログラムの起動を行う。
入力パラメータ	なし
戻り値	= 0 : 正常終了、≠ 0 : 処理異常
対応 trap	SIGHUP, SIGINT, SIGTERM
trap 発生時の処理	stdout にメッセージ出力後、終了する。

- ・入力インターフェイス (環境変数)なし
- ・入力インターフェイス (テキストファイル)なし
- ・出力インターフェイス(環境変数)

環境変数名	説明
SED_FILE	改行コード変換用の sed ファイル名
WORK_DIR	作業用ディレクトリ名
LOG_DIR	ログ出力ディレクトリ名
CSV_DIR	CSV ファイル格納ディレクトリ名
CSV_FILE	ターゲットとなる CSV ファイル名
PID_FILE	ローディングプログラムのプロセス ID 格納ファイル名
CONTROL_FILE	SQL*Loader のコントロールファイル名
DATA_FILE	データロード時に使用する、一時ファイル名
BAD_FILE	SQL*Loader でロードエラー発生時のエラー情報格納ファイル名
STS_FILE	SQL*Loader 起動エラー情報格納ファイル名
LOG_FILE	SQL*Loader 実行結果格納ファイル名
TB_NAME	ターゲットとなるテーブル名
ALERT_FILE	通知エラー出力ファイル名
ERRMSG_FILE	通知エラーメッセージ格納ファイル名

内部設計書	システム	サブ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	136

・出力インターフェイス (テキストファイル) なし

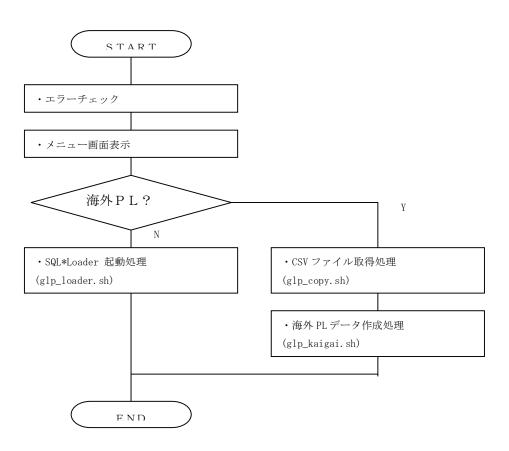
チェック項目

チェック項目名	内容
コントロールファイル格納ディレクトリ存在チェック	・ 環境変数で指定されたディレクトリが、ディレクトリとして存在すること。
	・ 環境変数で指定されたディレクトリのパーミッションが、読み書き可能であること。
ログファイル格納ディレクトリ存在チェック	・ 環境変数で指定されたディレクトリが、ディレクトリとして存在すること。
	・ 環境変数で指定されたディレクトリのパーミッションが、書き込み可能であること。
作業ディレクトリ存在チェック	・ 環境変数で指定されたディレクトリが、ディレクトリとして存在すること。
	・ 環境変数で指定されたディレクトリのパーミッションが、読み書き可能であること。
CSVファイル格納ディレクトリ存在チェック	・ 環境変数で指定されたディレクトリが、ディレクトリとして存在すること。
	・ 環境変数で指定されたディレクトリのパーミッションが、読み込み可能であること。
通知エラーメッセージ格納ファイル存在チェック	・ 環境変数で指定された通知エラーメッセージ格納ファイルが、ファイルとして存在す
	ること。
	・ 環境変数で指定された通知エラーメッセージ格納ファイルのパーミッションが、読み
	込み可能であること。
SEDファイルリードチェック	・ 環境変数で指定された sed ファイルが、読み込み可能であること。

使用する一時ファイル なし

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	137

・主な処理の流れ



<メニュー処理 END>

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プログラム	プ゚ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	138

<SQL*Loader 起動処理>

プログラム名称	g lp_loader. sh
プログラム種別	シェルプログラム(/bin/sh)
処理概要	SQL*Loader を起動し、CSV ファイルのロードを行う。
入力パラメータ	なし
戻り値	=0:正常終了、≠0:処理異常
対応 trap	SIGHUP, SIGINT, SIGTERM
Trap 発生時の処理	stdout にメッセージを出力しプロセス ID ファイルを削除後、終了する。

・入力インターフェイス (環境変数)

環境変数名	説明
SED_FILE	改行コード変換用の sed ファイル名
LOG_DIR	ログ出力ディレクトリ名
WORK_DIR	作業用ディレクトリ名
CSV_DIR	CSV ファイル格納ディレクトリ名
CSV_FILE	ターゲットとなる CSV ファイル名
PID_FILE	ローディングプログラムのプロセス ID 格納ファイル名
CONTROL_FILE	SQL*Loader のコントロールファイル名
DATA_FILE	データロード時に使用する、一時ファイル名
BAD_FILE	SQL*Loader でロードエラー発生時のエラー情報格納ファイル名
STS_FILE	SQL*Loader 起動エラー情報格納ファイル名
LOG_FILE	SQL*Loader 実行結果格納ファイル名
TB_NAME	ターゲットとなるテーブル名
ALERT_FILE	通知ログ出力ファイル名
ERRMSG_FILE	通知エラーメッセージ格納ファイル名

- ・入力インターフェイス (テキストファイル)なし
- ・出力インターフェイス(環境変数)なし

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プログラム	プ゚ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	139

出力インターフェイス(テキストファイル)

ファイル名	内容
環境変数 STS_FILE で指定されたファイル名	・ SQL*Loader の起動エラー情報格納ファイル。
環境変数 LOG_FILE で指定されたファイル名	・ SQL*Loader の実行結果格納ファイル。
環境変数 BAD_FILE で指定されたファイル名	・ SQL*Loader で、ロードエラー発生時の CSV データ (行) 格納ファイル。

・出力インターフェイス(データベース) 該当データへCSVファイルをロードする。(SQL*Loader)

チェック項目

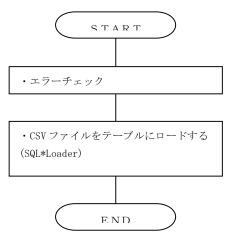
チェック項目名	内容
テーブル別2重起動のチェック	・ 環境変数で指定されたプロセス ID ファイルが存在した場合、既に起動中と考え2重
	起動エラーとする。
CSV ファイルチェック	・ 環境変数で指定されたディレクトリが、ファイルとして存在すること。
	・ 環境変数で指定されたディレクトリのパーミッションが、読み込み可能であること。
CONTROL ファイルチェック	・ 環境変数で指定されたディレクトリが、ファイルとして存在すること。
	・ 環境変数で指定されたディレクトリのパーミッションが、読み込み可能であること。
SQL*Loader 実行エラーチェック	・ SQL*Loader の実行エラーがないこと。

・使用する一時ファイル

ファイル名	内容
環境変数 DATA_FILE で指定されたファイル名	・ CSV ファイルの改行コード変換結果を格納するファイル。
環境変数 PID_FILE で指定されたファイル名	・ プロセス ID 格納ファイル。

内部設計書	システム	サブ゛システム	コンホ。ーネント	プ。ロセス	プログラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	140

・主な処理の流れ



<SQL*Loader 起動処理 END>

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	141

<CSV ファイル取得処理>

プログラム名称	g lp_copy. sh
プログラム種別	シェルプログラム (/bin/sh)
処理概要	メインフレームより転送された CSV ファイルを、作業ディレクトリに転記する。
入力パラメータ	なし
戻り値	=0:正常終了、≠0:処理異常
対応 trap	SIGHUP, SIGINT, SIGTERM
Trap 発生時の処理	stdout にメッセージを出力後、終了する。

・入力インターフェイス (環境変数)

環境変数名	内容
CSV_DIR	・ CSV ファイル格納ディレクトリ名
ALERT_FILE	・通知エラーメッセージ格納ファイル名
ERRMSG_FILE	・通知エラー格納ファイル名

・入力インターフェイス (テキストファイル)

ファイル名	内容
拡張子が直近の日付を表している、メインフレームより転	・ メインフレームより転送された、CSVファイル
送された、CSV ファイル	

・出力インターフェイス(環境変数)なし

・出力インターフェイス (テキストファイル)

ファイル名	内容
環境変数 CSV_DIR で設定されたディレクトリに作成され	・ メインフレームより FTP された CSV ファイル。
る、海外ワーク CSV ファイル (\$CSV_DIR/glp_work.csv)	

チェック項目

チェック項目名	内容
メインフレームより FTP された CSV ファイルのチェック	・ メインフレームから FTP された CSV ファイルが存在すること。
	・ 拡張子が直近の日付を表している、CSV を対象とする。
CSVファイルチェック	・ メインフレームから FTP された CSV ファイルが、読み込み可能であること。

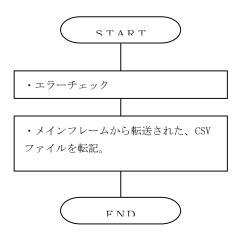
内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	142

転記エラーチェック ・ 作業ディレクトリへの転記の結果をチェックする。

・使用する一時ファイル

ファイル名	内容
環境変数 PID_FILE で指定されたファイル名	プロセス ID 格納ファイル。

・主な処理の流れ



<CSV ファイル取得処理 END>

内部設計書	システム	サブ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゚ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	143

<海外 PL データ作成処理>

プログラム名称	g lp_kaigai.sh
プログラム種別	シェルプログラム (/bin/sh)
処理概要	海外 PL テーブルのデータを作成する、ストアドプロシジャを起動する。
入力パラメータ	なし
戻り値	=0:正常終了、≠0:処理異常
対応 trap	SIGHUP, SIGINT, SIGTERM
Trap 発生時の処理	stdout にメッセージを出力、プロセス ID ファイルを削除後、終了する。

・入力インターフェイス (環境変数)

環境変数名	内容
LOG_FILE	・ ストアドプロシジャの実行結果格納ファイル名。
PID_FILE	プロセス ID ファイル格納ファイル名。
ALERT_FILE	・通知エラーメッセージ格納ファイル名
ERRMSG_FILE	・通知エラー格納ファイル名

- ・入力インターフェイス (テキストファイル)なし
- ・出力インターフェイス(環境変数)なし
- 出力インターフェイス (テキストファイル)

ファイル名	内容
環境変数 LOG_DIR で指定されたディレクトリに作成され	・ ストアドプロシジャのコンパイル結果格納ファイル名。
る、compile.log(\$LOG_DIR/compile.log)	
環境変数 LOG_FILE で指定されたファイル名	・ ストアドプロシジャの実行結果格納ファイル名。

チェック項目

チェック項目名	内容
2 重起動のチェック	・ 環境変数で指定されたプロセス ID ファイルが存在した場合、既に起動中と考え 2 重
	起動エラーとする。
ストアドプロシジャのコンパイルエラーチェック	ストアドプロシジャをコンパイルし、エラーチェックを行う。

内部設計書	システム	サブ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゚ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	144

ストアドプロシジャ実行エラーチェック ・ ストアドプロシジャの実行エラーをチェックする。

・使用する一時ファイル

ファイル名	内容
環境変数 PID_FILE で指定されたファイル名	・ プロセス ID 格納ファイル。

・主な処理の流れ



<海外 PL データ作成処理 END>

内部設計書	システム	サブ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	145

<通知エラー出力処理>

プログラム名称	g lp_alert. sh
プログラム種別	シェルプログラム(/bin/sh)
処理概要	パラメータで指定された通知エラーを、所定のファイルに書き込む。
入力パラメータ	\$1:エラーコード
	\$2:発生モジュール名
	\$3:エラー発生要因
戻り値	=0:正常終了、≠0:処理異常
対応 trap	SIGHUP, SIGINT, SIGTERM
Trap 発生時の処理	stdout にメッセージを出力後終了する。

・入力インターフェイス (環境変数)

ファイル名	内容
ERRMSG_FILE	通知エラーメッセージ格納ファイル名
ALERT_FILE	通知エラー格納ファイル名

・入力インターフェイス (テキストファイル)

ファイル名	内容
環境変数 ERRMSG_FILE で指定されたファイル	通知エラーメッセージ格納ファイル

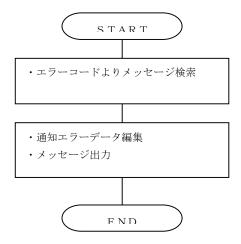
- ・出力インターフェイス(環境変数)なし
- ・出力インターフェイス (テキストファイル)

Ī	ファイル名	内容
Ī	環境変数 ALERT_FILE で指定されたファイル	通知エラー出力ファイル

- ・出力インターフェイス (errout) 通知エラー出力ファイルと同じメッセージを、stdout に出力する。
- チェック項目なし

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゜ロセス	プ゚ロク゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	146

- ・使用する一時ファイル なし
- ・主な処理の流れ



<通知エラー出力処理 END>

内部設計書	システム	サブ゛システム	コンホ。一ネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	147

<海外 PL データ作成・自動実行メイン処理>

プログラム名称	g lp_cron. sh
プログラム種別	シェルプログラム (/bin/sh)
処理概要	crontab より海外ワークテーブル、海外 PL テーブルのデータを作成するためのメイン処理。
入力パラメータ	なし
戻り値	=0:正常終了、≠0:処理異常
対応 trap	SIGHUP, SIGINT, SIGTERM
trap 発生時の処理	通知エラー出力後、終了する。

- ・入力インターフェイス (環境変数)なし
- ・入力インターフェイス (テキストファイル)

ファイル名	内容
./glp_oracle.sh	オラクルが使用する環境変数を定義したファイル。

・出力インターフェイス(環境変数)

環境変数名	説明
SED_FILE	改行コード変換用の sed ファイル名
WORK_DIR	作業用ディレクトリ名
LOG_DIR	ログ出力ディレクトリ名
CSV_DIR	CSV ファイル格納ディレクトリ名
CSV_FILE	ターゲットとなる CSV ファイル名
PID_FILE	ローディングプログラムのプロセス ID 格納ファイル名
CONTROL_FILE	SQL*Loader のコントロールファイル名
DATA_FILE	データロード時に使用する、一時ファイル名
BAD_FILE	SQL*Loader でロードエラー発生時のエラー情報格納ファイル名
STS_FILE	SQL*Loader 起動エラー情報格納ファイル名
LOG_FILE	SQL*Loader 実行結果格納ファイル名
TB_NAME	ターゲットとなるテーブル名
ALERT_FILE	通知エラー出力ファイル名
ERRMSG_FILE	通知エラーメッセージ格納ファイル名
ORACLE_SID	オラクルを使用するための環境変数 (インスタンス名)

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゚ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	148

ORACLE_HOME	オラクルを使用するための環境変数
ORACLE_BASE	オラクルを使用するための環境変数
ORACLE_TERM	オラクルを使用するための環境変数
ORACLE_NLS 3 3	オラクルを使用するための環境変数
NLS_LANG	オラクルを使用するための環境変数 (漢字コード指定)
PATH	オラクルを使用するための環境変数
LIBPATH	オラクルを使用するための環境変数
LD_LIBRARY_PATH	オラクルを使用するための環境変数

・出力インターフェイス (テキストファイル) なし

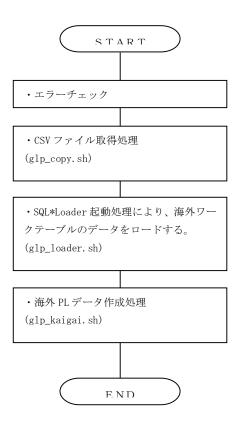
チェック項目

チェック項目名	内容
オラクルの環境変数定義ファイルチェック	・ オラクルの環境変数定義ファイル(./glp_oracle.sh)がファイルとして存在するこ
	と。
	・ オラクルの環境変数定義ファイル(./glp_oracle.sh)のパーミッションが、読み込み
	可能であること。
コントロールファイル格納ディレクトリ存在チェック	・ 環境変数で指定されたディレクトリが、ディレクトリとして存在すること。
	・ 環境変数で指定されたディレクトリのパーミッションが、読み書き可能であること。
ログファイル格納ディレクトリ存在チェック	・ 環境変数で指定されたディレクトリが、ディレクトリとして存在すること。
	・ 環境変数で指定されたディレクトリのパーミッションが、書き込み可能であること。
作業ディレクトリ存在チェック	・ 環境変数で指定されたディレクトリが、ディレクトリとして存在すること。
	・ 環境変数で指定されたディレクトリのパーミッションが、読み書き可能であること。
CSVファイル格納ディレクトリ存在チェック	・ 環境変数で指定されたディレクトリが、ディレクトリとして存在すること。
	・ 環境変数で指定されたディレクトリのパーミッションが、読み込み可能であること。
通知エラーメッセージ格納ファイル存在チェック	・ 環境変数で指定された通知エラーメッセージ格納ファイルが、ファイルとして存在す
	ること。
	・ 環境変数で指定された通知エラーメッセージ格納ファイルのパーミッションが、読み
	込み可能であること。
SEDファイルリードチェック	・ 環境変数で指定された sed ファイルが、読み込み可能であること。

使用する一時ファイル なし

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	149

・主な処理の流れ



<海外PLデータ作成・自動実行メイン処理 END>

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	150

<海外PLデータ作成・ストアドプロシジャ(パッケージ定義)>

プログラム名称	g lp_package. osp
プログラム種別	ストアドプロシジャ
処理概要	海外 PL テーブルのデータを作成するストアドプロシジャの、定義ファイル。
入力パラメータ	なし
戻り値	なし

- ・入力インターフェイスなし
- ・出力インターフェイス なし
- ・チェック項目 なし

<海外PLデータ作成・ストアドプロシジャ(パッケージ定義) END>

内部設計書	システム	サブ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プログラム	プ゚ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	151

<海外 PL データ作成・ストアドプロシジャ(メイン)>

プログラム名称	g lp_body. osp
プログラム種別	ストアドプロシジャ
処理概要	海外 PL テーブルのデータを作成するストアドプロシジャのメイン。
入力パラメータ	なし
戻り値	なし

・入力インターフェイス (テーブル)

定義テーブル名	テーブル名	内容
tb_glp_work	海外ワーク	・ メインフレームより転送された、海外 PL 未加工データ。
tB_glp_cont_item	契約者コード・種目コード変換	・ 契約者コードと種目コードの関連づけデータ。
tb_glp_claim	クレーム態様マスタ	・ クレーム名称データ。
tb_glp_fusyo	負傷マスタ	・ 負傷名称データ。
tb_glp_jikochi	事故地・訴訟地マスタ	・ 事故地名称/訴訟地名称データ。
tb_glp_jikotaiyo	事故態様マスタ	・ 事故態様名称データ。
tb_glp_kaiketu	解決態様マスタ	・ 解決態様名称データ。
tb_glp_kekkan	欠陥主張マスタ	・ 欠陥主張名称データ。

・出力インターフェイス (テーブル)

定義テーブル名	テーブル名	内容
tb_glp_kaigai	海外PL	・ 各名称データセットと日付編集済みの、海外PLデータ。

・出力インターフェイス (STDOUT)

処理エラー発生時に、エラー発生要因を stdout に出力する。

内部設計書	システム	サブ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゚ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	152

ストアドプロシジャ、各 プロシジャ/関数 仕様

(A) メイン処理

処理概要

海外ワークテーブルの検索し、海外PLデータ追加処理によって同データを追加する。 また、検索結果500件毎に、DBに対してコミットを発行する。

入力パラメータ

なし

出力パラメータ

なし

戻り値

プロシジャーのため、戻り値なし。

内部設計書	システム	サブ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゚ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	153

(B) 海外ワークTBデータ追加処理

処理概要

海外ワークテーブルデータ1レコードの、各デコード名称を取得と日付編集を行い、海外PLテーブルへ追加する。 該当デコードデータが存在しない場合、デコード名に null をセットし次の処理を行う。

入力パラメータ

定義テーブル名	データタイプ	内容
In_rec	work_rec (定義構造体)	海外ワークデータの1レコード分のイメージ
NumCnt	NUMBER	データカウント (オフセット=1)

出力パラメータ

なし

戻り値

なし

海外 PL テーブルに追加時の項目編集方法

定義項目名	項目名	編集方法
SEQ_NO	シーケンス番号	海外ワークデータの読み込み件数。
LAST_SYORI_YYMM	最終処理-年月	年月変換処理の戻り値
SEIRI_YYMM	整理年月-年月	年月変換処理戻り値
WK_JIKO_BI	ワークー事故発生ー年月日	日付変換処理の戻り値
WK_BAISYO_BI	ワークー賠償請求一年月日	日付変換処理の戻り値
HOKEN_SIKI	保険始期-年月日	日付変換処理の戻り値
HYOKA_BI	評価一年月日	日付変換処理の戻り値
HARAI_BI	支払一年月日	日付変換処理の戻り値
KEIJYO_BI	計上一年月日	日付変換処理の戻り値
UKETUKE_BI	受付-年月日	日付変換処理の戻り値
KANRYO_BI	完了一年月日	日付変換処理の戻り値
JIKO_BI	事故発生一年月日	日付変換処理の戻り値
BAISYO_BI	賠償請求一年月日	日付変換処理の戻り値
JIKO_CHI	事故値	事故地・訴訟地名称取得処理の戻り値
SOSYO_CHI	訴訟地	事故地・訴訟地名称取得処理の戻り値
JIKO_TAIYO	事故態様	事故態様名称取得処理の戻り値

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	154

FUSY0	負傷	負傷名称取得処理の戻り値
KEKKAN_ 1	欠陥主張1	欠陥主張名称取得処理の戻り値
KEKKAN_2	欠陥主張2	欠陥主張名称取得処理の戻り値
KEKKAN_3	欠陥主張3	欠陥主張名称取得処理の戻り値
CLM_TAIYO	クレーム態様	クレーム態様名称取得処理の戻り値
KAIKETU_TAIYO	解決態様	解決態様名称取得処理の戻り値

上記以外の項目は、編集せず海外ワークテーブルのデータをそのままセットする。

(C) 種目コード取得処理

処理概要

入力パラメータの契約者コードより契約者コード・種目コード変換テーブルを検索し、該当種目コードを取得する。

入力パラメータ

定義テーブル名	データタイプ	内容
Cust_cd	海外ワークテーブルの契約者コードのタイプと同様。	契約者コード

出力パラメータ

なし

戻り値: 契約者コード・種目コード変換テーブルの種目コードのタイプと同様。

≠ null 該当種目コード= null 該当データなし

内部設計書	システム	サブ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プログラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	155

(D) クレーム態様名称取得処理

処理概要

入力パラメータのクレーム態様コードよりクレーム態様マスタを検索し、該当名称を取得する。

入力パラメータ

定義テーブル名	データタイプ	内容
Syumoku_code	契約者コード・種目コード変換テーブルの種目コードのタイプと同様。	種目コード
Claim_cd	海外ワークテーブルのクレーム態様コードのタイプと同様。	クレーム態様コード

出力パラメータ

なし

戻り値:クレーム態様マスタのクレーム態様名称のタイプと同様。

≠ null 該当クレーム態様名称

= null 該当データなし

(E) 事故地・訴訟地名称取得処理

処理概要

入力パラメータの事故地コード、または訴訟地コードより、事故地・訴訟地マスタを検索し、該当名称を取得する。

入力パラメータ

定義テーブル名	データタイプ	内容
Syumoku_code	契約者コード・種目コード変換テーブルの種目コードのタイプと同様。	種目コード
Jikochi_cd	海外ワークテーブルの事故地コードのタイプと同様。	事故地コード、または訴訟地コード

出力パラメータ

なし

戻り値: 事故地・訴訟地マスタの事故地名称のタイプと同様。

≠ null 該当事故地名称、または該当訴訟地名称

= null 該当データなし

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	156

(F) 事故態樣名称取得処理

処理概要

入力パラメータの事故態様コードより、事故態様マスタを検索し、該当名称を取得する。

入力パラメータ

定義テーブル名	データタイプ	内容
Syumoku_code	契約者コード・種目コード変換テーブルの種目コードのタイプと同様。	種目コード
Jikotaiyo_cd	海外ワークテーブルの事故態様コードのタイプと同様。	事故態様コード

出力パラメータ

なし

戻り値: 事故態様マスタの事故態様名称のタイプと同様。

≠ null 該当事故態様名称

= null 該当データなし

(G) 負傷名称取得処理

処理概要

入力パラメータの負傷コードより、負傷マスタを検索し、該当名称を取得する。

入力パラメータ

定義テーブル名	データタイプ	内容
Syumoku_code	契約者コード・種目コード変換テーブルの種目コードのタイプと同様。	種目コード
Fusyo_cd	海外ワークテーブルの負傷コードのタイプと同様。	負傷コード

出力パラメータ なし

戻り値: 負傷マスタの負傷名称のタイプと同様。

≠ null 該当負傷名称 = null 該当データなし

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	157

(H) 欠陥主張名称取得処理

処理概要

入力パラメータの欠陥主張コードより、欠陥主張マスタを検索し、該当名称を取得する。

入力パラメータ

定義テーブル名	データタイプ	内容
Syumoku_code	契約者コード・種目コード変換テーブルの種目コードのタイプと同様。	種目コード
Kekkan_cd	海外ワークテーブルの欠陥主張コードのタイプと同様。	欠陥主張コード

出力パラメータ

なし

戻り値:欠陥主張マスタの欠陥主張名称のタイプと同様。

≠ null 該当欠陥主張名称

= null 該当データなし

(I) 解決態様名称取得処理

処理概要

入力パラメータの解決態様コードより、解決態様マスタを検索し、該当名称を取得する。

入力パラメータ

定義テーブル名	データタイプ	内容
syumoku_code	契約者コード・種目コード変換テーブルの種目コードのタイプと同様。	種目コード
kaiketu_cd	海外ワークテーブルの解決態様コードのタイプと同様。	解決態様コード

出力パラメータ

なし

戻り値:解決態様マスタの欠陥主張名称のタイプと同様。

≠ null 該当解決態様名称

= null 該当データなし

内部設計書	システム	サブ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゚ロジェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	158

(J) 日付変換処理

処理概要

入力パラメータの日付・西暦年2桁データを、日付・西暦年4桁データに変換する。 年の変換方法は、オラクルの"RRRR"フォーマットを使用する。

入力パラメータ

定義テーブル名	データタイプ	内容
strHizuke	CHAR	日付・西暦年2桁

出力パラメータ なし

戻り値:DATE

≠ null 年4桁に変換された、西暦日付データ

= null 処理異常

内部設計書	システム	サブ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゜ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	159

(K) 年月変換処理

処理概要

入力パラメータの年月・西暦年2桁データを、年月・西暦年4桁データに変換する。 年の変換方法は、オラクルの"RRRR"フォーマットの仕様と同様。

入力パラメータ

定義テーブル名	データタイプ	内容
strYYMM	CHAR	年月·西暦年2桁

出力パラメータ なし

戻り値:CHAR

≠ null 年4桁に変換された、西暦年月データ

= null 処理異常

内部設計書	システム	サフ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プログラム	プ゚ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	160

(3) エラーメッセージ仕様

・エラーメッセージフォーマット

Νο	出力項目	内容
1	発生日	YYYY-MM-DD
2	発生時刻	HH:MM:DD
3	エラーレベル	E
4	エラーコード	バッチ処理のコード番号は GLP 8 0 0 0 1 ~GLP 8 9 9 9 9
5	エラーメッセージ	発生エラーメッセージ
6	発生モジュール	エラーが発生したモジュール名称
7	ユーザー I D	起動ユーザーID
8	エラー発生要因	エラーの原因となった、ファイル名など

・エラーコードフォーマット

エラーコード	エラーメッセージ
GLP80000番代	使用するディレクトリ、ファイルのエラー
GLP81000番代	オラクルのツールプログラム (sqlldr, sqlplus) 実行エラー。
GLP82000番代	ストアドプロシジャの処理エラー
GLP89000番代	その他のエラー

内部設計書	システム	サブ゛システム	コンホ。ーネント	プ゚ロセス	プ゚ログ゛ラム	プ゚ロシ゛ェクト	作成	2000/08/04	IBM 石村	連番
							更新		IBM	161

・エラーメッセージ一覧

エラーコード	エラーメッセージ
G L P 8 0 0 0 1	通知エラーメッセージ格納ファイルが存在しないか、パーミッションが不良です。
G L P 8 0 0 0 2	コントロールファイル格納先ディレクトリが存在しないか、パーミッションが不良です。
G L P 8 0 0 0 3	ログファイル格納先ディレクトリが存在しないか、パーミッションが不良です。
G L P 8 0 0 0 4	作業ディレクトリが存在しないか、パーミッションが不良です。
GLP80005	CSVファイル格納先ディレクトリが存在しないか、パーミッションが不良です。
GLP80006	SEDファイルが存在しないか、パーミッションが不良です。
GLP80007	メインフレームより転送されるCSVファイルが存在しないか、パーミッションが不良です。
GLP80008	CSVファイルが存在しないか、パーミッションが不良です。
GLP80009	コントロールファイルが存在しないか、パーミッションが不良です。
GLP81001	SQL*Loader の実行エラーが発生しました。
GLP81002	sqlplus の実行エラーが発生しました
GLP82001	ストアドプロシジャーにコンパイルエラーがあります。
G L P 8 2 0 0 2	ストアドプロシジャによる、海外PLデータの作成に失敗しました。
GLP89001	FTPファイルのコピーに失敗しました。
GLP89002	該当ローディングプログラムは既に動作しています。
GLP89003	該当通知エラーメッセージが存在しません。